

地方史情報 127

2015年12月

修験道史入門

長谷川 賢二

修験道の歴史的研究は20世紀前半以来の系譜をもつが、戦後の歴史学の世界では疎外され、停滞した分野であったと思う。しかし、1980年代末から現在に至るまでのおよそ四半世紀の間、中世を中心とする日本宗教史や寺院史の研究が活況を呈したのと連動して、修験道史に関するものも目覚ましく成果が蓄積されてきた。

本書は、こうした状況を踏まえ、現時点での修験道史研究の水準を整理し、今後の課題を提示することを目的として編んだものである。意欲的な若手にできるだけ参画してもらい、積極的な議論を展開したいと考えていたが、幸いにして編者グループが想定していた執筆者全員の賛同を得て原稿を取りまとめることができ、このたび刊行に至った。修験道史に関心をもち、これから本格的に研究したいと考えている学生等を主たる読者として想定しているが、修験道に関心をお持ちの一般読者層にも活用いただけるハンディな一冊にしたいとも考えた。

ところで、本書は『修験道史入門』であって『修験道入門』ではない。修験道の思想や教義・修行といった宗教的な側面、それも現代のそれについて解説したものではないのである。研究史を踏まえつつ、中世から近世までを対象として、修験道の形成・展開を概説することを目指した。その意味で、「史」の一字の有無には大きな違いがあり、ここに本書を世に出そうとした意図がある。(中略)

本文は、二部で構成した。第Ⅰ部「修験道史研究の基礎」は総論編で、1～3章を配した。近代において修験道が学術的研究の対象として位置づけられるに至る過程、すなわち修験道史研究の前史から始まり、修験道史研究史、史料論が論じられる。第Ⅱ部「修験道史研究の諸問題」は各論編で、4～10章を配した。修験道の成立、山伏集団の動向、修験道組織の成立・展開、近世の里修験が論じられる。各章で触れた文献については、原則的に2013年末までに刊行されたものを対象としており、「本文引用参考文献」として一括した。また、修験道史を学ぶ上でとくに重要と思われる文献について「必読文献案内20選」としてまとめ、簡単な解説を付した。

一書としては必ずしも整合性が取れておらず、まとまりに欠くであろうが。良くも悪しくも研究の最前線を示すことができたと考えている。本書が修験道史研究の現状を示す海図として、また今後の研究の礎として活用いただけることを、執筆者一同念願している。

(時枝務・長谷川賢二・林淳編『修験道史入門』2015.9、小社刊「はしがき」より)

地方史研究雑誌目次速報 飯澤文夫 編

*本誌に掲載した雑誌に関するお問い合わせは、発行元に直接お願いします。

北海道・東北

◆アイヌ語地名研究会会報

〒001-0017札幌市北区北十七条西1丁目1-1 TEL011-299-6834 年5000円

◇56 2015.7 B5 20p

第19回アイヌ語地名研究大会開催

アイヌ語地名研究会役員会

開催報告

寄贈図書類の内容紹介

◆標茶町郷土館報告

〒088-2261北海道川上郡標茶町塘路1-12 TEL015-487-2332 1985年創刊

◇27 2015.8 A4 87p

国有林地にさらに「女性集治監」

を一刑務施設の民間委託制度を

活用 横平 弘

縄文文化期における北海道釧路湿

原塘路湖周辺自然环境 小荷田行男

北海道弟子屈町市街地で観察した

野鳥たち 松本 堅一

エゾカオジロトンボ多重3連結形

成過程の観察記録 佐々木誠治

北海道東部の双翅目一ムシヒキア

ブ科、ツルギアブ科、キアブモ

ドキ科 飯島 一雄

北海道東部の鞘翅目一ハナノキ科、

オオハナノミ科、ヒラタナガク

チキムシ科、クビナガムシ科、

カマキリモドキ科、キノカワム

シ科、アカハネムシ科、クビボ

ソムシ科、ツチハンミョウ科、

ハナノミダマシ科、チビキカワ

ムシ科、ツヤキカワムシ科、ク

チキムシ科、ゴミムシダマシ科、

キクイムシ科 飯島 一雄

北海道東部の鞘翅目追加資料

一ゾウムシ類(3) 飯島 一雄

北海道東部の鞘翅目追加資料

一テントウムシ科(2) 飯島 一雄

北海道東部の鞘翅目追加資料(標

茶町郷土館報告第26号)の訂正

飯島 一雄

元村遺跡発掘調査報告書一塘路湖

エコミュージアムセンター除雪

機格納庫増築工事に伴う埋蔵文

化財調査報告書 標茶町教育委員会

平成26年度標茶町郷土館 年報

◆文化情報 北海道文化財保護協会

〒060-0002札幌市中央区北二条西7丁目

かでる2・7ビル9階 TEL011-231-4111

hokkaido-bunkazai.jp

◇350 2015.7 B4 4p

東京駅と辰野金吾 角 幸博

平成27年度 通常総会と文化財講

演会

北海道文化遺産活用活性化実行委

員会の取り組み

地方創生と文化財 舟山 廣治

新館紹介 新ひだか町博物館 齊藤 大朋

台湾訪問記 磯永吉と八田與一の

業績をたずねて 遠藤 龍畝

衣文化シリーズー冬のはきもの 山田 雅也

平成27年度 北海道文化財保護協

会事業一覧

読者の声

北海道を学ぶ、北海道博物館 伊豫田広行

平成27年度道内文化財関係実施

事業(7月～8月開催)

◇351 2015.9 B4 4p

教育で変わる「文化財」 田山 修三

登録有形文化財4件を答申 [名

称] 旭川市市民活動交流センタ

ー市民活動支援棟(旧国鉄旭川

車両センター木機乾燥場)、[名

称] 旭川市市民活動交流センタ

ーホール棟(旧国鉄旭川車両セ

ンター第二木機職場)、[名称]

北海道護国神社平成館(旧陸軍

第七師団北鎮兵事記念館)、[名

称] 飯田家住宅主屋 遠藤 龍畝

画家 木村捷司と旧樺太の先住民

族 舟山 廣治

〔夷酋列像〕北海道博物館開館記

念特別展 当協会高久事務局長

北方民族博物館・秋のイベント 中田 篤

世界遺産の風 屯田の養蚕室 石垣 秀人

開道百五十年へ向けて 山田 雅也

読者の声 新刊紹介 森田知忠さ

ん追悼文集刊行会編『眼光紙背

の罫一森田知忠さん追悼文集』

／「流転・依田勉三と晩成社の

人々」吉田政勝・モレウ書房

◆北海道れきけん 北海道歴史研究会

〒063-0037札幌市西区西野七条9-2-12

田中貢方 TEL011-667-2137

http://homepage3.nifty.com/tm3053/

◇82 2015.6 A4 6p

第32回定期総会を開催(平成27年度)

「深川村」の語源に思う 橋本とおる

◆岩手県南史談会研究紀要

〒021-0023岩手県一関市銅谷町2-3

高橋龍夫方 TEL0191-21-3706 1953年創刊

◇44 2015.6 B5 105p 1500円

表紙の写真解説 明治末期の坂下

(中尊寺入口)の風景 阿部 和夫

発刊に当たって 佐々木照雄

中世末磐井郡一豪族の系譜考察 小野寺 啓

太鼓の胴内墨書にみる製作者と流

通について一時鼓は誰がつくっ

た 神谷 美和

時の太鼓追考

一関の時の太鼓研究の現状 大島 晃一

襖の下張から発見された四種の東

山小島村「宗門人別帳」につい

て(1) 岩渕 国雄

近代平泉の成立と発展 阿部 和夫

藤原清衡の鐘堂網と浄土づくり 横澤 重雄

高橋東皐と蕪村・几董と一考察 菅原 宏通

「赤志津・安倍氏」の出自を尋ね

て(6)一「赤志津・安倍氏」の歴

史における畑屋敷前半期の主な

状況の同屋敷系図による検討

安倍徹良／安倍皓三

／安倍公良／森静子

花陰樵語 佐藤 松雄

史料紹介 和算家千葉雄七胤秀が

口入した借用証文 大島 晃一

会報 高橋 龍夫

◆いわて文化財 岩手県文化財愛護協会

〒020-0102盛岡市上田宇松屋敷34

岩手県立博物館内 TEL019-661-9688

1970年創刊

◇264 2015.9 A4 12p

遺物が語る郷土の歴史 「柳の御

所遺跡 呪符木簡」(重要文化

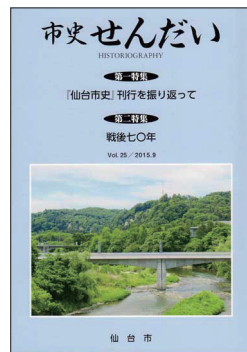
財) 鎌田 勉

文化振興事業団 創立30周年を迎えて 菅野 洋樹
文化振興事業団30周年によせて
埋蔵文化財センターの成果と使命について 中村 英俊
県立美術館の活動成果 大野 正勝
伝承活動を通じて 工藤 真樹
豊穣なゴシック世界—日本語 赤澤 義昭
橋野鉄鉱山の世界遺産登録
今後の課題と展望 森 一欽
日本近代製鉄の父・大島高任 田崎 農巳
「岩手民俗の会」について 大石 泰夫
友人潜水調査船「しんかい6500」の展示と館の運営 竹田 紀男
被災地の発掘調査現場から(3) 力持遺跡 星 雅之

◆**八戸地域史** 八戸歴史研究会
〒039-1164青森県八戸市下長2-7-19
三浦忠司方 TEL0178-38-7376 1982年創刊
◇51・52 2015.8 A5 72p 900円
瀧澤家の家系について 滝沢鷹太郎
八戸新撰組始末記 田名部清一
軽米町瀧沢家と「軽邑耕作鈔」 斎藤 潔
奥州南部流鏑馬史(3)—三戸・八戸の衰退と盛岡藩の興隆 黄綿 昶行
みじか史 八戸藩領“志和”における水論—現地ルポ 煙山 信夫
書評 三浦忠司編『八戸藩の歴史をたずねて』 上野 未蔵

◆**市史せんだい** 仙台市博物館
〒980-0862仙台市青葉区川内26
TEL022-225-3074 1992年創刊
www.city.sendai.jp/Kyouiku/Museum/
◇25 2015.9 A5 128p 500円
表紙写真解説 中の瀬橋より、新緑の青葉山を望む 大平千波弥

第一特集 『仙台市史』刊行を振り返って
『仙台市史』編さんのはじまり 濱田 直嗣
『仙台市史』完結を迎えて 鵜飼 幸子
世紀の大プロジェクトに携わって 松本 秀明
『仙台市史』の「考古」 田中 則和
「古代中世」に関して 入間田宣夫
『仙台市史』と共に歩んだ歲月 平川 新
私と『仙台市史』 仁昌寺正一
平成9月(1997)11月を中心に 岩本 由輝
仙台市史編さん事業の25年略史 菅野 正道
『仙台市史』編さん・刊行の記録／『仙台市史』目次(抄録)
第二特集 戦後七〇年
研究ノート 「軍都仙台」の呼び名はいつごろ生まれたのか 中武 敏彦
資料紹介 昭和20年7月12日撮影 仙台空襲後の市街地写真
幻の鉄道—大正期における仙台周辺
の鉄道整備構想 菅野 正道
史料紹介 伊達政宗文書・補遺(9)
『年表・索引』の刊行にあたって 鵜飼 幸子
普及活動報告
部会活動報告 年表・索引部会



*2015年は戦後70年の節目の年であり、多く

の雑誌がその特集を組んでいる。夫々の地域に則した内容で、どれも興味深い。その中から「市史せんだい」と神奈川県「戦争と民衆」(28頁)を紹介する。

仙台といえはすぐに「杜の都」、あるいは「学都」が浮かぶが、廃藩置県後の明治4年(1871)に仙台城二の丸跡に置かれた東北鎮台と、その後の第二師団への改組などから、「軍都」とも呼ばれた。中武敏彦氏は、多くの史料を検証して仙台が軍事拠点都市化した過程を追ひ、戦時体制下において仙台市民が、同地が国策の先頭に立つ東北兵士の本拠地であり、郷土部隊である第二師団将兵を郷土の誇りとしたことなどを明らかにする。

仙台は昭和20年(1945)7月9日深夜から10日未明のアメリカ軍の空襲により、市街地中心部の殆どを焼失し、市民の5分の1が罹災した。その様子を伝える仙台市戦災復興記念館所蔵の21枚の写真が、簡潔なコメントとともに掲載されている。貴重な記録である。

◆**道鏡を守る会** 道鏡禪師を知ろう
〒989-6156宮城県大崎市古川西館3-4-35
本田義幾方 TEL0229-22-7364
年3000円 1985年創刊
◇37 2015.9 B5 112p 1000円

道鏡講演会 道鏡と称徳女帝
—その虚像と実像 瀧浪 貞子
瀧浪先生講演会 語らいの部
「道鏡」テーマに盛況だった講演 菊池 卓
講演会成功を願って 森本 裕之
瀧浪先生の講演を拝聴して 善林 仁
瀧浪先生の講演を聴いて 船生 史郎
勝福寺&遠州三山めぐり
善林仁会員疾風のごとく逝かれる
—追悼に代えて 本田 幾義
道鏡禪師供養祭 春が来た、道鏡
禪師の春が来た

茨城方面探訪旅行 片岡秀雄／本田幾義
『奈良朝の政変と道鏡』を読んで 和気 正芳
道鏡皇胤説と志貴皇子 石川 和子
喜田貞吉氏の道鏡皇胤論紹介 田中 弘善
物部氏の始め 辻 正次
弓削、矢作について 山口 久幸
江戸中期学者に道鏡は (本田)
道鏡皇胤説と宇佐八幡神託事件 大塚泰二郎
疑問は疑問としても会の発展を 高橋 昭夫
千代庵寺と道鏡そして丸子氏と牡鹿宿禰鳴足 松井 徳三
「坂東五番飯泉山観世音略縁記」を読んで 高橋 義泰
その日がくる事を 富田 春美
やはり伝承には実実が… 幾島 一恵
物事は折りたたまれ色もつく 鈴木 暁子
にがい思い出～道鏡塚訪問顛末記 松本 守博

再考「好天紅葉」 渡邊 力榮
男根は道鏡か必ずしもそうでもない
—資料から 高橋 義泰
「知る」「語る」「守る」こと 松村 成子
歴史探訪を案内する中で 田中 龍夫
道鏡さんを学ぶ意味 高橋 亮
道鏡禪師と共に生きる 久佐野 昭
「道鏡は現代の臨床宗教師」に同感

目からウロコ 狭川 宗玄
菅原 祐輔
記憶は脳に刻まれ、記録は歴史に
刻まれる 平山 和昭

守る会の方達に知って頂きたい
—道鏡を通してということ 富田 春美
市村 光志
継続そして観察 津田 正明
家族にささえられながら 上野 静子
遠くから、頭が下がります 芳村 賢
道鏡と玄賓の関係を思う 武井 浄司
災異思想と聖武天皇の「社寺清掃」

森本 裕之
資料から 東大寺・観世音寺・薬
師寺—奈良時代に戒壇をもった
寺 久佐野 昭
天平の浪漫に浸る 船生 史郎
禅師について（道鏡禅師を主体と
して） 森本裕之記

◆ナジェージダ（希望）
石巻若宮丸漂流民の会
〒236-0052横浜市金沢区富岡西2-21-23
大島幹雄方 TEL045-773-4643
deracine.fool.jp/wakamiya/
◇34 2015.7 A4 36p
南海の秘境マルケサスを訪れて
佐藤秀明氏講演会報告 本間 英一
多十郎、儀兵衛、津太夫、左平、
善六の五人が見た北極光—ラン
グスドルフのオーロラ画より 河内 牧栄
儀平よ、君は友人達が安南に漂流
したことを知っていたか 佐藤三寿夫
佐渡 白山丸から若宮丸の船内を
想像する 大野 康世
大黒屋光太夫帰国その後
—小説と史実 津田 光輝
書評 上村忠昌著『薩摩漂流船と
ゴンザ』 興水 則子
『環海異聞』のロシア語拾い読み
シベリアにスズメはいなかった
?! 木村 成忠
2015年八本松町内会八幡宮の碑供
養祭 高橋 寿之
石巻若宮丸漂流民日本人ブラジル
初上陸に寄せて 中沢 宏一
アートとしての漂流民 高田 彩

◆東北民俗 東北民俗の会
〒980-8576仙台市青葉区川内27-1 東北大

学大学院文学研究科 宗教学研究室
FAX022-795-6022 年4000円 1966年創刊
tohokuminzoku.com
◇49 2015.6 A5 106p 1000円
近代化の中の仏教寺院と地域社会
の変容—福岡県篠原町の事例か
ら 鈴木 正崇
金津流鹿踊の系譜—相去経由の鹿
踊（鶴羽衣系・上門岡系）につい
て 及川 宏幸
畑道の上の墓—岩沼市の東部にみ
られる諸事例に照射して 小田島建己
宮城の犬に関する石碑 石黒伸一朗
三居沢不動における水子供養の成
立と展開 陳 宣津
庚申塔が語る村社会—『会津農書』
出現の夜明け前 佐々木長生
雪のことわざ 稲 雄次
東北地方におけるボックリ信仰の
諸相 陳 甜
南の島の素潜り漁
—沖永良部島の漁師の自然観 川島 秀一
通信誌『東北民俗学会便り第一号』
について 岩崎 真幸
平成26年度東北民俗の会年次報告

◆秋田近代史研究会会報
〒010-0852秋田市手形学園町1-1 秋田大
学教育文化学部スポーツ・健康教育研究室
森田信博方 TEL018-889-2574
◇170 2015.9 A4 5p
2015／春季研究会終わる
2015春季研究会報告要旨 秋田県
立博物館 友の会古文書整理ボ
ランティア活動開始!! 畑中 康博
イベント情報
2015／秋期研究会のお知らせ
新刊紹介 吉葉恭行著『戦時下の

帝国大学における研究体制の形
成過程—科学技術動員と大学院
特別研究生制度 東北帝国大学
を事例として』

◆秋田民俗 秋田県民俗学会
〒010-0951秋田市山王7-5-10 秋田文化出
版内 TEL018-864-3322 1973年創刊
◇41 2015.7 A5 56p 1389円
表紙写真 秋葉獅子（由利本荘市
鳥海町上笹子） 齊藤 壽胤
人形突き—盗みの制裁と村の規制
齊藤 壽胤
菅江真澄の見聞した民俗芸能—と
りわけ風流を対象としつつ 星野 岳義
近代以降の秋田の民俗芸能史概観
小田島清朗
北仙北の民俗の研究者たち—それ
ぞれが影響しあい道を開き 加藤 義規
書誌紹介
鈴木岩弓・岩崎真幸編『復刻
東北民俗研究』 齊藤 壽胤
山田實著『あきた歳時記』 齊藤 壽胤
◆秋田歴研協会誌
秋田県歴史研究者・研究団体協議会
〒010-0951秋田市山王7-5-10 秋田文化出
版内 TEL018-864-3322 1996年創刊
akita-nct.ac.jp/~wakino/rekiken.html
◇59 2015.8 B5 18p
特集 春の歴史フォーラム
地域史研究の現在
秋田県域における先史人類の石
材資源開発 吉川耕太郎
由利地域の古代遺跡について
—由利柵・駅を中心に 小松 正夫
源頼朝と橘公業、二人の実像 塩谷 順耳
用語解説 鉾山の用語 半田 和彦

文献情報 加入団体会誌、その他
の会誌、著作等／催しもの情報

◆さあべい さあべい同人会
〒999-3701山形県東根市本丸北1-5-11
保角里志方 TEL080-3197-1934
1970年創刊
◇30 2015.5 B5 115p 2000円
山形の古墳とその時代—古墳の出
現から大型古墳の展開まで 川崎 利夫
上山市思い川遺跡出土の三脚土製
品の再検討 菅原 哲文
出羽国南部における古墳時代前期
の住居空間と祭祀空間 三浦 浩人
山形市の中世石造美術「五輪塔」
下 加藤 和徳
城館跡小特集
山形県鶴岡市湯田川三楯跡の地
表面観察（縄張り）調査報告—
曲輪を掘りつづす永禄11年
（1568）破却の城館跡 保角 里志
宮城県栗原市花山地区の中世城
館 佐藤 信行
大宝寺の屋号について 堀 宗夫
歴史散歩・鮭延城攻め「内町陣
城跡（真室川町）」を歩く 梅津 操

◆東北学
東北芸術工科大学東北文化研究センター
（発売：はる書房）
〒990-9530山形市上桜田3-4-5
TEL023-627-2168 年10000円
2013年創刊 blog.tuad.ac.jp/tobunken/
◇6 2015.7 A5 245p 1852円
旅スケッチ（6）台湾 1987—記憶
の中のアミ族 田口 洋美
巻頭鼎談 夢の扉をこじあけろ！
三浦雄一郎／関野吉晴／田口洋美

《特集 オオカミの行方》
 列島開拓とオオカミの絶滅
 ー富士山麓の事例から 田口 洋美
 江戸時代の狼ー弘前藩、盛岡藩の
 藩日記から 村上 一馬
 三陸地方のオオカミ伝承 川島 秀一
 頭骨から見えてくる「ニホンオオ
 カミ」の正体とは？ 石黒 直隆
 グラビア オオカミが駆ける大地
 ー米国イエローストーン国立公
 園での生態 原田 純夫
 阿武隈梁山泊外伝(6) たくきよしみつ
 東吾妻と微温泉温泉 羽根田 治
 ホンのひとことー自由の蒼穹の下
 で生きる 輝くサハラ砂漠の光
 と情熱の思い出
 フィールドノート05ー雲南省ハニ
 族の村で暮らす 文化(社会)人
 類学のフィールドワーク 阿部 朋恒
 アートフルワンダーランド(6)
 ーアートワーク、大地を溶融し
 た瑠璃の世界 謝 黎
 三陸沿岸、今ー三鉄がつなぐ村々
 《北リアス線編》2015年5月 宮
 古ー久慈まで 蛸原 一平
 復興ダイアリー(6)
 ー新聞紙面にみる復興

◆南陽の歴史 南陽の歴史を知る会会報
 〒999-2232山形県南陽市三間通361-8
 須崎寛二方 TEL0238-43-5299
 ◇208 2015.8 B5 10p
 金山村・菅野佐次兵衛家の商業活
 動(下)ー南陽市古文書解読入門
 講座から 須崎 寛二
 南陽の石造文化財調査(74)
 ー漆山 新山観音堂 須崎 寛二

◆村山民俗 村山民俗学会
 〒990-0821山形市北町3-3-45 市村幸夫方
 TEL023-684-5708 年3000円 1988年創刊
 www.geocities.jp/murayamaminzoku/
 ◇29 2015.7 B5 60p
 月光善弘初代会長を偲ぶ 市村 幸夫
 「かたみの歌」と「巻数板」ー中近
 世心性史にかかわる新資料の紹
 介 三上 喜孝
 大江町の仏師と新海竹太郎につい
 て 伊藤 登啓
 女性主体の「三社宮」観音信仰 村田 弘
 美しい村・高瀬の秘密(2) 清野 春樹
 映画をめぐる現代民俗 岩鼻 通明
 一日韓の比較から
 仙台市「榊流青麻神楽」調査覚え
 書きー若宮八幡神社太々神楽と
 の比較において 菊地 和博
 新出の菊池新学関係資料・写真か
 ら 野口 一雄
 忘れられた山形三十三観世音 安孫子博幸
 弘化二年山形紙漉口銭出入 市村 幸夫
 会の歩みー平成26年度

◆フークトープ通信 フークトープ通信社
 〒961-0856福島県白河市新白河1-126
 ロイヤルガーデン式番館201 山田英明方
 2015年創刊
 ◇1 2015.8 A4 2p
 白河の詩人、金子鐵雄 菅野 俊之
 フークトープ紀行(1)
 白河の関(白河市) 赤井 武史
 ◇2 2015.9 A4 2p
 自由民権運動顕彰の町
 フークトープ紀行(2)
 飯盛山(会津若松市) かなめ 遥

◆フォーラム・F 福島県民俗学会
 〒965-0807福島県会津若松市城東町1-25
 福島県立博物館内 2011年創刊
 www.geocities.jp/fukushima-folklore/
 ◇1 2011.11 A4 4p
 ごあいさつ
 会長就任と創刊にあたって 佐々木長生
 Announce 事務局移転に関する
 重要なお知らせ／日本民俗学会
 談話会を仙台で開催
 平成23年度 総会報告 大山 孝正
 地域持ち回り研究会 須賀川市
 ◇2 2015.9 A4 4p
 平成27年度 総会報告 内山 大介
 研究発表報告 大里 正樹
 平成27年度公開講演会 内山 大介
 文化財の動き 福島県内 国選択
 無形民俗文化財「会津の御田植
 祭」の調査始まる 内山 大介
 書籍紹介 『会津学』Vol.7 佐々木長生
 自治体史編纂事業
 三島町史編さん事業 川合 正裕
 「又兵衛」蔵元に伝わる年中行事 合原香須美
 記録映像から復元する箕の製作技
 術 國井 秀紀

関 東

◆水戸史学 水戸史学会
 〒310-0852茨城県水戸市笠原町979-42
 但野正広方 TEL029-243-6910 1974年創刊
 ◇82 2015.7 A5 74p
 名越史学論
 ー義公論を中心として(下) 梶山 孝夫
 『大日本史』天武天皇本紀の基礎
 的研究(補遺) 堀井 純二
 まぼろしの探検船
 ー快風丸についての考察 名越 時正
 義公の足跡を訪ねて(29) 住谷 光一

一庵先生詩伝(1) 名越 漠然

◆歴史文化研究(茨城)
 歴史文化研究会(茨城)
 〒270-0035千葉県松戸市新松戸南2-25-B
 205 三石善吉方 TEL047-345-5323
 年5000円 2014年創刊
 ◇2 2015.8 A5 245p
 巻頭言 「九条を守れから九条を
 実践する」へ、「武器なき国防」
 への提言 三石 善吉
 太宰春台の経済論 吉田 俊純
 福島・喜多方事件と河野広中ー高
 等法院の判決と政界復帰の経緯
 幕内 満雄
 大川周明の思想形成とその原点
 ー「異人」の視点から 丹 賢一
 「私の「日本国憲法ー非武装平和」」
 論 三石 善吉
 「武器なき国防」事例研究
 伊江島における非暴力闘争 三石 善吉
 ジーン・シャープ『市民主体防衛
 ーポスト兵器体系』全章の要約
 三石 善吉

漢字は表意文字か
 ー漢字の根本問題について 加納 喜光
 会員の最新書紹介
 三石善吉著『武器なき闘い「ア
 ラブの春」』 吉田 俊純
 加納喜光著『漢字語源語義辞典』
 三石 善吉
 吉田俊純著『徳川光圀ー悩み苦
 しめ、意思を貫いた人ー』 千葉 隆司
 事業報告と創刊号の内容紹介

◆歴文だより 栃木県歴史文化研究会会報
 〒320-0865宇都宮市睦町2-2
 栃木県立博物館内 TEL028-634-1313

年4000円 1991年創刊
 ◇96 2015.7 A4 4p
 《特集 関ヶ原の戦いと中近世移行期の下野》
 関ヶ原の戦いと中近世移行期の下野 新井 敦史
 天正十年における「惣無事」 佐々木倫朗
 戦国期下野の村落と土豪 荒川 善夫
 宇都宮の「近世都市」的発達 山澤 学
 新刊紹介 篠崎茂雄監修『栃木「地理・地名・地図」の謎―意外と知らない栃木県の歴史を読み解く！―』 重藤 智彬

◆群馬県教育史研究懇談会会報
 〒370-0873群馬県高崎市下豊岡町328
 森田秀策方 TEL027-322-0408
 年1000円 1975年創刊
 ◇39 2015.8 A4 40p
 巻頭言 学校の統廃合と沿革誌 森田 秀策
 例会報告 教育関係史料の収集・保存・活用に関する現状と課題
 一群馬県立文書館収蔵の地域史料を事例として 阿久津 聡
 特集 学校の統廃合
 嶺小学校の芳賀小学校への統合 石田 和男
 中之条町立沢田小学校と名久田小学校の中之条小学校への統合について 剣持 千秋
 東吾妻町における中学校の再編成について 剣持 千秋
 嬭恋村立西小学校・田代小学校・干俣小学校の統合による嬭恋村立西部小学校の誕生 黒岩 俊明
 南牧村の学校統合と学校の沿革誌について 里見 哲夫
 皇太子御成婚奉祝記念に製作した桐生北尋常高等小学校の校旗 大里 仁一

郷土に輝く盲目の教育者
 瀬間福一郎先生 里見 哲夫
 教育情報（平成26年7月から27年6月の上毛新聞より）

◆群馬地名だより 群馬地名研究会
 〒371-0835群馬県前橋市前箱田町29-8
 小池照一方 TEL027-251-7660 1989年創刊
 ◇89 2015.9 B5 6p
 沼田街道 その2―東通りと西通り 中島 靖浩
 同名・同音のため名前を変更した村 井野 修二

◆群馬文化 群馬県地域文化研究協議会
 〒376-0011群馬県桐生市相生町2-995-2
 宮崎俊弥方 年4000円 1957年創刊
 blogs.yahoo.co.jp/gunmabunka/
 ◇322 2015.6 A5 98p
 《特集 地域史研究の最前線 Part V 一歴史資料と伝承資料》
 趣旨説明 「歴史資料と伝承資料」
 開催にあたって 永島 政彦
 基調講演 新しい民俗資料論の課題―歴史資料と伝承資料の統合をめざして 板橋 春夫
 研究発表
 近世の年中行事と現行行事における食の比較―群馬県の七夕と盆行事をめぐって 鈴木 英恵
 日記からたどる農家の生業―館林市「佐山林二郎日記」の世界 永島 政彦
 記憶と記録のなかの水利慣行 飯島 康夫
 研究大会報告
 平成26年度研究大会・研究発表の報告 竹内 励
 平成26年度群馬県地域文化研究

協議会研究大会基調講演を拝聴して 秋山 寛行
 総会・地域研究会報告 平成27年度群馬県地域文化研究協議会総会並びに第31回地域研究会（於・伊勢崎市 境東公民館）の開催 大野秀彰／野口華世
 伊勢崎地域における明治前期の医療事情―荻野吟子の医業開始記録に関連して 須長 泰一
 新刊紹介
 時枝務著『霊場の考古学』 関口 功一
 菊池実著『近代日本の戦争遺跡研究』 丑木 幸男
 口絵 龍ノ口遺跡出土の細石刃核―群馬県立歴史博物館藏品資料(123) 石田 典子
 ◇323 2015.8 A5 86p
 《特集 太平洋戦争後七十年》
 アジア・太平洋戦争終結七十年 丑木 幸男
 空襲の諸相と軍隊の駐屯 菊池 実
 昭和の戦争とキリスト教―福音伝道協会機関誌を読む 福田 博美
 戦没者慰霊の現状と課題
 一群馬県の事例をもとに 今井 昭彦
 名胡桃城奪取事件とその周辺 赤見 初夫
 あたご歴史資料館開設の経緯 原田 恒弘
 新刊紹介
 手島仁著『「群馬学」講座 人物100話』 石原 孝雄
 落合延孝著『幕末維新を生きた人々―吾妻郡の農民たちの記録から―』 藤井 茂樹
 巻島隆著『江戸の飛脚一人と馬による情報通信史―』 宮崎 俊弥
 口絵 上毛かるた 原画―群馬県立歴史博物館藏品資料(124) 武藤 直美

◆群馬歴史散歩 群馬歴史散歩の会
 〒379-2154群馬県前橋市天川大島町317-1
 TEL027-223-2785 年4500円 1973年創刊
 www.l6.plala.or.jp/kuzira226/
 ◇240 2015.7 A5 56p
 楫取素彦に関する県内歴史散歩
 その後 井野 修二
 山崎一『群馬県城館址調査の手引き』(10) 茂木渉・翻刻／飯森康広・割付
 高山彦九郎日記による歴史散歩(47)『北行日記』(8) 正田 喜久
 ネパールの旅 斎藤 遙山
 歴史散歩の報告(事務局企画) 路面電車と楽都とやま 山崎 正

◆武尊通信 群馬歴史民俗研究会
 〒372-0031群馬県伊勢崎市今泉町1-1046-4
 板橋春夫方 1979年創刊
 ◇143 2015.9 B5 4p
 三河万歳と一通の古文書 岡田 昭二
 玉村町を佐波郡から群馬郡に編入する請願願末 井野 修二
 第34回講演会の記録 布施賢治氏
 「群馬県・山形県の近現代地域史と旧藩について―育英事業・同郷会の側面に注目して―」(藤井)
 2015年度 総会の記録 (藤井)

◆埼玉史談 埼玉県郷土文化会
 〒350-0231埼玉県坂戸市泉町12-5
 大圖口承方 TEL049-281-4983
 年4000円 1929年創刊
 ◇321 (62-2) 2015.9 A5 46p
 武蔵国小泉郷について 高柳 茂
 剣持型兼剣紙型俱利伽羅竜王石仏の分類に関する考察 鯨岡 真一
 秩父事件で戦死した窪田巡查(2) 一窪田巡查らの不可解な行動 村田 嘉行

戦国毛呂氏あれこれ 内野 勝裕
「ばてれん山」—そして一本木、二
本木…丸谷、丸屋敷…の謎 関根 和美
資料紹介
慶長十三年の西別府村検地帳 奥田 豊
表紙写真解説 年不詳五輪塔所刻
板碑断片(坂戸市入西共同墓地) (四方田)
口絵写真解説 栗生田上村七所宮
常住鰐口(坂戸市浅羽・土屋神
社蔵) 大圖 口承
例会報告
第661回 定例研究会
第662回 千葉県佐倉市と国立
歴史民俗博物館見学 高橋 武夫
第663回
さいたま市岩槻区見学 高橋 武夫
第664回 定時総会・記念講演会
書誌紹介 『井澤弥惣兵衛為永』
一見沼新田開発指導者、その人
と業績— 青木義脩著、『東国
の図像板碑拓影集』〈図版編〉
村田和義著 青木 忠雄

◆埼玉地方史 埼玉県地方史研究会
〒330-0063さいたま市浦和区高砂4-3-18
埼玉県立文書館内 TEL048-865-0112
年3000円 1975年創刊
◇71 2015.6 A5 48p
武州秩父郡における神事舞太夫の
消長と変遷 橋本 鶴人
大石遠江入道聖顕と左衛門尉憲重
清水 亮
武蔵原氏と上足立郡 長塚 孝
永川神社の原型 森田 悌
新刊紹介 『埼玉県史料叢書17
埼玉県布達集一 明治八年七月
～十一年十二月』

◆日本の石仏
日本石仏協会(発売:青娥書房)
〒357-0067埼玉県飯能市小瀬戸29
TEL042-971-6512 年8000円 1977年創刊
www.3onc.ne.jp/~bosatu/sekibutu/sekibutul.html
◇155 2015.9 A5 64p 2000円
巻頭随想 公開講座も季刊誌も情
報発信の基地 坂口 和子
《特集 北海道・東北の石仏》
地域社会における馬頭観音信仰の
持続性に関する社会的アプローチ
一チ 森 雅人
北海道の狛犬の歴史 丸浦 正弘
東南北部の猫神碑 石黒伸一朗
南部の山の石造権現様 田中 英雄
宮城・仙北地方の女人講と石仏
一旧河南町を中心に 門間 勇
会員の広場
丹波佐吉の空縄索観音 杉本佳代子
麦畑の五輪塔とその周辺(茨城
県筑西市宮山) 岡田 均
北海道の青面金剛像・3基 岡田 徳弘
迷子さがし標石 中森 勝之
農耕神碑とGPS情報の付記(1) 正富 博行

コラム
大峯八大童子 田中 英雄
肥前狛犬見学会 中野 高通
甲斐市長光寺の六地藏石幢 中森 勝之
日本石仏協会主催・一泊石仏見学
会報告 栃木県北部那須の馬頭
観音を中心とした石仏巡り 前川 勲
日本石仏協会主催・第106回石仏
見学会報告 都電・舎人ライナ
ーで仁王巡り 三代川千恵子

◆富士山文化研究会会報
〒369-0306埼玉県児玉郡上里町三町108-1

中嶋信彰方 TEL0495-71-4850 年6000円
◇39 2015.8 B5 8p
活動を再開いたします。
パンフレットでたどる世界遺産構
成資産
吉田千秋氏の富士登山記

◆跡 標 八潮市郷土研究会紀要 (明)
〒340-0832埼玉県八潮市柳之宮132-2
細川昭二方 TEL048-997-9275
◇18 2015.3 A4 96p
序 細川 昭二
旧草加宿と現八潮市域の村々(1) 高橋 操
上馬場新田地区に残る歴史的地名
・史跡 藤方 博之
八潮市南部の地名保存運動(中間
報告) 昼間 良次
八潮市南部地区町名変更案の変遷
と一市民視点からの提言 駒澤 直季
文京区(護国寺・音羽・関口周辺)
の史跡巡り 大須賀和子
信州松本の史跡巡り 荻原 勝
水戸の史跡を探る 岡田 光子
余録 明治十三年迅速測図「埼玉
県下武蔵国北足立郡草加宿近傍
測図」(現八潮市域部分図) 高橋 操
富士の史跡巡り 坂本 藤次

◆野外研ニュース 野外調査研究所
〒363-0025埼玉県桶川市下日出谷925-155
TEL048-786-0225 http://yagaiken.or.jp
◇37 2015.9 A4 16p
公開講演会要旨 首都圏南西部の
火山と地震—その活動の現状と
予測 角田 史雄
報告 角田史雄氏(埼玉大学名誉
教授)の講演を聴いて 松浦 茂樹
報告 市民交流講座「海外の世界

遺産に触れる感動の旅!」 講
演1「中・南米の自然と人々の
生活・文化遺産を訪ねる駆け足
の旅—メキシコ・グアテマラ・
ボリビア・パタゴニア他—」 講
師:畦地稔生氏、講演2「アイ
スランドに地球を引き裂く割れ
目(ギャオ)とオーロラにふれて」
講師:高原勇夫氏
報告 企画展示・講座「荒川流域
の地形と古代遺跡」に参加して
巖 由美
報告 埼玉県におけるサカツラガ
ンの記録について 藤波不二雄
資料紹介 愛知県刈谷市の龍勢②
丹村照明「西境村「近藤和助覚
え帳」」 杉山 博
論説 鬼怒川決壊に思う 松浦 茂樹
速報 北日本新聞9/6朝刊の「翡
翠フォーラム in 朝日町」記事
から
出版ニュース 野外調査研究所報
告23、そして野外調査研究所報
告24 あいついで刊行!
松浦茂樹著『足尾鉍毒事件と渡良
瀬川』/地震関連参考資料

◆野外調査研究所報告
NPO法人野外調査研究所
〒363-0025埼玉県桶川市下日出谷925-155
TEL048-786-0225 yagaiken.or.jp
〒182-0026東京都調布市小島町2-36-5
春山正樹方 TEL042-481-2128
◇23 2015.7 A4 124p 1200円
巻頭言—災害碑に思う 堀口 萬吉
野鳥を中心として見沼の自然誌
一見沼代用水東縁のバードセン
サス報告 倉成 英昭

芝川第一調節池の野鳥
 —55年間の環境の変化と野鳥 藤波不二雄
 岩手県山田町内と浄土ヶ浜の津波
 記念碑について 蕨 由美
 戦後70年に思う—喜寿の胸をかす
 めた断片的回想、その先に光が
 … 武藤 安正
 野鳥夜話より 杉井 昭雄
 白岡の野鳥と遊ぶ 関口 昌男
 寸描・明日香のランドスケープ
 —藤田論攷を読んで 石井 則孝
 秩父盆地中央平野の開発
 —7・8世紀の開発状況 吉川 照章
 飛鳥の神奈備山再論 藤田富士夫
 江戸末期における多摩地区の治安
 状況について—「指田日記」を
 中心に 片山 務
 民話採録のすすめ 板垣時夫／久代恵美子
 歌に刻まれた秩父の風土 小野寺節子
 ふるさと再発見と地域間交流につ
 いて—「桶川市べに花ふるさと
 館」と民話語りジョイント講座
 について 嶋田 滋
 ◇24 2015.7 A4 40p 1100円
 《イワタザクラ調査報告書》
 監 修 堀口 萬吉
 例 言 吉川 國男
 はじめに 野村 静男
 イワタザクラ発現地の地理的環境
 海野 芳聖
 イワタザクラ発現の認識と発現原
 因について 野村 静男
 イワタザクラの移植とその後の経
 過・現況について 野村 静男
 イワタザクラの植物分類学上の位
 置について 和田 博幸
 イワタザクラの同定について 西山 正大
 イワタザクラの学術的な標本作製

支倉千賀子
 イワタザクラ自生地付近の植物相
 岩田豊太郎
 自然交配のイワタザクラ増殖につ
 いての中間報告
 二階堂由紀／樋口裕仁／野村静男
 ◆我孫子市史研究センター会報
 〒270-1132千葉県我孫子市湖北台5-15-17
 岡本方 TEL04-7149-6404
 www.geocities.jp/abikosisiken/
 ◇159 2015.6 A4 10p
 歴史探訪 相馬霊場の札所参り(7)
 吉田 茂寿
 歴史探訪部会 5月の活動 長谷川秀也
 古文書火曜部会5月の活動 萩原 正美
 井上家文書研究部会5月の活動 長谷川 一
 合同部会5月の活動 中澤 雅夫
 歴史部会「歴史研究講座」
 3月の活動 関口 一郎
 我孫子市史研究センター平成27年
 度定例総会議事録
 ◇160 2015.6 A4 10円
 歴史探訪(芝山町・匝瑳市)の随想
 財前 重信
 歴史部会「研究講座」5月の活動 荒井 茂男
 歴史探訪部会 6月の活動から 長谷川秀也
 我孫子の社寺を訪ねる(8)
 我孫子市我孫子の昔の大杉様 近江 礼子
 合同部会5月の活動 中澤 雅夫
 井上家文書研究部会6月の活動 長谷川 一
 古文書火曜部会6月の活動 石井 俊子
 本の紹介
 鈴木健著『日本語になった縄文
 語』 柴田 弘武
 石島久男著『人を守れ、村を守
 れ—水戸藩領内三ヶ野村組頭
 源次衛門文書考—』 柴田 弘武

◇161 2015.7 A4 8p
 歴史探訪部会 7月の活動 長谷川秀也
 7月8日日の歴史探訪部会座学に参
 加して 守谷と将門の子孫 下
 総相馬氏について(発表者 山
 崎章蔵会員) 原田 慶子
 歴史部会「研究講座」6月の活動
 「我孫子文士村」余話 関口 一郎
 我孫子文士村「余話」とその余話
 越岡 禮子
 我孫子の社寺を訪ねる(9)
 緑(1) 香取神社 江澤由紀子
 合同部会7月の活動 中澤 雅夫
 古文書解読火曜部会7月の活動 東 日出夫
 ◇162 2015.8 A4 12p
 『我孫子の地名と歴史—わが町の
 字誌(あざし)』印刷間近
 字誌コア編集委員会
 『市民による我孫子史研究—我孫
 子市史研究センター四〇周年記
 念誌』も、印刷依頼間近
 40年史編集委員会
 歴史部会「研究講座」7月の活動 飯白 和子
 歴史部会研究講座「古代交通の視
 点から我孫子古代史の魅力を探
 る」(星野征朗氏)を聴講して 逆井 萬吉
 我孫子の社寺を訪ねる(10)
 青山 無量院 三谷 和夫
 我孫子の社寺を訪ねる(11)
 青山 八幡神社 三谷 和夫
 井上家文書研究部会7月の活動報告
 長谷川 一
 井上家文書研究部会 相島新田飛
 地および手賀沼自普請事業地跡
 の実地調査報告 清水千賀子
 歴史探訪部会 8月の活動 長谷川秀也
 ◇163 2015.9 A4 14p
 九代目井上佐次兵衛(綱次郎・主

信)と幕末・維新 品田 制子
 井上家文書研究部会9月の活動報告
 長谷川 一
 歴史探訪部会 9月の活動 長谷川秀也
 我孫子の社寺を訪ねる(12) 柴崎
 地区(1) 柴崎神社／柴崎さま
 ／石尊宮／天満宮 土井玲子／長谷川秀也
 古文書解読火曜部会9月の活動 萩原 正美
 三谷和夫のひとりごと 三谷 和夫
 ◆神田外語大学日本研究所紀要
 〒261-0014千葉県美浜区若葉1-4-1
 TEL043-273-1389
 ◇7 2015.6 A5 128p
 『霊界物語』における台湾 窪田 高明
 元治元年前半の薩摩藩の諸問題
 —小松帯刀の動向を中心に 町田 明広
 「人間と呼ばれるものへの抗排で
 あるように」—佐々木昌雄とア
 イヌ近現代思想史における贖い
 の政治 マーク・ウィンチェスター
 ／山岡健次郎・訳
 神田外語大学附属図書館所蔵「洋
 学文庫」プロジェクト報告 「洋
 学文庫」プロジェクトについて
 町田 明広
 日本研究所
 研究プロジェクト紹介
 近代日本社会と文化の諸相—人
 ・地・産業のネットワーク
 亀井ダイチ・アンドリユー
 島津久光・小松帯刀による幕末
 維新政治史の再構築 町田 明広
 「バッシング」とされるもの—
 アイヌと民族的判読不能性を
 めぐる歴史的・理論的研究
 マーク・ウィンチェスター
 「婚活」の多様化—オンライン

上での出会い エマ・ダルトン

2014年7月15日開催 講演会「第3回 災害と日本」要旨 神田外語大学周辺の災害の歴史 土田 宏成

2014年11月4日開催 講演会「第3回 世界遺産から見た日本」要旨 富岡製糸場 亀井ダイチ・アンドリユー

2014年12月5日開催 講演会「第2回 世界の中の日本」要旨 現代日本社会における親密さとは何か エマ・ダルトン

◆多輪免喜 佐倉地名研究会
〒285-0864千葉県佐倉市稲荷台1-3-6
野村忠男方 TEL043-487-1033 年2000円

◇7 2015.5 B5 137p
《弥富の地名》
挨 拶 巖 和雄
多輪免喜・第七号(弥富編)の発刊にあたって 野村 忠男
弥富地区の概要
弥富地区・大字地図
飯塚地区・小字地図／概要／小字名／コラム 飯塚古墳群、原殿屋敷、皇産霊神社
岩富地区・小字地図／概要／小字名／コラム 長福寺の梵鐘、岩富城跡、千葉日報より、明代台、松葉の家、佐倉第三工業団地、北条氏勝、小島の狐
岩富町地区・小字地図／概要／小字名／コラム 教蔵寺、八幡神社、立見流の形、弥富文化財収蔵庫、上総七里法華、郷蔵、明治の耕地整理事業、第六天
内田地区・小字地図／概要／小字名／コラム 妙宣寺、駒形神社、

荻野越中守

坂戸地区・小字地図／概要／小字名／コラム 西福寺のイチョウ、坂戸の念仏、ハッチムぎつね、DIC 株式会社敷地の自然、干鰯

七曲地区・小字地図／概要／小字名／コラム 塩古ざる、神宮寺文書、ゲンジボタル自生地

西御門地区・小字地図／概要／小字名／コラム 塩古六所宮、マンハチ、三匹獅子舞、明神様

宮内地区・小字地図／概要／小字名／コラム 八幡神社、正国寺

馬渡地区・小字地図／概要／小字名／コラム 暁発馬渡、馬渡の現地調査行、六地藏より、馬渡百観音、馬渡郵便局

参考文献・資料

◆日本村落自治史料調査研究所研究紀要
〒299-4213千葉県長生郡白子町八斗16-1
川村優方 TEL0475-33-5582

◇19 2015.7 A5 20p
私の拙い戦後十年、狂気の沙汰と批判を受けつつ研究史の一端―特に児玉幸多博士と“佐倉惣五郎”の实在史料を求めて 川村 優
『新しい伊能忠敬』(川村優著)のあとがき 川村 優
全日本的な伊能忠敬の顕彰運動に よせて 川村 優
情報 「地方史研究」
―地方史の窓から 井上 隆男
房総書誌題目(6)―「地方史研究」新刊案内から 井上 隆男

◆房総石造文化財研究会会報
〒270-0221千葉県野田市古布内1682-3
石田年子方 TEL04-7196-3375
年3000円 1980年創刊

◇126 2015.7 B5 10p
27年度定期総会&創立35周年祝賀会を開催！
木更津の石造物(8)
木更津の初期庚申塔 稲木 章宏
花見堂地藏と子供名のある地藏塔 巖 由美
「おゆみ野の石仏見学会」に参加して 入谷 雄二

◆足立史談
足立区教育委員会足立史談編集局
〒120-0001東京都足立区大谷田5-20-1
足立区郷土博物館内 TEL03-3620-9393

◇569 2015.7 A4 4p
小特集 いま改めて70年前を振り返る 震撼！爆弾空襲 あだちの爆弾空襲 郷土博物館
手記 爆弾が落ちた日(3)
井上きみ子著
縁故疎開ですごした北鹿浜町の想い出(29) 鹿浜の子どもの生活(11) 小川誠一郎
区役所アトリウムで学童疎開展開催へ 学童疎開を伝える会
おでかけ下さい 地元の古代(3)
伊興遺跡公園展示館 玉から玉が生まれる不思議・子持ち勾玉 足立区役所文化財係
ここで見て足立の博物館資料 三
菱一号美術館 河鍋暁斎の肉筆画公開中

◇570 2015.8 A4 4p
沖縄戦を学童疎開地で聞いた渡名

喜先生 矢 幸一郎
まちの写真館3 千柳館 千柳館
のあゆみと千住の思い出3 柳下 静子
縁故疎開ですごした北鹿浜町の想い出(30) 鹿浜の子どもの生活(12) 小川誠一郎

◇571 2015.9 A4 4p
吉祥図をあしらった大型舞台幕
本木高野の神楽資料から 郷土博物館
足立区の廃寺余話(4) 舎人能満
寺と将軍家の御茶屋跡 柴田 英治
縁故疎開ですごした北鹿浜町の想い出(31) 鹿浜の子どもの生活(終) 小川誠一郎
ここで見て足立の博物館資料
書店や図書館で出会う本

◆足立史談会だより
〒120-0001東京都足立区大谷田5-20-1
足立区郷土博物館内 TEL03-3620-9393

◇328 2015.7 A4 8p
ふるさと先人譚・千ヶ崎梯六先生
終戦直後の日本の教育改革の原点(4) 独自の戦後教育改革意見
日本側教育家委員会教育改革作成案 堀川 和夫
足立区の文化財 平成2年版「足立区の文化財」による 無形民俗文化財 千住絵馬づくり、押部阿弥陀院 百万遍、ボンデン祭り
足立史談カルタ
き「木余如来と足立姫」
六月探訪 羽村取水堰を訪ねる／史談大学はじまる うらやましい展示スペース
足立の文化遺産調査最前線からの報告 与謝野晶子を支えた詩画

人 13中では英語を教えた千ヶ崎悌六先生

◇329 2015.8 A4 8p
独自の戦後教育改革意見 日本側
教育家委員会教育改革作成案(5)

3 学校体系に関する意見 堀川 和夫

足立区の文化財 平成2年版「足立区の文化財」による 無形民俗文化財 島根神代神楽、葛西囃子について／記念物(史跡) 洲の宮

又木の卒塔婆に就いて・承前一まだかり塔婆とアイヌの墓標「クワ」(福島寛太郎)「葛飾史談二四号」昭和38年6月1日 史談会だより319号の続きです

◇330 2015.9 A4 8p
史談文庫⑨ 久し振りに刊行 語り伝える江戸から今へ 安藤義雄著／野沢温泉村から届いた疎開関係資料 東京都が発行した感謝状 集合写真三葉(千寿第二・関原)

独自の戦後教育改革意見 日本側
教育家委員会教育改革作成案(6) 堀川 和夫

足立区の文化財 平成2年版「足立区の文化財」による 記念物(史跡) 中曽根城址、入谷古墳跡、佐竹抱屋敷跡

足立史談カルタ ゆ「往きも帰りも渡る大橋」、め「目もらんらんと赤不動」

史談大学 七月八月 すみだ郷土文化館江戸川郷土資料室／関澄桂子・千住時代、森鷗外の交遊画 続・関澄桂子・千住時代、森鷗外の交遊画 大塚美保著／

学童疎開展を見て 参観者の感想から／区民まつりへ参加

おろかもの之碑 矢沢幸一朗

今！伝えたい平和の大切さ／「足立の学童疎開資料集成」

研究発表を聞いて(写真・小島勲氏) 安藤 義雄

最初に失った友 佐藤 勝善

◆あるむぜお 府中市郷土の森博物館
〒183-0026東京都府中市南町6-32
TEL042-368-7921 1987年創刊
www.fuchu-cpf.or.jp/museum/

◇113 2015.9 A4 8p
カイコがつくった風景(2)
カイコのためのリフォーム 佐藤 智敬

展示会案内
企画展 ムダ堀の謎をさぐる 深澤 靖幸
NOTE 養蚕が歴史を変えた。
お祭も変えた!? 小野 一之
多摩川おさかな考
(6) ドジョウの世界 中村 武史

最近の発掘調査 竪穴建物の地鎮
と魔除けの土器 寿町三丁目 野田憲一郎

『県居井蛙録』にみる江戸時代の庶民の生活 (2)喧嘩と検使 花木 知子

◆板橋史談 板橋史談会
〒174-0075東京都板橋区桜川2-27-3
大澤鷹邇方 TEL03-5398-2682 1966年創刊
www.sites.google.com/stite/itabashishidankai/

◇285 2015.8 B5 36p
鹿王院と赤塚荘園 余考(後) 大井 眸

おじやの味 カレーの匂いー若木 泉 貞代

1960年代(昭和35～44年)の回顧

上板橋駅周辺・戦中戦後の風景 石田 太郎

ひろば

千川上水境界標杭移設保存 三原寿太郎

表紙写真解説
「いたばし花火大会」(荒川) 井上 富夫

◆奥武蔵 奥武蔵研究会
〒350-1301埼玉県狭山市青柳63
新佐山ハイツ4-504 藤本一美方

◇404 2015.7 B5 30p
机上登山から次のステップへ 藤本 一美
武甲山雑感 町田 尚夫
慈光寺石標は語る 酒井 昌樹

峠の残照
一奥武蔵高原とその周辺(2) 小泉 重光

奥武蔵・秩父の獅子舞(58)
一名細・下小坂の舞 関口 洋介

安全対策班だより 吉田美知子

山行報告
桐生の荒神と足尾の備前橋山 斉藤 慶広
八王子城跡周辺を歩く 倉持 政美

春日部の河畔砂丘と富士塚 藤本 一美

◆北区史を考える会会報
〒115-0052東京都北区赤羽北1-3-10
大澤栄美方 TEL03-3907-0040 1986年創刊

◇117 2015.8 B5 14p
第390回 月例研究会
東国武士と運慶一御家人依頼に
よる運慶仏とその周辺 室田 裕之

第389回 月例研究会
北区の日清・日露戦役碑 本間 孝夫

第391回 座談会 豊島の昔を語る
会一豊島地区座談会Ⅳ 領塚 正浩

葛西氏に寄せる源頼朝の信頼 豊島 信夫

滝野川反射炉地内稲荷社の石製水
盤の武士名について 馬場 永子

◆儀礼文化ニュース 儀礼文化学会
〒160-0012東京都新宿区南元町13-7

TEL03-3355-4188

◇198 2015.6 A4 8p
催事スケッチ 那智火祭り 古の
風雅が色濃く伝わる火と水の祭
礼

これからの催し物ご案内
一般社団法人儀礼文化学会 第35
回春季大会開催 催しは「出陣
の式」を再現

会長式辞 中島精太郎
理事長挨拶 倉林 正次
祝 辞 杉谷 義純
祝 辞 桶屋 良祐

催し「出陣の式」鎧着装の儀式
など拝見／歓宴 新緑と、楽し
い語らい

会員を訪ねる
尾山神社／日枝神社

レポート
儀礼文化講座(平成26年度第8回)
礼法 小笠原礼法の伝書を学
ぶ 講師：小笠原清忠 佐々木 寛

儀礼文化講座(平成26年度第9回)
儀礼文化史 平安時代の作法
講師：倉林正次 佐々木 寛

平成27年度 専修ゼミが開催 受
講者のご感想 青木伸二郎氏・
富山恵美子氏・門脇悠美子氏

◇199 2015.9 A4 8p
催事スケッチ 大原はだか祭り
勇壮な神輿と哀愁の調べ 渡辺 良正

これからの催し物ご案内
特集 秩父の人形芝居
「人形の国」に残る三つの人形
芝居／秩父の人形芝居三座の繰
りと語り 横瀬人形芝居、白久
串人形芝居、出牛人形浄瑠璃 朽原 嗣雄

会員を訪ねる

氣多大社／氣比神社
レポート

生活芸術講座 儀礼文化学会創立35周年特別講座（儀礼文化講座 平成27年度第8回） 香道 志野流「香道箇条目録の流れ」 講師：蜂谷宗玄 佐々木 寛

儀礼文化講座（平成27年度第1回） 料理 和食—ユネスコ世界無形文化遺産の認定とこれから 講師：柳原尚之

儀礼文化セミナー（平成27年度第1回） 能・狂言 寺社と能 佐々木幸子

儀礼文化セミナー（平成27年度第2回） くらしの民俗 國學院大學博物館見学 佐々木幸子

◆個人誌 散歩の手帖
木村成生
〒197-0023東京都福生市志茂113-2
rakkodou.cside.com

◇29 2015.9 A5 74p
鏡餅とケガレの太陽 木村 成生
はじめに
鏡餅は太陽を象徴する
餅は運び去られる
ハマイバとは何か
ケガレの餅は境界へ行く

◆品川歴史館紀要 品川区立品川歴史館
〒140-0014東京都品川区大井6-11-1
TEL03-3777-4060 1986年創刊

◇30 2015.3 B5 189p
《開館30周年記念》
品川歴史館開館30周年にあたって 濱野 健
佐藤成順館長と品川歴史館

中世品川の有徳人鈴木氏と連歌師
—新出史料・吉田文庫所蔵『於
関東発句付句』 柘植 信行

品川・東海禅寺所在石櫃とその被
葬者「岡山夫人」 松原 典明

特集 特別展「品川から世界へ
サムライ海を渡る—幕末明治
の日本と外交使節団—」
日米・日露和親条約における最
恵国条項—「信義」と「公平」 嶋村 元宏

幕府目付京極能登守と文久の遣
欧使節団—京極家臣永坂家と
黒澤家の史料を読み解く（前） 富川 武史

展示批評
特別展「品川から世界へ サム
ライ海を渡る—幕末明治の日
本と外交使節団—」を見て 松方 冬子

特別展「品川から世界へ サム
ライ海を渡る—幕末明治の日
本と外交使節団—」をみて 関根 仁

所蔵資料からみる品川区の鉄道
—池上電気鉄道編 中野 光将

仙台坂遺跡出土の御幸煉瓦—玉川
下流域の煉瓦生産と流通 中野 光将

品川地域史文献目録 柘植 信行

『品川歴史館紀要』総目録

◆石神井公園ふるさと文化館ニュース
〒177-0041東京都練馬区石神井町5-12-16
TEL03-3996-4060
www.neribun.or.jp/furusato.html

◇18 2015.9 A4 4p
東京大学総合健紀憂博物館モバイ
ルミュージアム特別展 練馬区
立石神井公園ふるさと文化館平
成27年度第1回特別展「蟬類博

物館—昆虫黄金期を築いた天
才・加藤正世博士の世界—」
石神井公園ふるさと文化館分室
展覧会「書家・松井如流—ゆる
ぎない信念とともに」

◆城郭だより 日本城郭史学会会報
〒174-8691東京都板橋区 板橋北郵便局私
書箱50号 TEL03-3967-1948 1993年創刊

◇90 2015.7 A4 6p
伏見指月城の石垣・堀が出土
—豊臣秀吉最初の伏見城
松江城天守が国宝指定へ
「江戸城天守閣再建」の夢は夢の
まみに 阿部 和彦

最近の城郭ニュースから 大坂城
大手前の堀障子西側延長部の調
査／信長の兵庫城から石垣が出
土／金沢城下で惣構の西虎口櫓
形を発掘・整備

最近の注目される城郭関係図書か
ら／各地の城郭研究会活動から
／平成27年度 総会・大会

◆杉並郷土史会史報
〒167-0022東京都杉並区下井草3-12-9
新村康敏方 1973年創刊
www.sugi-chiiki.com/rekishikai/

◇252 2015.7 A4 10p 400円
善通寺池とダイダラボッチ 長沢 利明
他区館だより 伊東 勝

平成26年度 事業報告／平成26年
度 杉並郷土史会 収支決算報
告

天沼熊野神社前「文化人エリア」
散策 新村 康敏

東京文化財ウィーク二〇一四例会
記 東京のへそ大宮八幡宮と島

津氏ゆかりの大圓寺をめぐる 服部 建人

◇253 2015.9 A4 8p 400円
戦後七十年 追悼号 私と中国 神山 敏夫
下弦の絨月 須永万里子
あの日あの頃（大場さん提供、原
田氏提供）
“餓鬼道の日々を生きて” 植原 菊郎
興亜観音と七土之碑 新村 康敏
会報合冊 第五巻を発行

◆西郊民俗 西郊民俗談話会
〒160-0016東京都新宿区信濃町17-1
大島方 年2000円 1957年創刊
www11.ocn.ne.jp/~oinari/

◇232 2015.9 B5 30p
「懸想する道祖神」その後 榎本 直樹
千葉県手賀沼南岸における三つの
鳥ビシヤ 近江 礼子
笠島のサエノカミ 大島 建彦
三浦市三崎の面神楽 清水 亨桐
愛知県天狗像 高橋 成

◆せたかい 世田谷区誌研究会
〒156-0045東京都世田谷区桜上水3-12-13
新川陽一方 TEL03-3302-4575
年2000円 1951年創刊
setagaya-kushiken.jp

◇67 2015.7 B5 65p 1000円
『せたかい』を通して見た戦後の
区誌研（1） 馬場 優子
戦前の『せたかい』を顧みて（3） 瀬村 進
世田谷線 沿線各駅散歩道（3） 中村 甲
学習会の報告 学 習 会
終戦後70年にあたっての復刻掲載
復刻転載に当って 編 集 部
せたかい第53号より復刻転載
「世田谷区に生まれて～昭和
十年代～二十年代の記録～」内山 昌玄

せたかい第57号より復刻転載
「一世田谷代田の惨状記録か
ら一世田谷を襲った焼夷弾」編集部
平成26年度の行事記録
講演会「高幡不動胎内文書と関
東の南北朝動乱」講師：大
庭光治氏 黒瀬 威
バス見学会「鋸山日本寺・菱川
記念館・館山城ほか」野岸 敏雄
講演会「徳川将軍の鷹狩と世田
谷」講師：濱中正之氏 秋山清太郎
史跡散歩「下北沢文士町を訪ね
て」角田 芳正
バス見学会「三島・伊豆菰山方
面」小松崎康弘
ネットワークプロジェクト 世
田谷区誌研究会の区民一般参
加企画第二弾「世田谷をもつ
と良く知ろう！～九品仏浄真
寺を中心とする奥沢地域の散
策に参加してみませんか」実
施報告 中井 盛久
講演会「勝海舟と西郷隆盛～江
戸城無血開城の真実」講師
：安藤優一郎氏 矢頭 誠一
史跡散歩「慶元寺・氷川神社ほ
かを訪ねる」細田篤志郎
講演会「世田谷を潤した《品川
用水の面影》に出会う案内マ
ップ」講師：渡部一二氏 森 征夫
街かどトピックス
天皇皇后両陛下が宮本三郎記念
美術館ご見学
九品仏浄真寺「お面かぶり」開
催日を変更
東京ラーメンショー(駒澤公園)

◆全日本郷土芸能協会会報
〒106-0032東京都港区六本木4-3-6
三河台ハイツ206 TEL03-6434-9435
年2000円 1995年創刊 www.jfpaa.jp
◇80 2015.7 A4 24p
早池峰神楽 岩手県花巻市大迫町
国指定重要無形民俗文化財 撮
影：萩原弘幸氏
平成27年度総会／全国民俗芸能保
存振興市町村連盟平成27年度総
会が東京都八丈島で開催／第31
回まつり研究会の開催告知「有
田神楽」有田神楽団(広島県
北広島町)／報告書作成業務
秋田県「秋田万歳」、石川県「加
賀万才」、長崎県「命婦の舞」
／地域伝統芸能全国大会 日本
の祭り in あきた2015／「獅子
舞フェスティバル白岡・15」
宇野小四郎さんのこと 塚田千恵美
東日本大震災・郷土芸能復興支援
プロジェクト
民俗楽器(56) 南インド、カルナ
ータカのヒンドゥー寺院に描か
れたタイコ 山本 宏子
ミラノ国際博覧会 山海の珍味に
あふれた食の祭典 中坪 功雄
報告 第25回全国地芝居サミット
in あきる野～つなごう地芝居、
郷土の心～／新豊田市誕生10周
年記念事業 第26回全国地芝居
サミット・イン・とよた
地芝居探訪(55) 常盤座歌舞伎／
小鹿野春祭り・歌舞伎／津谷木
歌舞伎／鳳凰座歌舞伎／秩父歌
舞伎(正和会)／小原歌舞伎
地芝居見聞(18) 小原歌舞伎 五
月公演／小鹿野歌舞伎 熊谷歌

舞伎の会 北河 直子
地芝居あれこれ(19) お坊さんが
案内する上三原田の舞台 蒲池 卓巳
会員紹介
藤野歌舞伎保存会 諸角 安治
干溝歌舞伎保存会 大平 文一
義太夫演奏会
一般名社団法人 義太夫協会
空白の沖縄芸能史(9)
嗚呼！我青春の唄が聞こえる 中坪 功雄
BOOK良書紹介 「説経節研究
一歴史資料編」説経節の会編
◆大道芸通信 日本大道芸・大道芸の会
〒157-0061東京都世田谷区北鳥山2-3-9-101
光田憲雄 TEL03-3307-2146
www.k5.dion.ne.jp/~daidogei/
◇280 2015.7 A4 2p 100円
ハラハラ……インドの路上での
でんぐり返し 澤野 勉
猿廻しと猿飼
◇281 2015.8 A4 2p 100円
深川江戸資料館主催 江戸の物売
りと大道芸 9月12日(土) ア
サリ売り／かりんと売り／鑄掛
け屋／蚊帳売り／糊売り／おで
ん売り／外郎売り／七色唐辛子
売り／石立の術／ワンチャ(茶
碗売り)／アホダラ経／一筆龍
／普化宗尺八／南京玉すだれ
◇283 2015.9 A4 2p 100円
傀儡師
江戸の物売りと大道芸 盛況裡に
終わる

◆多摩地域史研究会会報
〒207-0033東京都東大和市芋窪4-1735-1
梶原方 1991年創刊

tamatiken.web.fc2.com
◇116 2015.9 B5 8p
第24回大会報告 多摩地域史研究
会第24回大会 「多摩の鉄道史
Ⅲ」参加記 池谷 泰春
新刊紹介
校訂近辻喜一・編者田辺卓躬
『新版・明治郵便局名録』 外池 昇
八王子女性史サークル編『聞き
書きで綴る 八王子の女性史』
市川 晶子
地域史情報室 「東京郷土資料陳
列館物語ー東京の地域博物館事
始めー」展ガイドツアーのご案内
内 ガイドツアー「遺された上
水石枡を巡る」
◆多摩のあゆみ たましん地域文化財団
〒186-8686東京都国立市中1-9-52
TEL042-574-1360 年600円 1975年創刊
www.tamashin.or.jp
◇159 2015.8 A5 124p
《特集 多摩のレンガ》
東京における多摩地域の煉瓦生産
の特徴 斉藤 進
甲武鉄道のルート選定とレンガ構
造物ー『山口溝之助日記』より 清野 利明
甲州街道のレンガ歩道 高橋 秀之
日野レンガ見て歩き帖ー「現役」の
近代化遺産を訪ねて 大石絵里子
八王子のレンガ構造物 中村 明美
明治期の耐火煉瓦とその利用法
ー東京の工場で生産された耐火
煉瓦を中心に 中野 光将
横浜・横須賀の煉瓦と製造元 野内 秀明
東京の鉄道建設と煉瓦 小野田 滋
洋風建築への誘い(48) ライトの
香りを現在に伝えるー国立・高

田義一郎邸 伊藤 龍也
 建物雑想記(43)
 「旧高田邸」と国立の魅力 酒井 哲
 旧高田邸と国立大学町
 一八五年の物語 江津 匡士
 甦る高田義一郎—国立の文人医師
 山本 拓也
 古文書は語る(42) 安政江戸地震
 と被災状況の記録—鈴木家文書
 「公私日記」より 馬場 憲一
 多摩の食文化誌(20) ジャガイモ
 の在来種は我が家の味 増田 昭子
 多摩のみほとけ(21) 府中市 善
 明寺 鉄造阿弥陀如来坐像 齊藤 経生
 本の紹介
 小島日記研究会編『梧山堂雑書
 文久三年』 宮間 純一
 府中市郷土の森博物館編『県居
 井蛙録』 清水 裕介
 公私日記研究会編『鈴木平九郎
 公私日記(改訂版)』全五巻 白井 哲哉
 情報 多摩の博物館だより

◆中世城郭研究 中世城郭研究会
 〒177-0033東京都練馬区高野台3-24-6
 八巻孝夫方 TEL03-3997-5703
 1987年創刊
 www.komazawa-u.ac.jp/~kazov/chujoken/
 ◇29 2015.7 B5 325p 3000円
 表紙図版解説 次 anni子楯 山形県
 北村山郡大石田町次 anni子 渡邊 敬
 依田窪地域の山城
 一長野県上田市の中世城郭 三島 正之
 折れ(横矢掛り)の効果
 一旧丹波国の事例を中心に 高田 徹
 大崎氏領内の丘陵城郭についての
 一考察—高根城、駒辺城を中心
 として 小山 文好

三好氏の丹波における動向と城郭
 一丹波八木城と奥丹波を結ぶ街
 道と周辺城郭 高橋 成計
 衣笠城とは何か(上)—その研究史
 及び遺構の考察と実像 八巻 孝夫
 東山城は高之林城か 村田 修三
 関ヶ原合戦の松尾山城と大谷吉継
 の陣営 藤本 正行
 栃木県・皆川城の山麓遺構につい
 て 渡邊 昌樹
 金山要害山と堀尾氏 寺井 毅
 栃木県野木町の城址 池田 光雄
 十日町市北部の二つの城
 一干手城と節黒城 目黒 公司
 書評 松岡進著『中世城郭の縄張
 と空間—土の城が語るもの』 西股 総生
 第31回全国城郭研究者セミナーの
 報告
 第31回全国城郭研究者セミナー
 について 目黒 公司
 肥後相良領の近世城郭 鶴嶋 俊彦
 豊前・小倉城発掘調査より 中村 修身
 城郭パーツの組成と年代観 山本 浩之
 「松浦型プラン」の研究視点 林 隆広
 山寺の空間的変遷と城郭 藤岡 英礼
 慶長20年「一国一城令」の発給
 と実際—何故、破却の仕方に
 差異があるのか
 花岡 興史
 シンポジウム「近世城郭をどう
 捉えるか」
 近世城郭における技術発展し
 規格化—城郭の完成と技術
 者の凋落 山上 雅弘
 近世の社会と城郭観
 一伊達氏の事例を中心に 太田 秀春
 縄張り研究から近世城郭を捉
 える 中西 義昌

近世城郭史料論 千田 嘉博
 シンポジウム「近世城郭をど
 う捉えるか」
 城郭関係文献リスト
 2014・2013(補遺)・2015(速報)
 ◆東京産業考古学会 NEWSLETTER
 〒173-0011東京都板橋区双葉町22-8-403
 多田統一方／〒352-0011埼玉県新座市野火
 止4-8-43 柚須紘一方 FAX048-479-7490
 tias3.web.fc2.com
 ◇113 2015.7 A4 6p
 報告 講演会「明治期の国産化建
 材探訪記」文・長野恭彦／写真・奥原一三
 報告 見学会「農機具の変遷を訪
 ねて」 堀内 仁之
 新刊紹介『北九州の産業観光—
 時代鼓動に触れる旅—体感編』
 多田 統一
 第2回理事会の議事概要／第3回理
 事会の議事概要
 博物館シリーズ(23) 水力発電
 長距離送電の草分け(駒橋発電
 所・山梨) 小野田良智
 茨城県常総市の赤煉瓦建築物(2)
 五木宗レンガ蔵 八木 司郎
 ◇114 2015.9 A4 6p
 見学会「浦安市郷土博物館」／行
 事予定(1)／行事予定(2)／
 関連団体情報(産業考古学会、
 産業考古学会 電気と機械分科
 会)
 報告 講演会「日本の列車トイ
 レの変遷」 長野 恭彦
 報告 見学会「浦安市郷土博物館」
 多田 統一
 新刊紹介『日本陸軍 鉄道連隊写
 真集』高木宏之著 多田 統一

第4回理事会の議事概要／第5回理
 事会の議事概要
 博物館シリーズ(24)
 富士山レーダー 小野田良智
 茨城県常総市の赤煉瓦建築物(3)
 「旧報徳銀行水海道支店」 八木 司郎
 ◆東京大空襲・戦災資料センターニュース
 〒136-0073東京都江東区北砂1-5-4 政治経
 済研究所 TEL03-5857-5631 年2000円
 2002年創刊 www.tokyo-sensai.net
 ◇27 2015.7 A4 8p
 差しあたりの1歩を 早乙女 勝元
 2015年夏休みの特別企画 みんな
 で学び、伝えよう!東京大空襲
 /空襲・戦災を記録する会全国
 連絡会議第45回大会 今年の開
 催都市は東京です
 戦後70年 東京大空襲を語り継ぐ
 つとい センター開館13周年 石田 博美
 センターで空襲体験を語って 赤澤寿美子
 科学研究費研究プロジェクト 戦
 後都市社会における空襲被災者
 運動の歴史学的研究 大岡 聡
 『東京大空襲写真集』刊行記念特別
 展「戦後70年にふりかえる東京
 空襲写真展」の報告 山辺 昌彦
 語り継ぐ
 新年度の修学旅行
 心に残った生徒たち 鈴木美智子
 世界の子どもの平和像14周年 近森 拡充
 資料は語る 品川から見た初空襲
 山本 唯人
 『都内戦災殉難者霊名簿』の共同
 研究調査の問い合わせが40件に
 達しました 山本 唯人
 証言映像プロジェクト 向島と青
 山の証言映像作品を公開します

山本 唯人

◆練馬郷土史研究会会報

〒177-0041東京都練馬区石神井町2-28-31
吉越正博方 TEL03-3996-4454
1956年創刊

◇357 2015.7 A4 4p

「豊島館・武蔵野館」と「見晴亭」葛城 明彦
高札場 2月例会 春暖の中伊豆
史跡探訪／3月例会「豊島館・
武蔵野館と見晴亭」葛城明彦氏
／4月例会 武蔵野三十三観音
巡拝(4)／5月例会 南房州・名
利と史跡探訪

豊島氏関係史料を読む(19) 天正
十三年七月十日北条氏政朱印状
の歴史的背景(4) 伊藤 一美
練馬の城を往く(13)
8.富士見池の障子堀(続き) 八巻 孝夫

◆練馬区地名研究会会報

〒176-0014東京都練馬区豊玉南3-24-4
飯塚芳男方 TEL03-3992-0264
年2500円 1987年創刊

◇112 2015.7 B5 4p

第112回例会 下石神井村(現下石
神井・石神井町)の地名の変遷を
古文書・地誌・絵図でさぐる 長坂 淳子
表 絵図・地誌より下石神井村地
名(小名・小字)の変遷をみる 長坂 淳子

◇113 2015.8 B5 6p

第113回例会
練馬旧将校住宅(東大泉三丁目)
の歴史 大橋 皓也
「武蔵国・広沢の庄」の今昔 徳川 達子

◆東日本部落解放研究所ニュース

〒111-0024東京都台東区今戸2-8-5

TEL03-5603-1863 1986年創刊

www.hblri.org

◇89 2015.8 A4 8p

第30回総会を開催／上野区民館

30周年記念事業などを確認

被差別マイノリティの集合的記憶
と世代継承の困難さー楠原彰さ
んの講演「人間が差別／抑圧か
ら自由になるということ」を聞
いて

第1分科会「歴史」 栃木の部落史
／日光領の部落史 竹末広美さ
ん

「教育」分科会 差別と向き合う
一人権・同和教育の現状と課題
「『部落の子』として出たい」
浅井誠さん(長野)／「私の同和
教育～校内人権教育研修から
～」柏瀬和彦さん(栃木)／「大
切なものを伝えたい」海野敦彦
さん(東京)

『東日本の部落史』全3巻 関東編
／甲信越静・東北編／テーマ編
2016年9月の同時刊行を予定

◆郵便史研究 郵便史研究会

〒112-0011東京都文京区千石2-42-7
田中寛方 TEL03-3945-2497 年3500円
1995年創刊 www.yuubinshi.sakura.ne.jp

◇40 2015.9 B5 166p 3000円

《20周年記念号》

郵便貯金利子の決定に関する一考

察一逋信省と大蔵省の関係 石井 寛治
エンタイヤに見る帝国海軍将官と
その時代背景 赤須 秋王
書評論文 松沢裕作著『町村合併

から生まれた日本近代』 板橋 祐己
集金郵便について 繪鳩 昌之

静岡局の二重丸型日付印(小判時
代の変遷) 長田伊玖雄

明治前期の郵便局ネットワークの
調製とその効果 小原 宏

明治後期の柏壁局管内の函場と郵
便切手売下人 金沢 真之

明治初期の留置郵便について 立山 一郎

明治18年の水害と郵便 近辻 喜一

17世紀ロンドンのペニー郵便 星名 定雄

飛脚抜状の考察ー「上方・下方抜

状早遅調」にみる 巻島 隆

「フランス横浜郵便局」研究史(2)

松本 純一

郵便創業の実態

一東海道石部駅の場合 藪内 吉彦

山城国長池郵便局の郵便資料 米倉 正裕

特別報告 前島密 生涯とその業

績 展一前島密生誕180年&郵

便貯金140年 井上 卓朗

資料紹介

小包送票異聞(11)

その他の特殊扱い 加藤 秀夫

旧刊紹介(14)

『大日本郵書解題』 鈴木 克彦

山崎善啓氏を偲ぶ

巨星墮つの感が深く 藪内 吉彦

生粋の郵政人研究者 井上 卓朗

近刊紹介

巻島隆 江戸の飛脚

人と馬による情報通信史 星名 定雄

近辻喜一校訂・田辺卓躬編

新版・明治郵便局名録 田中 寛

郵政歴史文化研究会編

郵政博物館研究紀要

研究発表会の記録(1995-2014年)

関東部会の記録(1996-2015年)

◆論集きんせい 近世史研究会

〒113-0033東京都文京区本郷7-3-1
東京大学文学部日本史学研究室気付
TEL03-3812-2111 1978年創刊

◇37 2015.9 B5 86p

浄土宗壇林寺院の僧侶集団と寺院
運営ー三縁山増上寺を中心とし
て 下田 桃子

名目金貸付における触流とその出
願について 曹 承美

文久遣欧使節団のオランダ「探索」

ー東京大学史料編纂所所蔵「福

田作太郎筆記」十二「荷蘭探索」

の翻刻と考察 水上たかね

近世史研究会2014年度活動報告

近世史研究会委員会

◆小田原史談 小田原史談会

〒250-0003神奈川県小田原市東町1-21-18
平倉正方 TEL0465-34-8363 年3000円
1961年創刊 odawara-shidan.hustle.ne.jp

◇242 2015.7 A4 28p

戦後七十年 昭和世代の戦時体験
はじめに 小田原史談会理事
東京大空襲 石井 艶子
飢えた兵士・下曽我駅爆撃 鳥居泰一郎
我が家の近くと新玉小学校の爆

撃 武田 敏治
網一色軍需工場の空襲 勝俣淳一郎
原爆で亡くなった正行君 佐久間俊治

三重県松阪での体験・父 田中 豊

小田原から新潟へ疎開 平倉 正

東京から小田原へ疎開 中野 家孝

大連からの引き揚げ 植田 博之

旅のつれづれ俳句日記 剣持 芳枝

小田原桐座について(2)

ー由緒書の検討を中心に 荒河 純

小田原の郷土史再発見 「鴨宮駅

創設」秘話と飯山子之太郎 石井 啓文
春の史跡巡り「川越」 田中豊 絵・文
片岡日記 昭和編(3)
昭和2年3月 片岡永左衛門
小田原大秘録(巻一から巻三まで
の読み下し文) 第十回巻三の
三(最終回)／連載終了にあたっ
て 鳥居泰一郎
平成27年度総会報告

◆鎌倉 鎌倉文化研究会
〒248-0016神奈川県鎌倉市長谷3-11-2
長谷寺宝物館内 TEL0467-22-6300
1959年創刊
◇119 2015.9 A5 106p 1500円
源頼朝と薬師信仰 田井 秀
戦国前期の房総里見氏に関する考
察―新出足利政氏書状の紹介と
検討を通じて 滝川 恒昭
旧建長寺末寺考(10)
―熊本県(肥後国)編 鈴木 佐
『亀谷山記録』(14) 鎌倉古文書研究会
『鹿山公私諸般留帳』(46) 三淵美恵子
神奈川の窓(36)
―「地方史研究」から 井上 隆男

◆かまくら女性史の会 Newsletter
〒248-0012神奈川県鎌倉市御成町18-10
NPOセンター鎌倉気付
メールボックス26
◇25 2015.9 A4 2p
終戦直後の鎌倉(戦後70年企画1)
慰安施設を作らなかった鎌倉市長
(戦後70年企画2)
「駆け込み女と駆出し男」
2015年中学校教科書採択 傍聴記

◆コロス 常民文化研究会
〒254-0016神奈川県平塚市東八幡2-8-20
西海賢二方 年1000円 1979年創刊
◇142 2015.8 B5 6p
実測図の効用 時枝 務
報告 諸塚の民俗(2)
―伝統的養蜂のこと 湯川 洋史

◆寒川文書館だより
〒253-0106神奈川県高座郡寒川町宮山135-
1 TEL0467-75-3691 2007年創刊
www.lib-arc.samukawa.kanagawa.jp
◇18 2015.9 A4 8p
資料紹介 大蔵旧諏訪社の梵鐘の
供出(昭和18年・大蔵自治会文
書) 鳥養 圭美
第19回企画展 記録が語る銃後―
大蔵自治会文書にみる戦時下の
暮らし
茅ヶ崎市・寒川町広域連携事業
寒川と茅ヶ崎の浜降祭 寒川文
書館第18回企画展「浜降祭 寒
川の記録資料から」／茅ヶ崎市
文化資料館企画展「写真からみ
る茅ヶ崎の浜降祭」／講演会「寒
川と茅ヶ崎の浜降祭」／絵はが
き集「浜降祭 1936」
文書館運営審議会が改選／国際ア
ーカイブズの日 ICA特設サ
イト／文書館 最近のできごと

◆市史通信 横浜市史編集室
〒220-0032横浜市西区老松町1 横浜市中央
図書館地下1階 TEL045-251-3260
2008年創刊
www.city.yokohama.lg.jp/somu/org/housei/sisi/
◇23 2015.7 A4 12p
体験記から戦争・空襲を知る 羽田 博昭

佐藤敬、従軍地からの手紙 百瀬 敏夫
横浜の古民謡 平野 正裕
開架資料紹介
横浜市瓦斯局事務報告書 平野 正裕
市史資料室たより 平成27年度横
浜市史資料室展示会「戦後70年
戦争を知る、伝える 横浜の戦
争と戦後Ⅱ」

◆戦争と民衆
戦時下の小田原地方を記録する会
〒250-0011神奈川県小田原市栄町3-13-21
井上弘方 1980年創刊
◇75 2015.7 A5 36p
《特集 戦後七〇年》
戦後七〇年を迎えて(本会からの
メッセージ)
特集について
本会発行の書籍案内
七〇年目に語る戦争体験
(1) 沼津空襲を体験して 志摩 麗子
(2) 大勢の人に戦争は駄目だと
伝えたい 山岸 正江
(3) 戦争はもう二度といやです
松本美代子
(4) 戦争へいきたくなくて理工
学部へ 松本 昭
今までの聞き取り一覧(144証言)
聞き取り(1) 私の広島原爆体験
話し手: 田中賢子
聞き取り(2) 戦時下・戦後の小田
原中学 話し手: 奥津裕
最近の『戦争と民衆』目次(第71
号～第74号)
交流報告 戦後70年5.29横浜大空
襲祈念の集い参加記 矢野 慎一
新刊書のご案内 小田原ライブラ
リー23 井上弘著 知られざる

小田原地方の戦争



＊「戦時下の小田原地方を記録する会」は、昭和54年(1979)の発足で、小田原のみならず神奈川県西部2市8町において戦争体験を掘り起こし、同誌に記録し発信し続けている。本号には、これまで聞き取りを行った144の証言一覧が掲載されている。それらは記録集として、『焦げたはし箱』(1992)から『語り伝えよう小田原の戦争体験』(2012)まで、8冊にまとめられ刊行されている。まずこうした40年近い活動に敬意を表したい。

本特集には6本の聞き取りが収録されている。いずれも生々しい体験を語った重要な証言であるが、大正14年(1925)生まれの男性の明け透けな言葉が、誤解を恐れずにいえば愉快であった。戦争にいきたくなくて徴兵猶予のある理工学部に進学した。玉音放送を聞いた時は、父親は泣いていたが、自分は「ざまあみろって感じ」だった。戦争体験を記録し伝えていく意義を問われ、「いやあー、伝えても伝えても、新しいのがまた同じことを繰り返す」「人間は果てしなく愚かだ」と。こうした本音を記録するところに聞き書きの真骨頂があるのだと感じた。

◆日本地名研究所通信
〒213-0001川崎市高津区溝口1-6-10

川崎市生活文化会館 4 階 TEL044-812-1106
 1993年創刊 www8.ocn.ne.jp/~timeiken/
 ◇82 2015.7 B5 6p
 岐阜から伊那谷へ 谷川 彰英
 第34回全国地名研究者大垣大会報告
 大会成功体験談(苦心談) 三澤 博敬
 途切れない興味 有意義な時間 吉山 治
 次回に続く第一歩 角田 憲治
 濃尾・各務原地名文化研究会の設立 可児 幸彦
 全国大会スナップ
 地名探訪 地名の楽しみ 桐井 聡男
 地方紙のコーナーに発表 会員各自の個性を活かして追求! 米澤 範彦
 書評 服部真六著『日本おもしろ地名考』—誰にもわかる 地名のすべて—/長谷川勲著『にいがた地名考』—歴史と由来—
 ◆扣之帳 扣之帳刊行会
 〒250-0021神奈川県小田原市早川60
 青木良一方 TEL0465-22-8852
 年2500円 2003年創刊
 hikaenochou.world.coocan.jp/mysite/
 ◇48 2015.6 A5 88p 500円
 恥ずかしながらの記 湯山 厚
 松本城 華姫と月の女神 今川 徳子
 酒匂川だより「筍の出る頃」 町田紀美子
 続・ボクの映画館(2) ジョン・フ
 ォード監督と『駅馬車』 平倉 正
 桜町領における困窮民への対応 尾上 武
 和菓子舗盛衰譚 田中 豊
 落語バレー 本多 博
 六月の京都を行く 青木 良一
 荒野から荒野へ(1)
 英文学における宗教性 茂木 光春

◇49 2015.9 A5 100p 500円
 梅干の種の中に入りたい 小峯 慶三
 桜町仕法の旗本宇津氏への引き渡し
 し 尾上 武
 酒匂川だより「年輪の中に」 町田紀美子
 続・ボクの映画館(3)
 わが青春の「七人の侍」 平倉 正
 立花闇千代姫 今川 徳子
 真如の概念 佐橋 法龍
 明治20年代 早川と片浦はいっしょだった(1)「組合歳入予算」
 から 瀬戸 長治
 團菊祭と十代目坂東三津五郎 田中 豊
 運動神経 本多 博
 「木村民俗」管見(3) 青木 良一
 荒野から荒野へ(2) 英文学における宗教性 トーマス・カーラ
 イル 茂木 光春

◆藤沢市史研究

(続)藤沢市史編さん委員会
 〒251-0054藤沢市朝日町12-6 藤沢市文
 書館 TEL0466-24-0171 1970年創刊
 ◇48 2015.3 A5 101p
 《藤沢市文書館開館40周年記念特集》
 〈2014年度藤沢市史講座 藤沢の歴史を編む—地域の歴史資料と文書館〉
 文書館開館40周年記念講演録
 文書館資料が語る藤沢の近世宗
 教史 圭室 文雄
 パネルディスカッション パネル
 ディスカッション開催の趣旨に
 ついて 小風 秀雅
 藤沢の歴史を編む—文書館の歩み
 と共に(過去・現在・未来)
 〈2013年度藤沢市史講座 ビジュアル資料で
 読む藤沢の姿—藤沢と周辺を繋いださまざ
 まな「道」〉

藤沢市史講座 信者の歩いた「道」
 —中世藤沢地域の信仰と江の島
 ・片瀬 伊藤 一美
 物見遊山の時代
 —絵画にみる藤沢宿と江の島 斉藤 司
 湘南海岸の変遷 大矢悠三子
 一遍における神祇信仰と廃仏毀釈 高野 修

◆民具マンスリー

神奈川大学日本常民文化研究所
 〒221-0802横浜市神奈川区六角橋3-27-1
 TEL045-481-5661 年3500円 1968年創刊
 ◇568 (48-4) 2015.7 A5 24p 350円
 南部煎餅の戦後史
 —煎餅型鍛冶資料を中心に 小林 力
 民具短信 俳画 農耕図屏風に見
 る安曇野の米作り 宮本 尚子
 施設紹介
 「海苔のまち大森」を未来へ
 —大森 海苔のふるさと館 三好 周平
 砺波郷土資料館分室
 砺波民具展示室オープン アンカ川恵子
 ◇569 (48-5) 2015.8 A5 24p 350円
 中世における漆精製工程の復原
 —古文書からみた精製道具とその
 の使用方法 渡邊 太祐
 民具短信
 漆掻き道具か松脂採取の道具か
 中村 弥生
 実践民俗学—民俗文化復活の現
 在的意味 杉山 是清
 書籍紹介 『魅せる!超フォーク
 ロア—近藤雅樹ワールドの探
 検』近藤雅樹追悼企画実行委員
 会企画・発行 佐野 賢治
 民具サロン 48巻3号 桂真幸氏
 の振馬嶽への回答

『民具マンスリー』編集部

◇570 (48-6) 2015.9 A5 24p 350円
 福井県の箕一産地と製造 坂本 育男
 明治の農具絵図(10)—農具絵図を
 めぐって 長野・熊本県の取組 桂 真幸
 民具短信 現代籠作り技術の起源
 —民俗考古学からの探究(1) 名久井文明

◆悠 久

鶴岡八幡宮悠久事務局(発売:おうふう)
 〒248-0005鎌倉市雪の下2-1-31
 TEL0467-22-0315 1980年第二次創刊
 ◇141 2015.8 A5 122p 680円
 《特集 神殿の発生》
 口絵 春の獅子 写真・芳賀ライブラリー
 匂と薫 尾崎左永子
 「神社」の成立をめぐる研究視座
 と論点—いわゆる「古代神殿
 論」の評価を中心として 錦田 剛志
 神殿の成立と神観・祭祀 笹生 衛
 祭祀と神殿の間 櫻井 敏雄
 官社制前の神支配
 —神殿論との関わりで 丸山 茂
 神殿の発生—建築史の立場から 三浦 正幸
 若宮祭御旅所行宮考 岡本 彰夫
 口絵解説 春の獅子
 八幡宮紹介 宝八幡宮(大分県杵
 珠郡九重町大字松木)
 新刊紹介 『「鎮守の森」が世界を
 救う』『皇室』編集部編/『伊
 勢参宮日記を読む 北部九州
 編』甲斐素純著

中 部

◆越佐研究 新潟県人文研究会

〒950-0026新潟市東区小金町1-16-38
 誠道書店内 年2000円 1952年創刊

◇71 2015.6 A5 67p
星野恒の交遊関係に関する実証的研究
小林 勇介
市島春城の図書館観と選書認識 新藤 透
谷村伊八郎と赤沼孝四郎(3) 田宮 覚
水原時代の星野恒に関する一考察
小林 勇介

◆頸城文化 上越郷土研究会
〒942-0081新潟県上越市五智6-1-11 花ヶ
前盛明方 TEL025-543-4354 1952年創刊
◇63 2015.9 A5 253p
北信濃「栗林式土器」の上越地区
への流入—学史・栗林式土器の
調査史前期 関 雅之
翡翠と鉄(2)・健御名方神 湾渕 好輝
ヒスイ文化衰退の背景(1)『古語
拾遺』にみる玉祭祀の衰退 土田 孝雄
三善康信の政治的働き 三島 義教
なぜ親鸞の善光寺参詣が『親鸞伝
絵』に書かれなかったか 太田 空賢
親鸞聖人の墓 星野 欣也
地名考—老ノ馬場(迫ノ馬場)につ
いて 岡田 清
上杉景勝 土井 重男
上杉景勝の筆跡に関する一考察 諸井 幸枝
直江兼続と越後時代 花ヶ前盛明
高田城下町ある記(2)

新潟日報カルチャースクール上越教室
高田城大手橋跡 加藤 浩二
三の丸跡 武田 一郎
対面所跡 山田 宏
百間堀跡 大澤 行雄
町奉行所跡 武田 一郎
稲田口番所跡・高田銭座跡 大澤 行雄
一里塚 山田 宏
小栗美作住居跡 大澤 行雄
時の鐘 加藤 浩二

町会所跡 山田 宏
札の辻 武田 一郎
田端町 武田 一郎
小町問屋街跡 加藤 浩二
道 標 武田 一郎
天明地藏 加藤 浩二
会津墓地 大澤 行雄
高田事件記念碑 山田 宏
松平光長高田藩の地方行政を考え
る 本山 幸一
続・高田城の瓦「黒田・掘向瓦
窯跡」と「灰塚・宮の脇瓦窯跡
(仮称)」等 吉川 繁
近世二俣村の成立と村民の暮らし
青山 始義
石仏の世界とその歴史(2) 石田 哲彌
明治二十、三十年代の農村の様子
—津有村大字上野田の事例から
清沢 聰
濱谷浩・朝夫妻と渋柿浜・青木俊
秀氏 青山 増雄
倭人伝の検証(1) 湾渕 好輝
倭人伝の三十国

◆高志路 新潟県民俗学会
〒950-2022新潟市西区小針6-29-1
鶴巻武則方 TEL025-231-6100 1935年創刊
www.bsnnet.co.jp/jiku/minzoku/
◇397 2015.8 A5 58p
錦鯉産業の歴史、民俗、現状 広井 忠男
節分の鬼 金田 文男
『後越碑銘集』板行考 鶴巻 武則
小報告集Ⅵ 佐藤 和彦
「モノ(モン)」を語尾とする野兎
の異名—野兎の異名・特殊名(7)
天野 武
古志の寒精進—寒念仏信仰につい
ての考察(3) 岩野 笙子

◆良寛だより 全国良寛会会報
〒951-8112新潟市中央区南浜通2 北方文
化博物館新潟分館内 TEL025-222-2262
1978年創刊
◇149 2015.7 A4 20p
良寛遺墨解説(107) 良寛筆 五
言詩 阿部家蔵(国指定重要文
化財) 加藤 儋一
新 良寛尊像つれづれ(11) 良寛
・貞心尼 対面の像(粘土造形)
似顔絵師・月岡哲郎作 大矢 良廣
折々の良寛(38) 利行について 長谷川義明
第38回 全国良寛会新潟大会
古きを訪ね新しきを知る
文責・宮迫勇／写真・坂本昌史
平成26年度 会務報告／平成26年
度 全国良寛会決算報告書／平
成27年度 全国良寛会会計予算
書
全国良寛会新潟大会
開催のお礼とお願い 柳本 雄司
春の役員会報告 加藤 儋一
「はちすの露」を深く読む 二、
良寛と貞心尼 初めての対面 小島 正芳
良寛のプラス思考が、がんを治す
—遺伝子をも動かすプラス思考
中嶋 靖児
今も遺る良寛在世時の建物「原田
家住宅と茶室」の維持管理を 藤田 正夫
良寛 雨のうた 素描 吉田 福恵
良寛に学ぶ—環境問題の観点から
井上 一郎
良寛の「温良厳正」—第一章 幼少
期の人間形成の基盤 中川 幸次
高野山開創1200年
高野山に良寛を訪ねて 吉井 清一
越後語り座が高野山で公演 高原美智子
新刊紹介 柳本 雄司

会報・会誌のご紹介 吉井 清一

◆とやま民俗 富山民俗の会
〒930-0881富山市安養坊56甲-1 富山市民
俗資料館内 年3000円 1974年創刊
◇84 2015.9 A5 30p
田村六馬系獅子頭と八尾地方 佐伯 安一
玩具としての富山獅子頭 森 俊
新湊の頼母子講と「たのもし」 島田 章代
山の運搬用具、メッカイ—小矢
部川上流、刀利谷を中心として
加藤 享子
民俗の窓 会務報告・文献紹介・
受贈図書
奥野達夫さんを悼む 佐伯 安一

◆北陸石仏の会会報
〒939-1315富山県砺波市太田1770
尾田武雄方 TEL0763-32-2772
年3000円 1993年創刊
◇47 2015.7 A4 8p
大岩不動三尊の模刻像と熊野権現
平井 一雄
富山県内の参道狛犬について 尾田 武雄
鯖江市の二十五菩薩石仏 滝本やすし
第49回例会報告
—石仏めぐりに初参加して 高田美也子
北陸石仏の会
平成27年度総会報告 事務局
◇48 2015.9 A4 8p
東猪谷「三寶荒神」の石仏と日本
石仏協会 平井 一雄
朝日町境西墓地の石仏 川端 典子
白山天真院の石仏 滝本やすし
白峰の白山下山仏 池田 紀子
上滝不動尊 文山純子／翻刻・平井一雄

◆若越郷土研究 福井県郷土誌懇談会

〒918-8113福井市下馬町51-11
福井県立図書館内 TEL0776-33-8860
年3500円 1956年創刊

◇300 (60-1) 2015.8 B5 103p

特集 追悼・三上一夫

三上一夫先生 略歴・業績目録 長野 栄俊

三上一夫先生の幕末維新史研究

について 本川 幹男

三上一夫先生遺稿

(一) 榎本武揚の「蝦夷地共

和国」論

(二) 二・二六事件にかかわ

る危機的情勢についての一

考察

(三) 満州事変の歴史的 성격

についての一考察

「越州鯖江嚮陽溪真景」考 竹内 信夫

戦国末期の郡上の検討—武田氏、

越前一揆・本願寺政権との関わ

りを中心として 竹間 芳明

越前式石廟の形式と地方進出につ

いて 三井 紀生

方山真光寺跡塔址出土の風鐸につ

いて 古川 登

◆飯田市歴史研 ニュース 飯田市歴史研究所

〒395-0002長野県飯田市上郷飯沼3145

TEL0265-53-4670

www.city.iida.lg.jp/soshiki/39/

◇76 2015.6 A4 4p

第13回飯田市地域史研究集会 飯

田・伊那谷の歴史的景観／史料

展示コーナー〈江戸時代の飯田

・下伊那〉飯田藩士 福沢家文

書の世界／地域史講座 元結を

めぐる争論と社会／飯田アカデ

ミア第74講座 魅力ある風景を

未来へ—文化的景観の見方、守

り方、使い方

飯田市歴史研究所 2015年度研究

計画

人、史料に出会った歴研での日々

本島 和人

定例研究会／歴史研究所出前講座

「赤門スクール」第1回／新スタ

ッフ紹介 齊藤俊江調査研究員

◇77 2015.8 A4 4p

第13回飯田市地域史研究集会

飯田・下伊那の歴史的景観

新刊案内 飯田市歴史研究所年報

13 飯田市歴史研究所編

中学生職業体験学習／報告 飯田

アカデミア2015 第74講座を開

催しました

飯田アカデミア第75講座 地域の

なかの「戦争責任」問題／定例

研究会／地域史講座 川路村と

戦争の時代

横浜都市発展記念館特別展「時計

屋さんの昭和日記」見学会 安岡 健一

◆伊 那 伊那史学会

〒395-0081長野県飯田市宮ノ上4048

TEL0265-22-6017 年5500円

◇1046 (63-7) 2015.7 A5 50p 550円

口絵 天龍川にはじめて架った天

龍橋(現南原橋) 山内 尚巳

三河民権家国事犯事件と発覚地の

飯田地方(5の2)—愛国正理社の

実像と名古屋・静岡の民権家三

者の提携 北原 明文

徳本上人と信州・飯田巡錫(下)

—附・阿智村内の徳本名号碑 下原 恒男

跋山の神考—川路の琴原神社 今村 理則

ルポ「飯田線の踏切」第2回

踏切前で桶屋職人腕ふるう 佐古 新一

茂春ところどころ(4) 桃澤 匡行

幕末の飯田の暮家 山田三蔵 中田 敬三

終戦前後に御嶽山登拝・登山した

下伊那人—山小屋宿帳から 神村 透

各市町村史学会の動き 下條史学

会の総会／上郷史学会の総会

◇1047 (63-8) 2015.8 A5 66p 700円

《終戦70周年記念特集》

口絵 残っていた戦争遺跡と復元

された戦争遺跡 原田 望

練兵休にて就寝中に終戦 三石 尊

学徒動員(昭和二十年)十八歳・最

後の召集兵 平田 正宏

あの日 前島 三春

私の昭和二十年八月十五日 白鳥 牧夫

ソ連軍が突如侵攻 死線を越えて

若杉 利秋

弥栄村 満州第一次開拓団の記憶

長沼 滉

八月十五日は食糧調達休暇で実家

にいた 加藤真那生

十五歳で入隊一六ヶ月の戦争体験

棚田 芳雄

十五歳の少年志願兵—入隊直前に

終戦—幸運にも五日違いで八十

五歳まで生きた男 小林 英夫

あの日 私は—阿智原に疎開して

原田 望

盆花迎えと隠し場さがし 今村 理則

丘に上った河童(海軍) 関谷 邦彦

学校が工員宿舎に 吉澤 健

豊川でうけた空襲

—傘寿を迎えて振り返る 木下 忠行

終戦を迎えた学校工場 北城 節雄

父の戦死と戦後七十年の思い 平岩 孝司

戦後七十年 敗戦のあとさきを考

える 今村 文一

あの日 あの頃 原 董

出生兵士の涙の挨拶 平澤 秀明

◇1048 (63-9) 2015.9 A5 50p 550円

口絵 小川路峠の馬追い 寺田 一雄

〈伊那谷研究団体協議会 第17回シンポジウ

ム 伊那谷の風土の多様性—天竜川流域の

災害と消えていく鳥や樹木〉

最近の天竜川上流における治水砂

防の取り組み 中谷 洋明

災害地名より遠山地震に関係する

地名について 針間 道夫

伊那谷から消えた鳥たち 原田 望

伊那谷から消えた樹木ち 牧内 誠

ルポ「飯田線の踏切」第3回

踏切で児童の安全守る五人衆 佐古 新一

下伊那日録(2009年10月~2010年

3月) 寺田 一雄

伊研協だより

満蒙開拓研究所が新たに加入 (寺田)

各市町村史学会の動き 喬木村史

学会の総会／上郷古文書クラブ

の様子

◆伊那路 上伊那郷土研究会

〒396-0027長野県伊那市ますみヶ丘798-7

TEL0265-78-1269 年5000円

◇702 (59-7) 2015.7 A5 40p 500円

伝承の「馬鹿殿」とは誰か—高遠

藩における鳥居氏の苛政 牧田 豊

フランス、ドイツ海外講演 俳人

井月—放浪の系譜に見る 北村 皆雄

特別講演 バリ日本文化会館での

映画『ほかいびと』上映に寄せ

て 井上井月における「挨拶」

と「諷詠」 堀切 克洋

ひとつの小さな土器をめぐる

辰野町平出山の神遺跡と周辺

(覚書) 赤羽 義洋
 中山道よもやま話 歴史エッセイ
 編(5) 木曾路の石仏 宮下 明子
 日本の子育て(19) 鐘の鳴る丘 大槻 武治
 南箕輪に残る富士塚 松澤英太郎
 文化短信 『終戦から七十年 平和への誓い—中川村に残る兵事資料—』 松村 正明
 短歌 破袋大黒柱鬼の首(9) 野溝 直人
 高山の植物(32) タカネバラ 南
 アルプスで見かけた植物(19) 田中 茂
 ◇703 (59-8) 2015.8 A5 40p 500円
 《戦後70年特集(1)》
 戦後の南向村
 —戦時色一掃と進駐軍 伊藤 修
 中川西小学校に残る「学校日誌の
 集団疎開記録」と「天狗久人形」
 によせて 大場 茂明
 地区唯一の被爆者「救援被爆」聞
 き取り記 北原 昌弘
 終戦前後の飯田線の女性職員
 —戦争で翻弄された飯田線 小林 哲
 撫 順 小松 巖
 短歌 破袋大黒柱鬼の首(10) 野溝 直人
 古文書の窓(123)
 行き倒れ死人に付きお届け 下平すみ子
 日本の子育て(20) 十人十色 大槻 武治
 高山の植物(33) チョウジコメツ
 ツジ 南アルプスで見かけた植
 物(20) 田中 茂
 ◇704 (59-9) 2015.9 A5 40p 500円
 《戦後70年特集(2)》
 上伊那の満蒙開拓青少年義勇軍は
 どのように送り出されたか? 矢澤 静二
 満州引き揚げの記憶 清水 満
 戦争と私 松井 君子
 幼児と大東亜戦争 畑 義治
 伊那市内の招魂碑と忠魂碑につい

て 飯塚 政美
 文化短信 みんなの森の歩く道
 (大芝公園森林セラピーロード)
 山本 勝
 高山の植物(34) オヤマノエンド
 ウ 南アルプスで見かけた植物
 (21) 田中 茂
 ◆伊那民俗
 柳田国男記念伊那民俗学研究所
 〒395-0034長野県飯田市追手町2-655
 飯田市美術博物館内 TEL0265-22-8118
 年3000円 1990年創刊
 inaminkenhomes/blogspot.jp
 ◇102 2015.9 B5 8p
 表紙 御射山祭りの穂屋／高森町
 下市田・萩山神社の御射山祭り
 櫻井 弘人
 戦前の飯田町の賑わい—馬場千里
 さんの子供時代 その2 片桐みどり
 2部合同フィールドワーク 『信
 州随筆』と菅江真澄の縁地をた
 どる 折山 邦彦
 資料紹介 柳田家と津具山崎家の
 交流—山崎家からの寄贈書簡 櫻井 弘人
 紹介 『ことばにつながる故郷
 上久堅』編集・発行 上久堅公
 民館・上久堅を学ぶ会 今井 啓
 ◆信 濃 信濃史学会
 〒390-0805長野県松本市清水1-9-607
 TEL0263-36-1785 年8400円
 www.shinano-shigakukai.jp
 ◇786 (67-7) 2015.7 A5 80p 1000円
 品川弥二郎と御料地—長野県下の
 御料林をめぐる諸問題を中心に
 池田さなえ
 無年季的質地請戻し慣行と直上納

制(下)—信州上田房山村丸山家
 を事例に 菅原 一
 中央官人と地方政治—上毛野朝臣
 馬長の上野守任官の前後 関口 功一
 地方寺院の建立起因 桐原 健
 書誌紹介 牛伏寺誌刊行会編『牛
 伏寺誌』全二巻 後藤 芳孝
 報告 信濃史学会第99回セミナー
 —近世史料と文書調査 小野 和英
 ◇787 (67-8) 2015.8 A5 80p 1000円
 別荘地・軽井沢の発展過程の研究
 (1)—各高原別荘地の比較を通
 して見るその特殊と普遍 江川 良武
 「筆結物語」にみえる小笠原氏—
 お伽草子に描かれた武家故実の
 パロディー 浜野 安則
 記紀神話が存在した時代
 —「神話から歴史へ」なのか 柳沢 賢次
 報告 大町市上仲町出土古銭につ
 いて 岑村 隆
 総会報告 信濃史学会2015(平成
 27)年度 定期総会 事業委員会
 ◇788 (67-9) 2015.9 A5 82p 1000円
 真田氏時代における織豊系城郭上
 田城の再検討 倉澤 正幸
 戦国期上信国境地域の峠道の考察
 恩田 登
 別荘地・軽井沢の発展過程の研究
 その二—外国人が主導した背景
 江川 良武
 上田教会の設立前後—真木重遠と
 改革派教会宣教師の働き 小林 敏志
 ◆千 曲 ふるさとに学ぶ 東信史学会
 〒386-0024長野県上田市大手2-7-13
 上小教育会館内 TEL0268-24-2182
 年3000円 1974年創刊
 ◇158 2015.6 A5 59p

鳥羽山洞窟出土の柿経について 尾見 智志
 上田領の木綿尺幅改について 丸田ハツ子
 八木原新田の「家財取調帳」から
 見る家具・農具類 矢島 節子
 羽黒山の競馬 出浦 晃彦
 連載講座
 古文書解説講座 第149回 牧 忠男
 「郷土史随想」の欄、新設について
 平成27年度 東信史学会総会報告
 地区だより
 南佐久地区 出浦 晃彦
 更埴支部 牧 忠男
 写真と解説(依水館) 阿部 勇
 ◆長 野 長野郷土史研究会
 〒380-0905長野市七瀬南部14-7
 TEL026-224-2673 年4000円 1964年創刊
 www.janis.or.jp/users/kyodoshi/
 ◇301 2015.8 A5 64p 800円
 表紙・口絵 権堂の活性化を願っ
 て建てられた往生院の回向柱／
 表紙解説 小林竜太郎
 平成27年度善光寺御開帳
 郷土史の視点からの総括 小林 一郎
 長野郷土史研究会の活動報告 小林 玲子
 まちの賑わいの様子 小林竜太郎
 善光寺巡礼と絵解き 小瀬 佳彦
 瀬下敬忠の未刊稿本(1) 薙髮集 矢羽 勝幸
 北村喜代松の新たな神楽屋台と作
 風の特徴—鬼無里、小川村久木
 草間 律
 「伊勢参拝日記」にみる江戸時代
 の旅 松橋 好文
 「奈良ヨリ名所道中日鑑」解説(1)
 中村仙之助
 郷土史の視界(8)
 文学に描かれた戦時下の長野 小林 一郎
 長野と全国各地の繋がり(8) 絵

解きの未来を考える指針となっ
た善光寺御開帳 小林 玲子
生きた町の歴史を知ろう(8) 日
本最古の映画館が残る信越地域
一長野と高田 小林竜太郎

◆長野県民俗の会通信

〒399-3301長野県下伊那郡松川町上片桐
2626-24 三石稔方 TEL0265-37-3017
年5000円 www.k2.dion.ne.jp/~folklore/

◇248 2015.7 B5 8p

小海町親沢の人形三番叟見学記

一第194回例会報告 小池 淳一
親沢雑感 金子 万平
民家建築と本棟造り(下) 多田井幸視
書 評

倉石忠彦著『民俗地図方法論』安室 知
◇249 2015.9 B5 8p

民俗学の現状への一言一研究姿勢、
研究対象をめぐって 松崎 憲三
大岡地区見学会報告 細井雄次郎
田ごしらえと農具(1) 三石 稔
「道祖神盗み」を考える 福澤 昭司

◆岐阜市歴史博物館だより

〒500-8003岐阜市大宮町2-18-1 岐阜公園
内 TEL058-265-0010 1985年創刊

◇90 2015.8 A4 8p

表紙 国指定重要文化財 木造韋
駄天立像(岐阜市 乙津寺〔鏡
島攻防〕蔵) 鎌倉時代
企画展「戦争と岐阜―戦後70年」
特別展「日本遺産認定記念 先人
からのギフト」

加藤栄三・東一記念美術館「加藤
栄三・東一 絵画に描かれた鶴
飼」
博物館ニュース 岐阜の院展作家

／分館 加藤栄三・東一記念美
術館の展示、特集展示(2階総
合展示室内)、分室 柳津歴史
民俗資料室の展示
研究ノート『関ヶ原合戦絵図―
関ヶ原御陣之図』をめぐって 土山 公仁
館蔵資料紹介 蒼髯公九錫文 各
務支考 享保13年(1728) 掛軸
幅184.8cm 高21.0cm(本紙)

◆郷土研究岐阜 岐阜県郷土資料研究協議会

〒500-8368岐阜市宇佐4-2-1
岐阜県図書館内 TEL058-275-5111
年2800円 1973年創刊
www.library.pref.gifu.lg.jp/dantai/kyosilen/k_index.htm

◇124 2015.9 B5 28p

護命僧正と山田寺 西村 勝広
瑞龍寺の中世(1) 横山 住雄
美濃国小島頓宮跡 大久保甚一
郷土地名由来に関する新説 土屋 一
表佐の「飯沼家」 松原 義範
書窓の風
西濃 霞間ヶ溪(桜)総覧 横幕 孜
美濃 郡上市郷土研究団体協議
会結成 馬淵 旻修
飛騨 熊崎家邸宅の保存と活用 茂住 修史

郷土関係新刊書目録(109)

郷土関係逐次刊行物文獻目録(108)

◆月刊通信ふるさとの民俗を語る会

民俗文化研究所
〒438-0086静岡県磐田市見付3532
TEL0538-32-3546 2007年創刊 年2000円
www4.tokai.or.jp/child-c.jp/

◇97 2015.6 A4 4p 300円

端午の節供、粽と龍と鯉 吉川 祐子

◇98 2015.7 A4 4p 300円

祇園祭の後祭―京都市 吉川 祐子
語る会例会のお知らせ「もっと知
ろう鳥田大祭! お旅所建てと
御神輿渡御行列の巻」
◇99 2015.8 A4 4p 300円
原形は津島の神霞流か?

平谷の流しダイ 吉川 祐子
◇100 2015.9 A4 4p 300円
もっと知ろう鳥田大祭!
お旅所建ての巻 吉川 祐子
◇101 2015.10 A4 4p 300円
もっと知ろう鳥田大祭!
御神輿渡御行列の巻 吉川 祐子

◆静岡県近代史研究会会報

〒422-8529静岡市駿河区大谷836
静岡大学人文社会科学部 橋本誠一研究室
年4000円

◇442 2015.7 B5 4p 100円

7月例会レジュメ 書評:静岡県
近代史研究会編『時代と格闘す
る人々』 荒川 章二

7月例会コメント

『時代と格闘する人々』を読む
で 足立洋一郎
タイトルや装丁はこれでいいの
? 加藤 善夫

書籍紹介 佐野俊夫著 小論集

『じいじはおこっている』 鈴木 雅子
◇443 2015.8 B5 4p 100円

6月例会報告 掛川市資料見学の
旅に参加して 大塚佐枝美
私の近現代史研究の経過と史料整
理 枝村 三郎

7月定例幹事会の報告

◇444 2015.9 B5 4p 100円

9月例会レジュメ 虐殺を世界に
伝えたアナーキスト・ネットワ

ーク 田中ひかる
私の近現代史研究の経過と史料整
理 枝村 三郎
発表の自由を抑圧する研究会とは
? 加藤 善夫

◆静岡県民俗学会会報

〒424-0053静岡市清水区渋川1-9-6-101
web.thn.jp/s-folklore/

◇156 2015.7 A4 8p

平成27年度 総会・大会報告
第1回例会(第3回富士山見学会)
のお知らせ 富士の御山巡り―
東麓の富士参詣道
伊勢市東豊浜町土路の富士講 松田香代子
総会議事資料
報告 湊さん 念願の銭湯の経営
者に 大嶋 善孝

◆あつた 熱田神宮宮庁

〒456-8585名古屋市中熱田区神宮1-1-1
TEL052-671-4151 www.atsutajingu.or.jp

◇247 2015.7 A5 28p

熱田雑集三 太田 正弘
創祀千九百年記念造営事業の回顧
(4) 小久保雅広

◆いにしえの風 古代遊学会

〒456-0801名古屋市中緑区鳴海町山ノ神
125-5

◇11 2015.5 A4 148p

特別寄稿・三世紀前半の美濃の古
墳―夕田茶臼山古墳から美濃の
古墳時代の始まりを考える 島田 崇正
「箸墓」以後の政権構造を考える 東山 勝也
王朝の歌人・紀貫之 久野 愛子
足柄峠一峠に立つ防人の歌 矢澤 泰三
古代豪族「尾張氏」の尾張地域か

らの対外進出—『和名類聚抄』
 記載の尾張郷四郷の分析から 高木 巖
 旧暦の誤解を解く—朔旦冬至再考
 西部 賢一
 水系と馬と尾張氏 尾関 章
 古代神話の里「氷上」 川本 邦子
 神社と古代史—倭国の曙の時代 西山 勤
 支石墓を巡る—中国遼東半島—朝
 鮮半島—日本西北九州 水谷 康子
 準構造船から構造船へ—構造船へ
 の進化の時期をさぐる 松尾 秀藏
 鉄の古代史 加藤 甫
 ひめみこ(皇女)の行方 亀岡やすこ
 古代史方法論へのアプローチ
 —歴史をどう読むかを考える 石川 元廣
 既刊「いにしえの風」紹介

◆会報 三河地域史研究 三河地域史研究会
 〒442-0033愛知県豊川市豊川町仁保通83
 田中康弘方 TEL0533-86-8339 1981年創刊
 ◇66 2015.7 B5 4p
 明治時代前期における神社制度と
 地域の受容—豊川市在住神社を
 中心に 菅沼 真衣
 寛政・天明期、西遠・東三俳諧資
 料—田中麦甫「(自・他)久多羅」
 一二 田中 康弘
 近刊紹介 豊橋市美術博物館研究
 紀要 第18号、藩札 江戸時代
 の紙幣と生活 愛知大学総合郷
 土研究所ブックレット22

◆郷土文化 名古屋郷土文化会
 〒466-0064名古屋市昭和区鶴舞1-1-155
 名古屋市鶴舞中央図書館
 TEL052-741-9822 年3000円 1946年創刊
 ◇224 (70-1) 2015.8 A4 126p 1500円
 日本の乗用具の歴史と尾張 櫻井 芳昭

真実の桶狭間合戦 太田 輝夫
 丹羽五郎左衛門と犬山城 横山 住雄
 生駒平三郎を巡る尾張の伝承 松井 雅文
 上野村と今村の寺領
 —大森寺覚書(4) 小林 元
 「名古屋市守山区上志段味の歴史」
 補遺(4) 大野 哲夫
 狭間村全図の一考察 尾畑 太三
 沖縄の島守・島田叡—愛知県警察
 部長時代を中心に 澤柳倫太郎
 昭和天皇の稲沢操車場行幸 竹田 繁良
 名古屋能楽堂での「やっとかめ文
 化祭」—尾張・下小田井・泰亨
 車の場合 半田 実
 平成27年度理事会報告 事務局

◆産業遺産研究 中部産業遺産研究会
 〒458-0804名古屋市緑区亀が洞3-1740
 大橋公雄方 TEL052-876-0337 年4000円
 1994年創刊 csih.sakura.ne.jp
 ◇22 2015.7 A4 80p 1500円
 巻頭言 産業遺産から学ぶ「技術
 の伝承」の大切さ 杉本 漢三
 追悼 佐々木享元会長を偲ぶ
 佐々木元会長のご逝去を悼む 永田 宏
 お別れの言葉 大橋 公雄
 佐々木享先生を悼む 天野 武弘
 追悼 佐々木享先生 石田 正治
 佐々木享先生から教えていた
 いたこと 斎藤 修啓
 調査報告
 「轆豆石」の運搬軌道 白井昭／藤井建
 共進会—第十回関西府県連合共
 進会を中心に 永田 宏
 岐阜県東部の砂防堰堤について
 (2) 田口 憲一
 蒲郡市の鋸屋根工場の一次調査
 (3) 鋸屋根工場の業種別で

の特徴
 野口英一朗／岩井章真／小野雅信
 研究ノート
 自動車の無段変速機(CTV)の
 技術史について 杉本 漢三
 産業記念碑に関する一考察—矢
 作川流域の電力記念碑から 浅野 伸一
 産業遺産紹介 手回しガラ紡績機
 —新発見機と既存の2台 天野 武弘
 博物館紹介
 リニューアルした岡谷蚕糸博物
 館—五感で体験、生まれ変わ
 った博物館 大橋 公雄
 木曾川文庫：木曾三川に関する
 資料館 馬場 慎一
 名古屋市上下水道局「水の歴史
 資料館」 島田 晴人
 インタビュー「私の歩んだ道」
 田口憲一さん：東濃での教員生
 活と産業遺産調査と石器採集と
 海外情報
 故人の思い出 TICCIH 前事務
 局長 スチュワート・スミス
 氏 石田 正治
 ヨーロッパの鉄道を歩く(6) 土橋 文明
 資料紹介 旧岩村電車の新出資料
 —小沢発電所の絵葉書 永田宏／藤井建
 書籍紹介
 伊藤正博・沢井鈴一『堀川 歴
 史と文化の探索』 永田 宏
 井上さつき『日本のヴァイオリ
 ン王 鈴木政吉の生涯と幻の
 名器』 永田 宏
 石田正治『現場で役立つ旋盤加
 工の基本と実技』 児島 高德
 岡野允俊編集『ぼくらの時代
 第六巻 創作記録編』 杉本 漢三
 コラム

アッタ号 名古屋市中京デトロ
 イト計画
 尾張藩時代の中下水道遺構
 改進社「ダット号」
 戦前名古屋の国際飛行場
 活動報告
 2014年度パネル展と講演会「近
 代名古屋の発展と海外との関
 わり」 浅野 伸一
 2014年度の中中部産業遺産研究会
 活動報告、平成25年度同活動
 計画 大橋 公雄

◆銃砲史研究
 日本銃砲史学会 連絡先
 〒114-0014東京都北区田端3-1-12
 コスモブレイス田畑403
 年10000円 1968年創刊
 ◇382 2015.6 A4 64p
 常識を覆す玉の存在
 —戦国合戦の理解の一助 宇田川武久
 ラオス北部における鍛冶技術と前
 装式銃 神野 信
 例会報告
 鉄の起源そして和鉄、洋鉄 野崎 努
 ミニエ方式小銃の20年間とその
 性能 須川 薫雄
 「てつはう」研究会中間報告 畑中 修二
 資料紹介 江戸鉄砲小道具の世界
 計量具 小西 雅徳
 ◇別冊 2015.6 A4 100p
 《平成26年度例会資料集》
 例会資料集発行にあたって
 〈第1回例会〉
 『火薬類通覧』から見た銃砲用火
 薬について 栗原 洋一
 江戸時代の精密技術
 —国友一貫齋の技術的背景 梶原 利夫

資料紹介相馬焼火薬甕について 小西 雅徳
 火縄銃時代の執銃マナーと打放し
 礼式 青木 孝
 寛政9年(1797)対馬沖の光と音 松尾 晋一
 〈第2回例会〉
 小田原城の調査と整備 諏訪問 順
 「軍用と狩猟が混在する玉の世界」
 ー鉄炮戦(いくさ)理解のために
 宇田川武久
 〈第3回例会〉
 長篠・設楽原での鉄炮使用と出土
 玉 小林 芳春
 大久保台場跡からの出土の大砲片
 の自然科学的分析 平井 昭司
 『火薬類通覧』から見た銃砲用火
 薬について(続) 栗原 洋一
 「てつはう」研究会中間報告 畑中 修二
 〈第4回例会〉
 ミニエ方式小銃の20年間とその性
 能 須川 薫雄
 ラオス北部における鍛冶技術と前
 装式銃 神野 信
 鉄の起源そして和鉄、洋鉄 野崎 努
 港区旗本花房家屋敷跡遺跡から出
 土した黒色火薬様の物質につい
 て 合田恵美子

◆文化誌 碧 碧の会
 〒446-0013愛知県安城市東別所町戌新畑1-
 53 河村方 TEL0566-76-0204 2001年復刊
 ◇33 2015.8 B5 30p 500円
 石版画 桃源郷 松谷 慶子
 詩作品
 麦子の春 原田 靖久
 新しい挨拶の仕方 砂村 洋
 民俗・食文化・エッセー
 鍋取り(なべとり)について 粕渕 宏昭
 「どぶろく祭」を巡る 滋賀県栗

東市上砥山「野神社例祭」 河村 和男
 人が年をとるということ 八重田和久
 川縁雑記(2) 米川 五郎
 特集 「グループ交流」I 同窓会
 「七輝会」のグループ交流 米川 五郎

◆まつり通信 まつり同好会
 〒496-8049愛知県愛西市塩田町砂山25
 TEL0567-37-0441 年5000円
 ◇578 (55-4) 2015.7 B5 8p 600円
 新刊紹介 松山踊り保存調査報告
 書 高梁市松山踊り保存調査委
 員会編
 東京・大丹波の獅子舞 石川 博司
 今宮の十日戎(4)ー本地仏と乱声
 ・宝恵駕籠行列を中心に 大森 恵子
 第45回 東海民俗研究発表大会報
 告 研究発表1 尾州鷹羽講の
 遷座祭と祭礼組織ーまつりを継
 承するしくみと工夫(小林奈央
 子)／研究発表2 挙母祭の祭礼
 組織(天野卓哉)／研究発表3
 菟足神社の風まつり(森長千臣)
 ／研究発表4 北洞南一写真群
 から読み解く鵜飼と用具(上井
 有理)／研究発表5 タイシャク
 (田一尺)の無縁仏ー鳥羽市小
 浜・廻船衆の墓石をめぐる(野
 村史隆)／公開講演 宗教民俗
 研究の課題ー成田山門前町を事
 例として(鈴木正崇)
 表紙写真のことは 浜降祭 神奈
 川県茅ヶ崎市 7月20日(海の日)
 渡辺 良正

博物館情報 北海道博物館 開館
 記念特別展 夷酋列像ー蝦夷地
 イメージをめぐる人・物・世界
 ／名古屋市博物館 魔女の秘密

展
 ◇579 (55-5) 2015.9 B5 8p 600円
 新刊紹介 種子島南種子の座敷舞
 (南種子町民俗調査報告書4)
 南種子町教育委員会編集
 第45回東海民俗研究発表大会公開
 講演要約 宗教民俗研究の課題
 ー成田山門前町を事例として 鈴木 正崇
 東京・野上の獅子舞 石川 博司
 第64回全国民俗芸能大会案内 出
 演芸能と申込案内／平成27年度
 第57回 ブロック別民俗芸能
 大会 出演芸能等紹介
 表紙写真のことは 藤崎八幡宮例
 大祭 熊本市 9月13～20日 渡辺 良正
 平成27年度 民俗芸能学会大会
 (概要)／民俗芸能情報 第26回
 全国地芝居サミット

近 畿

◆湖国と文化 (勸滋賀県文化振興事業団
 〒520-0044大津市京町4-3-28 滋賀県厚生
 会館 TEL077-522-8369 年2520円
 1977年創刊 www.shiga-bunshin.or.jp
 ◇152 (39-3) 2015.7 B5 92p 584円
 《特集 水辺の景観》
 地域や人々の心と手によって大切
 に守る今に生きている文化財
 「重要文化的景観」 木戸 雅寿
 第1景 近江八幡
 ヨシ産業の要地として守られた
 「近江八幡の水郷」 奈良 俊哉
 湖上の飛び地で「昔のままの自
 然」が残る権座 大西 實
 オイルフェンスを設置し、ゴミ
 を回収 西野 平
 第2景 東草野
 琵琶湖水源を育る「東草野の山

村景観」 梅本 匠
 4地区で懇話会を結成して交流
 イベント 法雲 俊邑
 第3景 菅浦
 中世惣村を彷彿とさせる「菅浦
 の湖岸集落」 太田 浩司
 語り部として地域の文化を伝え
 る 菅浦「惣村」の会
 第4景、第5景、第6景 高島 重
 要文化的景観の宝庫 高島市の
 「水辺景観」 山本 晃子
 第4景 海津・西浜・知内 まち
 歩き・湖上遊覧と美味しい食事
 本田 明
 第5景 針江・霜降 理屈にかな
 った究極のエコシステム 前田 典子
 第6景 数々の歴史の舞台になっ
 た景勝地 仁賀 定夫
 水辺の景観をめぐる さまざま
 な姿を見せる水と人・暮らし 植田 耕司
 四季をめぐる健康食 夏編 野菜
 をしっかり食べて健康寿命を延
 ばそう
 天下人「信長」の実像(7)
 本能寺の変の真実 高木 敏子
 大津百町 菱屋町・丸屋町商店街
 から広がる町おこしの輪 町田 雅子
 市民の力の集結で大津を再生させ
 たい 中嶋 左近
 鳥の目巡遊(4) 2種類のハス
 2000年前の花／慈覚大師ゆかり
 の花 延木由起子
 おもしろ近江考古学(4) 絵画土
 器(長浜市鴨田遺跡、野洲市下々
 塚遺跡、大津市上仰木遺跡) 松浦 俊和
 談話室(17)
 琵琶湖と三上山でお遊び 八田 正文
 滋賀文化事情

Chapter1 日暮里館	古川与志継
Chapter2 旧今津郵便局	大石 義一
近江の水をめぐる(11)	
帯の水、群の水	石川 亮
現代滋賀ブランド(16)	
滋賀県庁舎本館の魅力	池野 保
北から南から	
笑いと風刺の芝居で注意を呼び	
かけ	奥野寿美子
殉教した聖パウロ三木はセミナ	
リヨ第一期生	赤尾 和美
古道を見守ってきた深坂地蔵	清水 貴子
緑と風の中で茶の湯を楽しむ	長井 泰彦
一日隊員で彦根から垂井まで歩	
く	眞壁 四郎
均賀のヨシを求めて今年も恒例	
のヨシ焼き	編集 室
おうみ(近江)おうみ(多見)歩く(17)	
マキノから海津、大浦、菅浦ま	
で	加藤 賢治
ニュースの小箱	
現代の朝鮮通信使 友情ウォーク	
で両国の交流と平和を訴え	植田 耕司
シリーズふるさと遊彩(6) 沖島 田中陽一郎	
歴史文書は語る 県政史料室から	
(16) 滋賀県庁舎	杉原 悠三
三角点の山と私(5) 歴史の山	
修験道の霊場 飯道山	林 千恵子
戦国時代の古城 水茎岡山	森野 明子
◆彦根城博物館だより	
〒522-0061滋賀県彦根市金亀町1-1	
TEL0749-22-6100 1988年創刊	
www.hikone-castle-museum.jp	
◇110 2015.9 A4 4p	
特別展 直弼のころ 一期一会	
の世界 大名茶人 井伊直弼の	
すべて／展覧会情報	

展示案内 9月～12月 特別展	
直弼のころ 一期一会の世界	
大名茶人 井伊直弼のすべて／	
テーマ展 直弼のころ 学び	
の人 井伊直弼／テーマ展 直	
弼のころ 井伊直弼の甲冑と	
刀剣／能・狂言 井伊直弼公生	
誕200年祭関連事業 第49回彦	
根城能、井伊直弼公生誕200年	
祭関連事業 錦秋狂言の集い	
研究余録 金亀玉鶴	
遠城謙道の実像を考える	高木 文恵
◆民俗文化 滋賀民俗学会	
〒520-1121滋賀県高島市勝野1681-5	
TEL0740-36-1414 年4800円 1963年創刊	
sigaminzoku.fc2web.com	
◇622 2015.7 B5 12p 400円	
「石造美術」(熟語)の案出者につ	
いて	関 啓司
近江中世石造美術石材ノート	
花崗岩製石造美術(3)	兼康 保明
明智光秀伝説の中世城郭発見	
一犬上郡多賀町佐目	長谷川博美
大沼の「逆さケヤキ」と創作話	
一神奈川県相模原市	大喜多紀明
人の世の流れとは	田中 春二
金魚鉢について	粕渕 宏昭
琵琶湖 沖の島の民俗(2)	
一近江八幡市沖島町	菅沼晃次郎
かがり手まりと手まり唄(1)	
一南丹市美山町	西浦 左門
◇623 2015.8 B5 12p 400円	
近江中世石造美術石材ノート 花	
崗岩製石造美術(3)一旧甲賀郡	
甲西町	兼康 保明
明智光秀幻想(前)	
一夜と藤の左目	長谷川博美

琵琶湖 沖の島の民俗(3)	
一近江八幡市沖島町	菅沼晃次郎
圧力釜について	粕渕 宏昭
臨死体験について	粕渕 宏昭
かがり手まりと手まり唄(2)	
一南丹市美山町	西浦 左門
春慶塗の小物入れについて	粕渕 宏昭
◇624 2015.9 B5 12p 400円	
長谷川銀蔵と野球と若鮎	長谷川博美
琵琶湖 沖の島の民俗(4)	
一近江八幡市沖島町	菅沼晃次郎
明智光秀幻想(後)一夜と藤の左目	
	長谷川博美
アルコールランプについて	粕渕 宏昭
「毛抜き」について	粕渕 宏昭
狩猟用具 アニマルキャッチャー	
について	粕渕 宏昭
ベンチレーターについて	粕渕 宏昭
かがり手まりと手まり唄(3)	
一南丹市美山町	西浦 左門
◆宇治市歴史資料館年報	
〒611-0023京都府宇治市折居台1-1	
TEL0774-39-9260	
◇2013 2015.3 B5 32p	
名所を訪れる光源氏一宇治市歴史	
資料館所蔵の錦絵二点をめぐっ	
て	家塚 智子
◆黄檗文華 黄檗山万福寺文華殿	
〒611-0011京都府宇治市五ヶ庄三番割34	
TEL0774-33-1199 1973年創刊	
◇134 2015.7 B5 364p	
口絵 黄檗の文華 平成26年度出	
陳展示資料他より	
『黄檗文華』第百三十四号題字	近藤 博道
黄檗文華第百三十四号発刊に寄せ	
て	盛井 幸道

黄檗画像画師・補遺(1)一喜多元	
規以外と以後の画師たち	錦織 亮介
浅草寺境内を彩る書一松平冠山	
『浅草寺志』に記録された聯と	
書額	藤元 裕二
仙台藩主伊達家の墓碑考察	秋元 茂陽
国内外の著作にみる河口慧海(7)	高山 龍三
萬福寺功績歌碑にみる河口慧海の	
旅	高山龍三／稲葉香
隠元禅師語録について(7)	大槻 幹郎
佐賀旧鍋島藩の黄檗廃絶寺院につ	
いて	石渡 吉彦
親鸞聖人「非僧非俗」をめぐる一	
考察一宋代仏教文献との関連性	
を視野に入れつつ	野川 博之
日本京都金光寺蔵『仏説目連救母	
経』の語彙	北川 修一
「開山涅槃の疏」について	住谷 瓜頂
齊雲道棟『讃観音大士伽陀集』(上	
・下) 標註	林 観潮
黄檗参學記	呉 疆
昆布が伝えられた道	
一そのコンブロードについて	田中 智誠
平成25年度事業報告	
◆史迹と美術 史迹美術同致会	
〒606-8048京都市上京区下立売通小川東入	
西大路町146 中西ビル内	
TEL075-462-4292 年8000円 1930年創刊	
◇856 (85-6) 2015.7 A5 36p 916円	
大田神社石燈籠と阿志都彌神社石	
燈籠の類似性に関する一考察	高橋 浩行
日本の塔百選(35) 宝福寺三重塔	
	中西 亨
九州様式石塔について一その源流、	
発生、展開及び分布について(3)	
	佐藤 満
第1006回例会の前会	

倉敷市南部の文化財 東 旧章
第1006回例会 瀬戸内航の浦 藪田 夏雄
◇857 (85-7) 2015.8 A5 34p 916円
輪蔵を設置した経蔵について 野崎 準
日本の塔百選(36)
備中国分寺多宝塔 中西 亨
列子御風図について 寺本 健三
第1007回例会 紀州有田の文化財 松本 啓吾
◇858 (85-8) 2015.9 A5 32p 916円
九州様式石塔について—その源流、
発生、展開及び分布について(4) 佐藤 誠
日本の塔百選(37) 蓮台寺多宝塔 中西 亨
第1008回例会 大和御所から巨勢路へ 東 暲
第1009回例会 宇治上神社で正式
参拝と宇治の文化財 矢ヶ崎善太郎

◆都藝泥布 京都地名研究会通信
〒611-0031京都府宇治市広野町宮谷110-15
糸井通浩方 TEL0774-44-7636
年3000円 2002年創刊
www.geocities.jp/Kyotochimei/
◇50 2015.6 A4 8p
2015年度総会・講演会報告／第14
回総会〈議事録〉
講演(要旨) 信仰地名の応用
民俗神ダイジョコと大將軍 金田 久璋
京都地名研究会 第40回地名フォー
ラム(一般公開) 研究発表
丹後王国と天橋立(阪本与一郎)、
額田王と蒲生野の歌(伴とし子)、
紫野の有栖川、その名と川筋の
変遷をさぐる(大野弘・亀井薫)
地名随想
伊予の二名の島 吉田 金彦

お土居と土居地名 清水 弘
「青」地名研究へのお誘い—筒
井功著『青』の民俗学』紹
介がてら 糸井 通浩
京都地名研究会主催 第4回京都
地名ウォーク「太秦から山ノ内
へ」を歩く
◇51 2015.9 A4 8p
第40回地名フォーラム報告 発表
1 丹後王国と天橋立(阪本与一
郎)、発表2 額田王と蒲生野の
歌(伴とし子)、発表3 紫野の
有栖川—その名と川筋の変遷を
さぐる(亀井薫・大野弘)
追悼 山嵯泰正先生 吉田 金彦
山嵯泰正先生を悼む 清水 弘
第41回地名フォーラム(一般公開)
研究発表 1 舞鶴の女帝・二
尾・大丹生という地名と「丹の
くに」(高橋聡子)、2 天の橋
立と沈島伝説—楠原説をめぐっ
て(加藤晃)、講演 若狭という
風土と地名の課題(金田久璋)
随想 銅鐸の意味 吉田 金彦
京都地名研究会 主催 第4回京
都地名ウィーク「太秦から山ノ
内へ」を歩く(実施報告) 大野 克二

◆ノートル・クリティーク 歴史と批評
ノートル・クリティーク編集委員会
〒662-8505兵庫県西宮市岡田山4-1
神戸女学院大学文学部 河西秀哉研究室気
付 2008年創刊 notre-critique.com
◇8 2015.5 A5 81p 1000円
巻頭言 別の責任の取り方 川瀬 貴也
大学自治論に関する研究史とその
課題—デモクラシーと中間領域
船勢 肇

川崎・東京における沖縄返還運動
—遠久山長輝氏に聞く
川崎誠／高橋順子／平良好利
「水道史」の試み—『京都市水道百
年史』編纂と琵琶湖疏水記念館
白川 哲夫
書評 久保亨・瀬畑源著『国家と
秘密 隠された公文書』 河西 秀哉

◆初音 古代学協会年報
〒604-8131京都市中京区三条通高倉西入ル
菱屋町48 TEL075-252-3000 2011年創刊
www.kodaigaku.org
◇5 2015.8 B5 97p
石蒸し調理実験記録2014—小規模
礫群調理および石器石材加熱実
験2)をめぐって 鈴木忠司／坂下貴則／
礫群調理実験グループ
磐田市高見丘遺跡群における岩宿
時代礫群 R56・R57・R58・
R60・R61・R106分布図・礫
一覧表 鈴木 忠司
世界遺産のはじまりと日本人研究
者—「古都京都の文化財」登録
20周年を迎えて 関廣 尚世

◆立命館大学国際平和ミュージアム
だより
〒603-8577京都市北区等持院北町56-1
TEL075-465-8151 1993年創刊
www.ritsume.ac.jp/mnng/er/wp-museum/
◇65 (23-1) 2015.8 A4 24円
スポット ミュージアムの所蔵品
(62)『日本の皆様』
巻頭つれづれ「理を尽くす」と
「情に訴える」の間
館長だより マイロの生き方から
見えたこと モンテ・カセム

ここが見どころ 「空襲の生き方
をどう受け継ぐか」 田中 聡
運営委員リレー連載 《国家安全
保障戦略の精神》と《平和ミュ
ージアムのこころ》とのはざま
で 植松 健一
ミュージアムおすすめの一冊 國
森康弘著『アンネのバラ—40年
間つないできた平和のバトン』
(講談社 2015年5月刊) 金森 絵里
ミニ企画展示
開催報告(2015年2月～6月)
京都・大学ミュージアム連携
立命館大学×京都外国語大学
学生コラボ企画展 中川 智絵
平和とスポーツの写真展 赤沢 真世

◆泉佐野の歴史と今を知る会会報
〒596-0845大阪府岸和田市阿間河滝1425
井田寿邦方 TEL0724-28-0204 年1200円
www.eonet.ne.jp/~sanonokai/
◇331 2015.7 B5 12p
古文書に探る和田(みきた)家の人
々(前) 井田 寿邦
熊野古道の旅(第21回)
伊勢路紀伊路(2) 北山 理
たそがれの泉州弁(9) 中野 恒一
◇332 2015.8 B5 12p
史料紹介
新川盛政あて沢庵宗彭等書状 廣田 浩治
昭和初期 子供の時に聞いた話
聞書・北山 理
古文書に探る和田(みきた)家の人
々(後) 井田 寿邦
◇333 2015.9 B5 12p
戦国前期の村と地域—「クミノ郷」
議論をふまえて(1) 井田 寿邦
橋本正督の実名は「まさたか」か

一実名・出身地・「忠臣」への疑問
泉佐野市、歴史館を手放す
たそがれの泉州弁(10)
新刊 地域論集Ⅴ 南北朝内乱と和泉

◆大阪歴史懇談会会報

〒536-0008大阪府城東区関目2-3-2 アンテ
ィークショップ一兵内 TEL06-6931-1081
年5000円 1984年創刊
osakarekikon.cocolog-nifty.com
◇371 (32-7) 2015.7 B5 8p
巻頭言「妖怪図・幽霊図」(14)
「山姥(やまんば)」 井川 光正
平成27年6月例会報告(第346回)
「関一(せきははじめ)と『大大阪』」
芝村篤樹氏 (井川)
会員講座 第17回
「日本刀と截断銘」中澤祐一氏 (中澤)
◇372 (32-8) 2015.8 B5 8p
巻頭言「妖怪図・幽霊図」(15)
「豆腐小僧」 井川 光正
平成27年7月例会報告(第347回)
「遣唐留学僧靈仙三蔵」—遣唐使
の歴史に浮かび上がる謎の求法
僧 大原正義氏 (和久)
◇373 (32-9) 2015.9 B5 8p
巻頭言「神のおやしらのこと」(1)
「大阪の神社」 和久 敦也
平成27年8月例会報告(第348回)
「吉田松陰のヒューマニズムと
その問題点」(後編)—松陰の人
間愛とアジア 片倉譲氏 (朝山)
平成27年度本会定時総会

◆大塩研究 大塩事件研究会

〒530-0053大阪府北区末広町1-7

成正寺内 TEL06-6361-6212 1976年創刊
◇73 2015.8 A5 84p
あべのハルカスから時空を超えて
大塩研究の書誌的考察
『全釈拙堂文話』の発刊にあたって
大塩ゆかりの地を訪ねて(3) 檄
文を配った上田孝太郎の故地を
訪ねる
大塩と私(19) 澤田平氏に聞く 辻 不二雄
会員便り 歴史学の「おもしろさ」
と大塩平八郎
2014年度会計報告(2014.2.1~15.1.31)
洗心洞通信(61)

◆家系研究協議会会報

〒675-0101兵庫県加古川市平岡町新在家
1745-203 馬原浩一方 TEL079-424-0921
年5000円 2002年創刊
www.geocities.jp/kakenkyou/
◇53 2015.8 B5 8p
天下人秀吉の「指月城」出現 安居 隆行
家系研究協議会 平成27年度 総
会及び春の例会報告
巻頭言の関連記事 『日本経済新
聞』2015年6月19日より掲載
家研協たより 会員情報、家系協
文庫／家系研究協議会次回例会
予定
珍名さんいらっしゃい(47)

◆近畿文化 近畿文化会

〒543-0001大阪市天王寺区上本町6-5-13
上本町YUFURA 7階
TEL06-6775-3686 年2200円
◇788 2015.7 A4 10p 300円
滋賀県湖北にある昭和の名建築—

ヴォーリズ・白井晟一の建築作
品を中心に
南大和の大日如来像
◇789 2015.8 A4 12p 300円
京都の戦争遺跡(2)
舞鶴の戦争遺跡
播磨の大仏様・折衷様の国宝建築
◇790 2015.9 A4 12p 300円
水源地からたどる吉野川の役割
郡山城の歴史と変遷

◆旧真田山陸軍墓地研究年報

旧真田山陸軍墓地とその保存を考える会
〒565-0851大阪府吹田市千里山西1-33-14
堀田暁生方 2013年創刊
◇3 2015.8 A4 64p
真田山陸軍墓地での米軍捕虜飛行
士殺害事件
群馬県における戦没者慰霊—「軍
都」「忠霊」「護国」の視点から
三蔵法師の遺骨と陸軍墓地—弘前
忠霊塔、篠山遺芳殿、岸和田靖
霊殿を事例に
大阪府公文書館で見つかった写真
—大阪靖国霊場維持会十周年記
念 慰霊大法要
ゴル没後百年—第一次世界大戦と
真田山陸軍墓地
特定非営利活動法人旧真田山陸軍
墓地とその保存を考える会 会
報「真田山」№1~3(再録)
陸軍墓地に関係する文献(3) 新
刊書のお知らせ 吉川弘文館
「地域のなかの軍隊」4『近畿
古都・商都の軍隊』、8『基礎
知識編 日本の軍隊を知る』

研究活動の記録(3)

◆左海民俗 堺民俗会

〒593-8302堺市西区北条町2-10-11
佐原浩二方 TEL072-275-8588 年3000円
◇149 2015.9 B5 8p
《夏の過ごし方》
ふるさとの夏の思い出
「私の思い出の夏」
夏休みの思い出
南極夏の思い出1
第69回堺民俗総会 2015年8月9日
2014年度 事業報告／2015年度
堺民俗会行事計画案
H26年度の活動を振り返って
例会報告
4月例会報告
長岳寺周辺の石仏を巡る
5月例会報告
熊野古道を歩くX I

◆真田山

旧真田山陸軍墓地とその保存を考える会
〒565-0851大阪府吹田市千里山西1-33-14
堀田暁生方 2004年創刊
◇41 2015.1 A4 2p
第29回研究報告会
群馬県における戦没者慰霊
日本各地の陸軍墓地(1) 群馬県
高崎市龍廣寺の陸軍墓地
◇42 2015.4 A4 4p
戦後70年 新しい墓地保存体制の
確立を求めて
陸軍墓地案内ボランティアの声
墓地案内に携わって
ご案内をして
墓地の案内をはじめます
案内ボランティアとして

墓地案内会に参加して 今西 聡子
 出逢う 岡田 祥子
 真田山陸軍墓地 小田 直寿
 ◇43 2015.7 A4 2p
 第30回研究報告会 『地域の中の
 軍隊』を編集して一軍史研究
 の現在 奥田 裕樹
 2015年度社員総会の報告

◆除痘館記念資料室だより

洪庵記念会除痘館記念資料室
 〒541-0042大阪市中央区今橋3-2-17
 緒方ビル TEL06-6231-3257 2010年創刊
 ◇7 2015.6 A4 6p
 立ちはだかる大きな壁
 一東西の比較 深瀬 泰旦
 種痘ウィルスとして最後に用いら
 れたウィルスに牛痘ウィルスは
 存在したか 加藤 四郎
 久保良平と藤井十平一大和におけ
 る牛痘種痘普及の一齣 浅井 允晶
 播磨の種痘医・藤田恕助
 一地方種痘医の生き様 古西 義磨
 適塾師弟150年後の再会 川上 潤
 種痘の史跡を訪ねて(4) 町田市
 の「ジェンナー顕彰碑」 米田 該典
 八重夫人を想う 緒方 高志
 新刊紹介 古西魏磨著『緒方郁藏
 伝一幕末蘭学者の生涯―』、緒
 方洪庵記念財団 除痘館記念資
 料室編『緒方洪庵の「除痘館記
 録」を読み解く』(近刊) 浅井 允晶

◆城だより 日本古城友の会

〒577-0044大阪市西成区玉出中2-11-28
 平川大輔方 TEL06-6652-4511
 web1.kcn.jp/kojyo_tomonokai/
 ◇559 2015.7 B5 22p

摂津 大坂の冬の陣 今福鳴野戦
 跡を訪ねます(8月・第622回例
 会)／9月・第623回例会の予告
 ／セミナーなどのご案内／受贈
 図書・資料／城郭ニュース
 6月・第620回例会の報告 水島先
 生と歩く紀伊和歌山城 案内講
 師：水島大二氏 担当幹事：川
 端義憲氏・白川輝昌氏
 会員通信
 北九州の城めぐり旅
 最初は熊本城です。 木下 修二
 信濃守護小笠原氏城跡探訪記
 (承前) 川端 義憲
 新聞記事紹介
 ◇560 2015.8 B5 22p
 近江 彦根城の登り石垣を探訪し
 ます(9月・第623回例会)／10月・
 第624回例会の予告／セミナー
 などのご案内／受贈図書・資料
 ／城郭ニュース
 7月・第621回例会の報告 美濃揖
 斐城・揖斐陣屋・本郷城 栢木 隆
 会員通信 北九州の城めぐり旅
 2日目は、島原城と原城です。
 3日目は、諫早城と肥前鹿島城
 です。 木下 修二
 新聞記事紹介
 ◇561 2015.9 B5 22p
 淡路 洲本城の登り石垣を探訪し
 ます(10月・第624回例会)／11
 月・第625回例会の予告／セミ
 ナーなどのご案内／受贈図書・
 資料／城郭ニュース
 8月・第622回例会の報告 午前の
 部 探訪先：今福・鳴野古戦場
 跡を訪ねて／午後の部 演題：
 大坂城本丸地区の最新発掘調査

成果について―2014年度の調査
 成果を中心に 案内講師：大阪
 文化財研究所 櫻田小百合氏 平川 大輔
 会員通信
 北九州の城めぐり旅(3)
 唐津城・元寇防塁・福岡城 木下 修二
 徳川大坂城残石刻印(大阪市城
 東区今福南 嶋田家) 森田 又一
 新聞記事紹介

◆つどい 豊中歴史同好会

〒560-0054大阪府豊中市桜の町4-6-27-208
 小川滋方 月1000円 1988年創刊
 homepage2.nifty.com/toyonakarekishi/
 ◇330 2015.7 B5 22p
 継体大王の大和入りを考える
 一継体大王、大和を包囲する 西川 寿勝
 編集部員募集！
 洛陽発見の三角縁神獣鏡 西川 寿勝
 洛陽三角縁笠松紋神獣鏡初探 王 趁意
 ◇331 2015.8 B5 24p
 磐井の乱とその史料 荊木 美行
 五條・橋本の史跡を訪ねる 石塚 一郎
 ◇332 2015.9 B5 14p
 継体大王崩御後の倭国政権 坪井 恒彦
 東寝屋川から忍ヶ丘の史跡を訪ね
 る 小川 滋

◆民俗文化 近畿大学民俗学研究所

〒577-8502大阪府東大阪市小若江3-4-1
 TEL06-6721-2332 1989年創刊
 ◇27 2015.7 A5 329p
 表紙・口絵写真 東北の民俗
 胡桃沢勘司／戸井田克己／
 網伸也／藤井弘章／渡辺良正
 《東北の民俗》
 「間」と呼ばれた港
 一秋田藩の船川港 胡桃沢勘司

北東北・風の民俗
 一風にまつわる生活と文化 戸井田克己
 東北地方の土人形の系譜と伝承 網 伸也
 猿賀神社叢林におけるアオサギ・
 ゴイサギ・カワの被害と対応―
 天然記念物「猿賀の鵜及び鷺蕃
 殖地」の苦悩 藤井 弘章
 青森県のウミガメの民俗―江戸時
 代の流木と現在の甲羅・剥製祭
 祀習俗を中心に 藤井 弘章
 松木重太郎社長時代における山陽
 鉄道の西進過程と全通について
 一地域社会の動向と利害関係者
 の思惑との関わらせて 井田 泰人
 全国主要神社の龍について 橋口 尚武
 書評と紹介
 野本寛一・赤坂憲雄編『暮らし
 の伝承知を探る』 戸井田克己
 近畿大学構内遺跡学術調査の紹
 介(2) 藤田 義成
 付録 民俗学研究所第26回公開講
 演会 民俗学はおもしろい―食
 もそして人と自然(発表要旨) 野本 寛一

◆歴史懇談 大阪歴史懇談会

〒536-0008大阪市城東区関目2-3-2
 アンティークショッポー兵内
 TEL06-6931-1081 年5000円 1987年創刊
 osakarekikon.cocolog-nifty.com
 ◇29 2015.8 B5 104p 1500円
 表紙のことは 大坂城の石垣 田村 紘一
 玉山金山(9)一荘厳寺の創建・松坂
 徳右衛門定久―「荘厳寺物語」 松坂 定徳
 石見吉川家十代目
 吉川式部少輔経家(11) 田村 紘一
 戦後70年を過ぎても一忘れられた
 ベリリユー島の思い出 安居 隆行
 歴史随想 ニールスの民 六千年

の流れに惟う(11) 吉井 功兒
吉田松陰が矜持する思想構成を検
証する 小林 司
淨御ヶ原之皇統之御代
一長屋親王の謎 岩谷 隆行
一寸千里の法 道家康之助
「大東亜戦争参戦記」の目次と絵 室田 卓雄
明治の旅日記を読む一肥後熊本か
ら東京・日光へⅡ 寺井 正文
源氏物語 千年紀によせて(下) 稲垣 隆造
福山城について 久保 敏博
アフリカにおける野口英世(1) 片倉 穰
コラム 独り言つ「大人こそ絵本
を読もう」 井川 光正
平成26年度の歩み 磯崎 素子

◆摂播歴史研究 摂播歴史研究会

〒676-0004兵庫県高砂市荒井町千鳥2-23-12
TEL079-442-0658 1986年創刊
◇67 2015.7 B5 6p
淡路島新発見の銅鐸 浦上 雅史
フォーラム 「播磨国風土記と石
作集団」参加報告 廣瀬 明正

◆西宮文化協会会報

〒662-0974兵庫県西宮市社家町1-17
西宮神社内 TEL0798-33-0321
◇568 2015.7 B5 8p
7月行事 文化講演会「西宮と藩
札・私札一故堀内洽氏のコレク
ションを中心に」大浦和也氏
藩札、私札とは 大浦 和也
西宮にまつわる能(その1)
『呉服』上演記 河内 厚郎
“シチリア島”憧憬行(1) 二宮 健
「西宮」保存箱、玉手箱(19)一情
報公開課資料より 傀儡師故跡
豊田 みか

関西学院大学博物館、図書館見学
恵壽健一郎

平成27年(7月～10月) 美術館・
博物館等展示の御紹介
◇569 2015.8 B5 8p
8月行事 博物館見学会 西宮市
大谷記念美術館「2015 イタリア
ア・ボローニャ国際絵本原画展」
西宮にまつわる能(その2) 河内 厚郎
“シチリア島”憧憬行(2) 二宮 健
「西宮」保存箱、玉手箱(20) 甲
子園線と枝川・申川名残りの松
一情報公開課資料より 豊田 みか
敷島の道(2) 田邊 竹雄
西宮神社境内の石造物「銅板賛碑」
◇570 2015.9 B5 8p
9月行事 観月祭 月見の宴
にしのみや雑感・私感 岡本三千代
“シチリア島”憧憬行(3) 二宮 健
「西宮」保存箱、玉手箱(23)一情報
公開課資料より 御田植神事 豊田 みか
平成26年社頭の言葉より 田邊 竹雄

◆みかげ民俗

〒654-0152神戸市須磨区東落合3-4-31
藪元晶方 1974年創刊
◇7 2015.8 B5 80p
端午の節供と即位式と武者飾りの
こと 田中 久夫
狐霊信仰の性格―『今昔物語集』の
世界を中心に 酒向 伸行
祭の日に悪態をつく理由―祭りの
中の争う要素の比較から 世森かん奈

◆歴史と神戸 神戸史学会

〒657-0845神戸市灘区岩屋中町3-1-4
田中印刷出版内 TEL078-871-0555
年3000円 1962年創刊

◇311 (54-4) 2015.8 A5 57p 600円
巻頭言
《特集 戦後70年 体験を次代に伝える》
昭和の戦争と姫路空襲 黒田 権大
満州開拓民と中国残留孤児 宗景 正
「神戸港 平和の碑」に込めた思
いーアジア・太平洋戦争と朝鮮
人・中国人・連合国軍捕虜 飛田 雄一
平和マップをつくる 小城 智子
郭野飛行場との出会い 上谷 昭夫
神戸空襲を記録する活動の中で出
会った子どもたち 中田 政子
わが神職累代の記(9) 父のこと
(4) 村やしろ神職の戦時経済
事情―母の家計簿から 上村 武男
暑中お見舞い申し上げます
新聞地域版を読む 神戸新聞の文
化財記事 (13年1月15日～2月18
日) 大國正美／有吉康徳

◆大美和 大神神社

〒633-8538奈良県桜井市三輪
TEL0744-42-6633 www.oomiwa.or.jp
◇129 2015.7 B5 64p
伝承の斎王
一〈ヒメ〉名称を手がかりに 義江 明子
第11回三輪山セミナーイン東京講
演録 邪馬台国時代・纏向王宮
への道のり 石野 博信
三輪山セミナー講演録 六世紀に
おける王族の権益と拠点―三輪
・石上・佐保 古市 晃
大三輪高市麻呂と伊勢行幸 多田 一臣

◆紀伊考古学研究 紀伊考古学研究会

〒642-0014和歌山県海南市小野田1221-1
前田敬彦氏 1998年創刊
◇18 2015.8 B5 108p 2000円

〈小特集 和歌山県の考古学研究の歩みⅡ
(古墳時代)〉
和歌山県における古墳研究史 黒石 哲夫
和歌山県における埴輪研究 河内 一浩
古墳時代集落址・生産遺跡研究の
歩み 富加見泰彦
和歌山県における古墳時代土器研
究の歩み 前田 敬彦
和歌山県の古墳時代関係文献一覧
事務局
高山寺貝塚の高山寺式土器 青山 航
和歌山平野南部の集落遺跡―井辺
遺跡、神前遺跡の調査成果から
田中 元浩
箕島1号墳の横穴式石室の屍床配
置について 中村 貞史
資料紹介 高野山谷上採集の青磁
碗について 西山 祐司
和歌山県の考古学関係文献目録
(2014年) 事務局
紀伊考古学研究会の活動(平成26
年9月～平成27年8月)
◆熊野 紀南文化財研究会
〒646-0024和歌山県田辺市学園6-3
濱岸宏一方 TEL0739-25-0657
年3000円 1969年創刊
◇148 2015.6 A5 57p
熊野に棲息する妖怪たち(4) 宮本 恵司
部落史素描(6) 慶応四年、京都
空也堂による紀伊国末派鉢家組
織化についての基礎的考察 藤井 寿一
郷土関係新刊紹介 南方熊楠英文
論考 [ノーツ アンド クエ
リーズ] 誌篇／災害と地名～減
災への道しるべ～／南紀・史的
随筆／近世熊野の民衆と地域社
会／和歌山の部落史 年表・補

遺編／和歌山の部落史 通史編
／伏菟野を襲った深層崩壊の記
録／南方熊楠
文化財ニュース

◆熊野学研究 国際熊野学会
〒647-8555和歌山県新宮市春日1-1
新宮市教育委員会文化振興課
TEL0735-23-3368
〒168-0064東京都杉並区永福1-9-1
明治大学和泉校舎 研究棟事務室気付
TEL03-5300-1156 年3000円 2010年創刊
◇3 2015.7 A5 80p
文学にみる西方浄土への憧れ一折
口信夫『死者の書』の場合 半田 美永
仏教再考一救われぬ人々 平久江剛志
熊野比丘尼の本寺と末寺一熊野新
宮庵主と美濃国祐勝寺をめぐっ
て 根井 浄
熊野のコスモロジー 金山 秋男
'13日韓共同シンポジウム：「文化
は誰のものか？ Part2 一日本文
化をめぐってー in ソウル」の
報告 林 雅彦

◆熊歴情報 熊野歴史研究会
〒647-8555和歌山県新宮市春日1-1
新宮市役所商工観光課 山本殖生
TEL0735-23-3333 年3000円
◇198 2015.7 B5 2p
総会報告／講演会「もうひとつの
熊野三山 薩摩硫黄島」／放送
大学テレビ特別講義／国際熊野
学会大会／越後磐女も「小栗判
官照手姫」
◇199 2015.9 B5 2p
熊野古道調査報告会・現地見学会
／『熊野参詣道調査報告書』刊

行に向けて／旧丹鶴小学校跡地
から待屋敷跡

◆巡礼遍路研究 巡礼遍路研究会
〒648-0211和歌山県伊都郡高野町高野山
385 高野山大学 密教文化研究所内
jyunrei.jp
◇1 2015.5 A5 76p
巻頭言 発刊にあたって 日野西眞定
設立経緯 巡礼遍路研究会創設
豊島八十八ヶ所から見た首都圏写
し霊場の実情と課題 石坂 朋久
澄禅『四国遍路日記』阿波の道の
研究 角川 博泉
聖地巡礼と「聖地」巡礼
一信仰と遊楽の融合 鬼頭 尚義
新刊ブックレビュー 柴谷宗叔著
『江戸初期の四国遍路 澄禅『四
国遍路日記』の道再現』（編集）
刊行のススめ既存図書紹介 清
水谷孝尚著『巡礼と御詠歌 観
音信仰へのひとつの道標』 上村 秀之

中国・四国

◆中村家の会会報
〒680-0015鳥取市上町41 中村忠文方
TEL0857-23-1264 年5000円 1979年創刊
www.nihonkai.net/nakamura/
◇37 2015.8 A4 11p
次は「関ヶ原」に行きましょう
平成26年総会は甲賀忍者の里、忍
術村等見学行事
「後発医薬品について」
中村功先生よりの手紙
中村宗哲様の展覧会が行われまし
た
関係資料
平成26年度 収支会計報告／平成

26年7月5日 総会出席者様

◆郷土石見
〒697-0034島根県浜田市相生町2139-15
児島俊平方 TEL0855-22-2567 1976年創刊
◇99 2015.8 A5 147p 1200円
表紙写真 江津ウインドファーム
風力発電（江津市浅利町）
写真・夜陣進／文・広瀬住友
特報 北海道開拓に挑んだ二人の
石見人一宮脇富と南原耕作 久保田政男
「山陰久佐松竹座の節劇」一国立劇
場及び浜田市への報告書 岩町 功
「江の川」の舟運（後） 森脇 登
佐渡島へ渡った石見の漁師たち（4）
一それは四百年も昔 村上 英明
石見銀山大盛時代の漁業と海運
（上）一塩サバの目からみた銀山
都市 児島 俊平
吉賀町に見る山の信仰 酒井 董美
地方記者奮闘記「古里とともに」
（4） 小川 重文
「自彊不息」覚え書 林 量三
小国村、都川村庄屋の藤間家をた
どって 白川 英隆
原山の『光る岩』 森脇 晋平
町から村から
郷土の思い出一林間学校 大矢 幸子
ある戦争体験者の死生観 小島 清文
『サルバルサン戦記』を読む 森脇 晋平
三隅町誌「生物」の補強 宮本 巖

◆大社の史話 大社史話会
〒699-0751出雲市大社町杵築西2695-1
稲根克也方 TEL0853-53-4966 年2500円
1974年創刊 www.taisha-shiwa-kai.jp
◇183 2015.6 B5 48p
クジラ鳥祭り

一稲佐の浜の岩礁を発掘 須田 郡司
復刻 荒木肇著『大社のテニス』
2（大正期編） 馬庭 孝司
出雲船団の経験一小さな港と広い
海を結ぶもの 岩成 俊策
コラム
中世宇龍浦の「海賊大将」 岩成 俊策
村上清子さまを悼む 春木 芳子
村上清子さんの思い出 藤原 慧
村上清子氏の編集・執筆活動 山崎 裕二
書籍紹介 宍道正年編著『前原一
誠と松江の修道館そして大社町
宇龍』 前原一誠捕縛事件の特
集 編集部
日置風水の紀行文『隠岐のすさび』
を読む（9） 山崎 隆司
消えゆくもの（47）
一人魂（ひとだま） 春木 芳子
企画展 東アジア交流の精華
琉球王国 古代出雲歴史博物館
アテンダントのご縁物語（7）一平
成ご縁まち物語～歴博フェイス
ブックから 川瀬美香／園山順子
手銭記念館の四季 杵築文学あれ
これ（5）手銭家の蔵書について
佐々木杏里
出雲弥生の森博物館 夏季企画展
出雲の「ごっつお」の考古学
出雲弥生の森博物館
平成27年1月～3月出雲市大社町年
表 編集部
◇184 2015.9 B5 62p
大社糸操り人形の復活に想う 佐藤 収男
一式陸上攻撃機墜落事故の70周年
慰霊祭 編集部
慰霊祭の開催にあたって 藤江 秀逸
慰霊法要にお参りして 多賀 憲雄
慰霊法要のお世話をして 井田 潤子

『大社の史話』に掲載された関連
論文／慰霊祭についてまとめた
8月14日付 山陰中央新報紙
中学生出雲弁川柳 大社中学校
眠れぬ夏の一日—小林徳一郎翁の
ふるさとを訪ねて 山崎 泰弘
「イワクラサミット in 出雲」イワ
クラ(磐座)学会全国大会2015開
催に寄せて 須田 郡司
復刻 荒木肇著『大社のテニス』
3(昭和期編上) 馬庭 孝司
出雲地域の歴史と文化(10)(出雲
平野) 出雲の国の土と風(前)
—江戸初期の斐伊川左岸の土工
史 落合 久栄
書籍紹介 いづも財団叢書 第2
号『出雲大社の造営遷宮と地域
社会(下)』が発刊される！
編集部(文責・山崎裕二)
読者コーナー
神光寺橋と堀川の思い出 山崎 憲一
作詞もなされた村上清子先生 杉谷 桂子
出雲大社観光史を読んで 奥村 誠一
新入会員紹介
日置風水の紀行文『隠岐のすさび』
を読む(10) 山崎 隆司
消えゆくもの(48)—地曳綱 春木 芳子
企画展 百八十神坐す出雲—古代
社会を支えた神祭り
古代出雲歴史博物館(文責・松尾充晶)
企画展 いつまでも戦後でありた
い—出雲市民と戦争
出雲弥生の森博物館(文責・花谷浩)
手銭記念館の四季 茶陶—出雲焼
の原点から憧れまで— 佐々木杏里
アテンダントのご縁物語(8)—平
成ご縁まち物語—歴博フェイス
ブックから 川瀬美香／園山順子

平成27年4月～6月出雲市大社町年
表 編集部
◆宇喜多家史談会会報
〒700-0826岡山市北区磨屋町6-28
光珍寺内 TEL086-222-2028
年2000円 2002年創刊
◇55 2015.7 A4 10p
平成27年度宇喜多家史談会総会記
念講演 おふく様の生き様 杉山 真子
関ヶ原戦後の宇喜多秀家 大西 泰正
物語直家記伝 西大寺辺の城
第26回 自立(3) 山重十五郎
再発見された宇喜多秀家の詠草 森 俊弘
会員サロン
宇喜多氏関連遺跡の写真展(6) 津下 誠二
◆岡山地方史研究 岡山地方史研究会
〒704-8113岡山市東区西大寺上2-6-36
村上岳方 TEL086-942-6156
年1500円 1986年創刊
homepage3.nifty.com/okayama-chiho/chiho/c-main.htm
◇136 2015.9 B5 30p
《特集 新しい美作史のために》
歴史随想
市町村史の編纂に学んで 在間 宣久
津山藩家老佐久間・安藤両家の婚
姻関係 妻鹿 淳子
美作国と由緒—「津山景観図屏風」
に寄せて 草苺由加里
例会報告 「書物・出版と社会変
容」研究会岡山大会を開催して
内池 英樹
◆きび野 岡山県郷土文化財団
〒700-0813岡山市北区石岡町2-1
TEL086-233-2505
◇138 2015.6 A5 14p

随想二題
「テレビは何を残すのか？」 中山 繁久
鶴鳴館のルーツを訪ねて 藤田 佳篤
岡山の人物 藤原基房 廣常 人世
岡山の自然 千早の滝・琴弾の滝
美作市経済部観光振興課
岡山の文化財 旧専売局味野収納
所山田出張所 玉野市教育委員会
わが町・わが村の自慢 岡山市水
道記念館(岡山市北区)
ふるさとの思い出 古民家再生ホ
テル「矢掛屋」誕生(小田郡矢
掛町)
会員日より
郷土史の興味を持って 青津 研一
◇139 2015.9 A5 14p
随想二題
犬養木堂を想う 金網 久夫
キノコ雑感 杉原 雅夫
岡山の人物 山名元之 弘田 和司
岡山の自然
「きのこ」という生物 地職 恵
岡山の文化財 牛窓海遊文化館
(旧牛窓警察署本館) 若松 拳史
わが町・わが村の自慢
コスモス広場(真庭市上水田)
ふるさとの思い出 町衆で立ち上
げた『備中倉敷学』(倉敷市)
会員日より 待ち遠しい展覧会 赤星 靖夫
◆芸備地方史研究 芸備地方史研究会
〒739-8522広島県東広島市鏡山1-2-3 広島
大学大学院文学研究科日本史学研究室内
TEL082-424-6643 年3000円 1953年創刊
◇297 2015.6 A5 32p 600円
歴史を語る 城郭に見る国人領主
の領域支配—備後木梨氏と淵上
城を例に 田口 義之

書 評
広島県信用組合編『広島県信用
組合60年史』 落合 功
坂根嘉弘編著『地域のなかの軍
隊5 中国四国 西の軍隊と
軍港都市』 平下 義記
動 向
「建国記念の日」のヒロシマ(49)
広島県の地方史研究
史跡をあらく 青陰城跡
文・道法早苗／写真・笠井今日子
◆備陽史探訪 備陽史探訪の会
〒720-0824広島県福山市多治米町5-19-8
TEL084-953-6157 bingo-history.net
◇185 2015.8 A4 24p
備後宮氏の出自
—宮氏は「なぜ」宮氏のなか 田口 義之
辻堂百景(3) 福山市神辺町上御
領「堀薬師堂」 秋山 由美
研究レポート 福山城下町西にあ
った淵・池を探る 瀬良 泰三
会員便り 十年振りの広島 後藤 匡史
二葉の里 歴史の散歩道「夢めぐ
り」
調査報告 中世石造物の調査報告
篠原 芳秀
新備後風土記 その1
中根城(1) 福山市春日町能島 田口 義之
近世福山の歴史講座
福山城下町(2) 高木 康彦
近世福山を読む／お出かけガイド
備後史談 終戦七十年回顧(1) 根岸 尚克
例会報告
尾道ぶら探訪で思ったこと 峯松 俊彦
郷土探訪 備後の道を歩く2
尾道北部の道しるべ 岡田宏一郎
備陽史探訪の会創立35周年 記念

事業のっかり企画 タイムカプセル
山城レポ 越前寺院城郭
白山平泉寺城跡 末森 清司
例会談義 四月バス例会「備北紀行」によせて・その5 稲葉 泰造

◆備陽史研究 山城志 備陽史探訪の会
〒720-0824広島県福山市多治米町5-19-8
TEL084-953-6157 1982年創刊
bingo-history.net
◇23 2015.7 A4 86p
特集1 備後国人杉原氏
銀山城と杉原氏 田口 義之
杉原信平の嫡流に関する一考察
一杉原信平と杉原盛平の関係を
中心として 木下 和司
特集2 福山沖新田の謎
正保絵図(備後国福山城絵図)に
描かれている堤の位置につ
いて 瀬良 泰三
福山における初期の干拓史につ
いて一消された福山沖新田の
謎に迫る 田中 伸治
研究ノート 古志元清の厳島神社
寄進の太刀について 矢田 貞美
史料紹介 阿部正教「日記」 根岸 尚克
山城レポート
大東宇山城跡(仮称)測量調査報
告 坂本 敏夫
高山城跡総記 末森 清司
紀行文 東海道五三次ゆったり歩
き(赤坂から四日市) 岡田宏一郎
別冊(6頁)
2015(平成27)行事案内 7月号
備後歴史研究会新聞 第2号

◆広島民俗 広島民俗学会
〒731-0211広島市安佐北区三入1-26-24
岡崎環方 TEL082-818-3497 1974年創刊
fs-hiroshima.net
◇84 2015.8 A5 96p 700円
尾道祇園祭と三体廻し 林 良司
近代における尾道の年中行事
一堀田廣徳資料を中心として 八幡 浩二
『旧甲奴郡域の神社と神事』 尾多賀晴悟
平成26年度現地研究会
解説「祈祷の神楽・弓神楽」 三村 泰臣
報告「弓神楽と天領の町をたず
ねて」 岡崎 環
参加記
井永八幡神社「弓神楽」見学
記 八島 大樹
「弓神楽」拝み見て 横山 豊子
「安芸のはやし田」田植歌の詩型
と唱法 築地 昭二
重要無形民俗文化財を伝える来原
さんばい祭り 正本真理子
重要無形民俗文化財「池川神楽」
を拝見する 下畠 信二
尾道商人による厳島大元神社への
「燈籠」寄進料に関する書状 迫江 勝

◆みよし地方史 三次地方史研究会
〒729-4304広島県三次市三良坂町三良坂
2747 中畑和彦方 TEL0824-44-2753
1987年創刊
◇97 2015.8 A4 8p
堀田家文書と藤原和博さん 藤村 耕市
ご挨拶 藤原 和博
「堀田家文書」をひも解く(1) 近
世後期、三次町における富籤興
行について 立畑 春夫
碑は語る(1) 井堰改修記念碑な
ど(三次市糸井町) 中畑 和彦

三次地方史研究会規約／新役員体
制／総会記念講演「毛利氏と郡
山城」

◆わが町三原 みはら歴史と観光の会
〒723-0051広島県三原市宮浦6-9-32
鈴木方 年3600円
◇292 2015.7 B5 12p 100円
今月の各地
小早川隆景公築城450年に思う 桧山 幸三
広島県三原市磨崖和霊石地藏(5)
一小早川茂遠と念心 福井 万千
若丸山城の謎(4) 大谷 和弘
とくじゅまる物語9
「とくじゅの足袋は8文半」 下西 勝彦
◇293 2015.8 B5 12p 100円
今月の各地 異国船騒ぎ 田邊 達雄
広島県三原市磨崖和霊石地藏(6)
一小早川茂遠と念心 福井 万千
若丸山城の謎(完結編) 大谷 和弘
とくじゅまる物語10
「こむぎの花」 下西 勝彦
◇294 2015.9 B5 12p 100円
表紙 湯河原町「土肥会」来三
「土肥会」と米山寺墓参 小早
川隆景公の宝篋印塔／土肥実平
公の宝篋印塔 H27.8.7撮影
鈴木健次(宮浦)
今月の各地
とくじゅまる物語 拾遺 下西 勝彦
レキカン秋の研修旅行ご案内
毛利両川の吉川氏ゆかりの地を
訪ねる 吉原 宏人
広島県三原市磨崖和霊石地藏(7)
一小早川茂遠と念心 福井 万千
湯河原町「土肥会」との交流会報
告 鈴木 健次
「ホノオ」 ホノオ 西町 久井茂

作／三原古今紀要 10 部門武
術・11 贋金造り 港町 故古
川与吉著 福岡 幸司

◆山口県地方史研究 山口県地方史学会
〒753-0083山口県山口市後河原150-1
山口県文書館内 TEL083-924-2116
1954年創刊 www.ysflh.jp
◇113 2015.6 A5 86p
長門清末藩主毛利政苗の寺社奉行
罷免事件 田村 貞雄
明治十二年のコレラ病流行時の県
衛生掛の活動と共憂議会につい
て一大島郡役所文書「県庁諸報
告」のコレラ病関連資料 木京 睦人
文化年間における長州の伊勢参宮
犬について 山崎 一郎
山口県指定史跡 長府藩主毛利家
墓所について一その文化財的価
値 伊原慎太郎
下関英国領事館の開設契機に関す
る報告書とエピソードー英国公
文書館の資料を中心に 高月 鈴世
史料紹介
長府椋梨家文書について 田中 洋一
歴史と現代 「氏神」とはなにか 金谷 匡人
歴史散歩 「御霊社之碑仕調一事」
について 吉田 真夫
新刊紹介 富海史談会編『大坂通
いで活躍した飛脚船・富海飛船
の歴史』 鴨頭 俊宏
地方だより
発表要旨(第121回研究大会)
朝鮮三国史記と琳聖太子コード
の原義一百済王統との接続範
型=『失われた環』の再発見
北川 健
萩藩主家法要における一門の代

焼香一特権意識の形成と否定
根本みなみ
朝鮮通信使通船における宰判の
役割 吉田 智史
秋穂浦の難船救助について 石川 敦彦
史跡萩城跡における近年の石垣
保存修理について 西川 雄大
赤塚古墳をめぐる人びとー近代
山口の考古学研究と文化財保
護 北島 大輔
地方史文庫・受贈図書目録（2014
年6月～2015年5月受付）

◆徳島県立博物館ニュース

〒770-8070徳島市八万町向寺山 文化の森
総合公園 TEL088-668-3636 1990年創刊
www.museum.tokushima-ec.ed.jp

◇100 2015.9 A4 8p

三番叟まわし 庄武 憲子
Culture Club 徳島県産オヤニラ

ミの生物地理学的研究 佐藤 陽一
平成27年度第2回企画展 文化の
森開園25周年記念事業 ヒトガ
タをめぐる冒険「阿波木偶箱ま
わしの世界一門付け、大道芸ー」
館蔵品紹介 アンモナイトの顎器

辻野 泰之
情報ボックス 文化の森が開園25
周年を迎えます 小川 誠
Q & A 最近、徳島県で新たな外
来昆虫が確認されたそうですが、
何ですか？ 山田 量崇

◆伊予史談 伊予史談会

〒790-0007愛媛県松山市堀之内
愛媛県立図書館内 1915年創刊
◇378 2015.7 A5 49p 750円
伊予史談会例会1200回記念講演会

「伊達宗城公と幕末政局」 慶応
三年伊達家文書からみた四侯会
議、大政奉還、王政復古 近藤 俊文
特集 南宇和
平城貝塚と近代研究者たち 多田 仁
チョウナづくりの家
ー旧藤田家住宅 宮本 春樹
歴史余話
宇和島領へ来た巡見使 藤田 儲三
史料紹介 御荘組菊川村庄屋中
尾家文書 織田 浩史
資料館・博物館めぐり
南宇和歴史民俗文庫 宮本 春樹
新刊紹介 田原明章著 榊田佳明
校訂『宇藩出産考』、『道後装飾
事典』 天野奈緒也
郷土その日その日 編集部(柚山俊夫)
例会記事 第1198回～第1200回
◇379 2015.10 A5 49p 750円
今治市における最新の発掘成果
ー経田遺跡の古代遺構 中野 良一
塩泉城の所在地及び今治城との関
係について 宮尾 克彦
河野牛福通直の最初の版刻花押
ー類例の出現と平岡房実小考 山内 治朋
歴史余話 昭和17年における「あ
る老女」の暮らしの記録ー「中
臣コウ日記」は歴史資料か 佐々木正興
博物館へ行く 愛媛県生涯学習セ
ンター・愛媛県埋蔵文化財セン
ター共同企画展「遺物から見た
愛媛の中の韓国文化」をみる 山内 栄寿
新刊紹介 津野倫明著『長宗我部
元親と四国』、本多博之著『天
下統一とシルバーラッシュー銀
と戦国の流通革命ー』、村上貢
著『しまなみ人物伝』 編 集 部
報告 芸備地方史研究会 2015年

度研究大会 編 集 部
郷土その日その日 編集部(柚山俊夫)
例会記事 第1201回～第1203回

◆秦史談 秦史談会

〒780-0023高知市東秦泉寺283
松本紀郎方 TEL088-875-6671 1984年創刊
◇183 2015.8 B5 62p
表紙説明 西谷・王子神社の夏祭
(西秦泉寺) 松下 政司
グラヴィア 菊水紋の短刀、盛親
公の墓、間寛平さん、秋のしず
く

談話室

長宗我部か長曾我部 原田 英祐
ドナルドダックの閉店 千頭 将宏
带状疱疹 鍋島 静一
学問の衰退 畠中 宏一
ローガイ 故 山本龍江
江戸幕府のお城坊主 笹原 保博
坂本龍馬百八十年の原点考 広谷喜十郎
秦の昔話(44) 三谷の巻 三谷の

こわい話①②③(『こうち童話』
から) 永野美智子
岡三所神社(2) 松本 紀郎
野口雨情作詞の童話など(1) 溝渕 匠
秦・史跡めぐり余滴(16)一弁天様 (松本)
長宗我部氏の姓について
(中内和一氏 遺稿要約) 原田 英祐
安芸市探訪(俳句) 溝渕 匠史
龍馬の剣術修行と千葉佐那(1) 岩崎 義郎
清流物部川と美良布の幼少年期(2) 千頭 将宏

秦・史跡めぐり余滴(17)
ー秦泉寺城合戦 (松本)
汗見川(2) 和田 豊子
長宗我部盛親没後四百年法要に参
加・ご報告 原田 英祐

戦史25 墓碑は語る 毛利 俊男
加古陽治編・著 真実の「わだつ
み」 学徒兵 木村久夫の二通
の遺書 松本 紀郎
肅々ー沖縄の場合 松本 紀郎
「ファミリー・ヒストリー」
間寛平さん 岡村 庄造
江戸幕府の代官 笹原 保博
知識と理解の限界 広谷 雅子
「ローカルジャーナル 秦史談」
(『高知新聞』27.5.19より)

九州・沖縄

◆季刊 邪馬台国 梓書院

〒812-0044福岡市博多区千代3-2-1 麻生ハ
ウス3階 TEL092-643-7075 1979年創刊
◇126 2015.7 A5 204p 1250円

巻頭言

編集体制の充実について 安本 美典
新たな飛躍に向けて 河村 哲夫
考古学から見た邪馬台国大和説へ
の疑問(1) 関川 尚功

全国邪馬台国連絡協議会 第1回

九州地区大会講演「筑紫の国
の女王たち」
斉明天皇と筑紫の女神たち 志村 裕子
北部九州の神功皇后伝承 河村 哲夫
卑弥呼と天照大御神 安本 美典

小特集 水城・大野城・基肆城築
造一三五〇年記念
水城・大野城をめぐる諸問題 酒井 芳司
特別史跡大野城跡の保護・整備
・活用一次の1400年にむかっ
て 松尾尚哉／石木秀啓／山村信榮
其肆城築造1350年
ー其肆城への取り組み 田中 正弘
金田城跡
ー二ノ城戸・南門を中心に 田中 淳也

世界遺跡巡り(8) 伽耶・新羅の旅
大韓民国 金海・釜山市周辺 井上 修一
ブッダへの道(12)一法顕が見た五
世紀初頭のアジア 河村 哲夫
書評 『景行天皇と日本武尊一列
島を制覇した大王一』 安本 美典
「魏志倭人伝」から見た邪馬台国
概説 塩田 泰弘

◆九州史学 九州史学会
〒812-8581福岡市東区箱崎6-19-1
九州大学文学部日本史学研究室内
TEL092-642-2375 1956年創刊
www2.lit.kyushu-u.ac.jp/~his_jap/kyushusigaku/
◇170 2015.7 B5 76p
平安京の斎王御所 長塩 智恵
平安・鎌倉期「唐船」考 渡邊 誠
書評 吉村豊雄著『日本近世の行
政と地域社会』 大賀 郁夫

◆福岡地方史研究
福岡地方史研究会(発売:花乱社)
〒811-2113福岡県糟谷郡須恵町須恵820-2
石瀧豊美方 TEL092-933-0426
年5000円 1964年創刊
karansha.com/tihoshikenkyu1.html
◇53 2015.9 A5 180p 1500円
絵葉書でたどる福岡の歴史(14)
浩々居同人の記念写真 石瀧 豊美
巻頭言 郷土史・地方史・地域史 石瀧 豊美
《特集 東アジアの中の福岡・博多》
朝倉橋広庭宮と筑紫観世音寺 小田 和利
朝鮮通信使来聘と福岡藩藍島 天
和二年饗応・倭約令下の波止構
築を中心に 今村 公亮
高取焼陶工・井上新九郎について 副島 邦弘

幕末期博多の対馬藩蔵屋敷につい
ての一考察 守友 隆
大谷光瑞の「興亜」と鎮西別院
西本願寺の興亜生活運動 鷺山 智英
玄洋の彼方へ 師岡司加幸
幕末久留米藩における田中久重の
武士身分 河本 信雄
海軍炭鉱からの石炭輸送鉄道
博多湾鉄道汽船 渡部 邦昭
黒田孝高の九州上陸線と筑前浅川
城 中西 義昌
唐津藩主の下宿割 有田 和樹
前原宿の復原Ⅵ
研究余滴 香椎宮と勅祭
古代の勅祭、現代の勅祭 安藤 政明
歴史随想 福岡の鶏肉・鶏卵の食
文化誌 江戸期・筑前国福岡藩
領を中心に 竹川 克幸
随感 古書の葦書房、閉店の記 宮 徹男
第8回金印シンポジウム in 志賀島
報告 古賀 偉郎
雑誌探索(8) 博多仁○加新聞 首藤 卓茂
短信往来 河本信雄／高橋和昭／
中間令三／師岡司加幸
会員の本の紹介／例会卓話記録／
第52号の訂正(副島邦弘)

◆末盧国 松浦史談会
〒847-0824佐賀県唐津市神田2118-1
TEL0955-73-3549 年2000円 1962年創刊
◇202 2015.6 B5 20p
木造蔵王権現坐像 志佐 惲彦
先進文化は唐津に！
ロンドンに！(1) 堀川 義英
幻の鳥居 丸田 利實
厳木町消防の今昔 嶺川 隆敏
西尾市岩瀬文庫の寺沢家臣史料 寺沢 光世
考古学における地方史研究の成果

五、時代の証(四)
斧形石器(局部磨製石器)(2) 田島 龍太
春の史談会旅行
山口・防府を訪ねて 松本 和典
川柳が見た春の史談会旅行 坂本兵八郎
ヒラバル(平原)こそむ(九十六)
はな(櫻)のあや 式島 若彦
名護屋にも在陣した戦国最後の英
雄、真田幸村 熊本 典宏
幻の『松浦湯』を探しています
◇203 2015.9 B5 20p
木造薬師如来坐像 志佐 惲彦
考古学における地方史研究の成果
五、時代の証(四) 斧形石器
(局部磨製石器)(3) 田島 龍太
古代から明日に繋ぐ 武寧王陵出
現一加唐島誕生から百済二五代
武寧王へ(2) 武寧王陵出現を
顕彰する 熊本 典宏
先進文化は唐津に！
ロンドンに！(2) 堀川 義英
道頓堀と大坂の陣 寺沢 光世
国史跡唐津松浦墳墓群指定の意義
仁田坂 聡
新刊紹介 『草茫々通信 八号』虹
ノ松原一揆を読み直す一義民伝
説から検証へ その深化を探る
幕閣の権力争いに敗れ唐津で再起
を図った大久保氏 山田 洋

◆石の証言 「八紘一宇」の塔を考える会
〒880-0951宮崎県宮崎市大塚町西ノ後3376
-1 土岐宗春方 TEL0985-52-5014
年2000円
◇66 2015.5 A4 8p
八紘一宇 「八紘一宇」の塔
宮崎市 県立平和台公園
参院予算委員会で「八紘一宇」発

言 税田啓一郎
日米開戦への道(1)「天津租界問
題」と「日米通商航海条約」廃
棄をめぐって 杉尾 宏
「八紘一宇」の塔を考える会の会
員になって 佐藤 文則
三原じゅん子議員の「八紘一宇」
賛美発言に思う 野崎 眞公
◇67 2015.7 A4 8p
清武村石工組合 凝灰岩 2個
「八紘一宇」の塔を考える会
2015年度定期総会に向けて／
「八紘一宇」の塔を考える会
定期総会 (文責・税田)
日米開戦への道 「天津租界問題」
と「日米通商航海条約」廃棄問
題をめぐって(2) 杉尾 宏

◆宮崎県地域史研究 宮崎県地域史研究会
〒880-8520宮崎市船塚1-1-2 宮崎公立大学
大賀研究室気付 TEL0985-20-2000
年3000円 1993年創刊
◇31 2015.6 B5 29p
日向国風土記逸文国号考一景行天
皇紀十七年三月条との比較をと
おして 大舘 真晴
一四世紀前半の南九州における海
域交流の変容一相論と海賊を中
心に 関 周一
2014年度宮崎大学・宮崎公立大学
卒業論文要旨
サンティアゴ巡礼路における
「フランスの道」の成立要因 羽生 秀道
ドイツ騎士修道会における騎士
修道会国家への発展要因 上野 真美
ヴァーサ朝末期のスウェーデン
軍制 鶴田 結子
幕末期における勤王僧胤康の研

究	重山 香澄
近世大名の交際について	仲谷 莉奈
明治三年徳島藩の稲田騒動について	坂東 春奈
2014年度宮崎県地域史研究会研究 発表題目	
◆宮古郷土史研究会会報	
〒906-0013沖縄県平良市下里1223-8	
下地和宏気付 〒10980-72-9963	
1977年創刊	
◇209 2015.7 B5 8p	
7月定例会レジュメ 近年における宮古諸島の戦争遺跡を取り巻く状況について	山本 正昭
8月定例会レジュメ	
戦跡を訪ねる Part2	事務局
海軍三一三設営隊地下壕群の見学をおえて	事務局
県外へ九千名戦時疎開	
―6月例会のあらまし	仲宗根將二
慰霊の日関連特別展示・宮沢貞子氏の戦争体験講話	與那覇史香
沖縄考古学会宮古島大会開催される	久貝 弥嗣
宮古高校で平和学習	下地 和宏
沖縄県教職員組合宮古支部	
宮古島の戦跡巡り	久貝 弥嗣
重要文化財豊見親墓あとんま墓及び知利真良豊見親の墓建造物保存修理事業について	新城 宗史
農民弾圧事件50年	
「騒乱罪」無罪判決40年	仲宗根將二
◇210 2015.9 B5 8p	
9月定例会レジュメ 戦跡を訪ねる Part3―来間島の避難壕跡と山砲台跡	事務局
10月定例会レジュメ 宮古郷土史	

研究会設立四〇周年 フォーラム「戦後七〇年と宮古～次世代の宮古を考える～」	
第10回宮古島市民総合文化祭	
市内戦争遺跡の巡検	
戦争遺跡の保存・整備、活用の現状を考える	山本 正昭
8月定例会のまとめ	
戦跡を訪ねる Part2 をおえて	
第29回企画展「ピルマス展」の紹介	與那覇史香
第12回博物館講座「沖縄の盆行事」	與那覇史香
新里西元島遺跡の発掘調査について	久貝 春陽
城辺ふれあいまつり文化財巡り	
参考フォーラム関連 戦後七〇年宮古の出来事(抄)	
市民文化祭・市内戦争遺跡の巡検	
一巡検予定地の戦争遺跡写真	

寄贈図書紹介

◆青森県立図書館所蔵「滝屋文書」書状関係資料集 続2 みちのく双書58
 盛田稔監修 青森県文化財保護協会（〒030-0111 青森県青森市荒川字藤戸119-7 青森県立図書館内 〒1017-739-4211）2015年3月 A4 243頁 非売品(200部限定)
 江戸時代後期、青森の廻船問屋として活躍した「滝屋」こと伊藤善五郎家の資料『滝屋文書』の書状関係資料集の続編第2集。昨年度にひきつづき、文政2年から文政4年まで、青森県立図書館文書整理番号184から187までの書状66点を、影印版・解説文にて収録する。特に、大半を占める鉄取引に関する書状には、弘前藩御用達として他藩との商取引に大きく関与していた青森滝屋の実態が詳しく記され

ている。解題：鈴木幹人
 ◆黒沢尻ヌルシャの分蜂
 吉川和子・吉川國男編著 関東図書（〒336-0021 さいたま市南区别所3-1-10 〒1048-862-2901）2014年1月 A5 191頁 1800円
 岩手県黒沢尻町(現・北上市)でヌルシャと呼ばれた漆塗りを生業とした高橋定次郎と、ヌルシャ家業を継げずにミツバチが分蜂するが如く日本各地に四散していった家族・子孫35名による文集。とりわけ新聞記者として活躍した定次郎の長男・忠司・ナホ夫妻の生涯を核に、明治・大正・平成と激動の時代を駆け抜けた人々の一代記。
 ◆あなたの内なる道鏡へ
 本田義幾著（〒989-6156 宮城県古川市古川西館3-4-35 〒10229-22-7364）2015年4月 A5 56頁
 1985年4月に発足した道鏡を守る会30周年記念出版。1993年、東京での道鏡資料展にあわせて出版された『あなたの内なる道鏡へ―復権を願いつつ』に新たな成果などを盛り込んだ道鏡研究。道鏡は隠されている（「ト」とは誰か、消された「法皇」と切り取られた裏表紙、道鏡伝承が消されている「ゆかり」の地）／道鏡はでているけれど…（男根と共存の道鏡、戦前小学校歴史教科書に現れた道鏡像）／道鏡を慕う伝承が残っている（伝承の地、ゆかりの寺社）／伝承と事実（百万塔に関して、伝承を確かめる）
 ◆平元貞治 献芹録 東北文化資料叢書8
 近世武家史料 出羽国秋田藩
 天野真志編集 東北大学大学院文学研究科東北文化研究室（〒980-8576 仙台市青葉区川内27-1 <http://ir.library.tohoku.ac.jp/re/>）2015年3月 A4 174頁
 幕末期の秋田藩において評定奉行など藩政の中心にあった平元貞治(文化7年(1810)～明治9年(1876))の著した「献芹録」「献芹別録」

(秋田県公文書館所蔵、合計7冊)について、その全文を解説・翻刻する。儒学者としての藩校教育についての意見や、幕末期における秋田藩の政策方針をめぐる提言など、藩や上層部への意見書、いくつかの事件に関わる回想が記録された、19世紀秋田藩の政治・社会状況を知る基調な記録である。平元貞治『献芹録』解題(天野真志)／献芹録 仁／献芹録 義／献芹録 礼／献芹録 智／献芹録 信／献芹別録 乾／献芹別録 坤
 ◆環境動態を視点とした地域社会と集落形成に関する総合的研究 平成26年度研究成果報告書 文部科学省私立大学戦略的研究基盤形成支援事業
 東北芸術工科大学東北文化研究センター編・刊（〒990-9530 山形市上桜田3-4-5 〒1023-627-2168）2015年3月 A4 75頁
 研究の目的と概要(田口洋美)／平成26年度研究成果報告 各班の研究進捗状況（環境史研究および地域比較研究） 民俗・人類班(蛭原一平)・歴史班(佐藤健治・竹原万雄・中村只吾)・考古班(長井謙治・北野博司)、地域資源活用研究の進捗状況(中村只吾・蛭原一平)／個別研究成果報告 研究ノート 集落の維持に何が必要か?―中国雲南省金平県聯防村の苦聰人の事例を通して(謝黎)、中世島守の水田現地比定(佐藤健治)、八戸市内における陥し穴状遺構の事例集成(横山寛剛)／総括／附編1 本事業に関する研究実績一覧(平成26年度)、附編2 本事業に関する新聞等記事掲載一覧(平成26年度)
 ◆自在院史料集5 福島県指定重要文化財「写本大般若経」保存修理事業報告書
 阿住義彦編 真言宗豊山派自在院（〒965-0031 福島県会津若松市相生町2-18）2015年7月 A4 88頁
 平安時代末期から鎌倉時代初期にかけての書写経である「自在院大般若経六百卷」(昭和筆

の73巻を除く527巻)について、平成17年8月から平成22年3月まで行われた保存修理の報告書。大般若経調査について／修理見積り調査／修理作業／修理報告／発見資料／「微害」について

◆福島県歴史資料館収蔵資料目録46

県内諸家寄託文書40
福島県文化センター歴史資料課編 福島県文化振興財団(〒960-8116 福島市春日町5-54 TEL024-534-9193) 2015年3月 B5 50頁
昭和45年の開館以来、約24万点の歴史資料を収集・保存してきた福島県歴史資料館。昭和46年度から刊行を開始した資料目録の46冊目として、6件の寄託文書の目録を収録する。旧湯野村文書 その1(453点、福島市)／大槻豈氏寄贈文書(1点、福島市)／菅野宏家寄贈文書 その2(1点、福島市)／郡司大助家文書 その2(2点、田村郡小野町)／我妻家文書 その2(1点、白河市)／松本喜輝家文書 その2(2点、東白川郡塙町)

◆茨城県立歴史館史料叢書18

一橋徳川家文書 覚了院様御実録Ⅲ
茨城県立歴史館史料学芸部編 茨城県立歴史館(〒310-0034 茨城県水戸市緑町2-1-15 TEL029-225-4425) 2015年3月 A5 298頁
茨城県立歴史館所蔵の5400点を超える一橋徳川家文書のうち、一橋徳川家初世宗尹の誕生(享保6年(1721))から没後七回忌にあわせて贈位のあった明和7年(1771)12月までの編年体による記録「覚了院様御実録」を翻刻。史料叢書14(2011年3月)、史料叢書17(2014年3月)に引き続き、宝暦13年(1763)、明和元年・2年・7年の「御実録」巻十三から巻十五他を収録する。解題(笹目礼子)／覚了院様御実録 巻十三～巻十五／徳川刑部卿従三位贈権中納言宗尹卿御伝記／人名索引

◆「就将館だより」集

高萩市教育委員会生涯学習課編・刊(〒318-

0033 茨城県高萩市本町1-208 TEL0293-23-1132) 2015年3月 A5 90頁 非売品
市報「たかはぎ」において平成23年1月から平成26年12月まで、1から46までのシリーズで掲載した松岡地区を中心とした歴史紹介を再編集してまとめたもの。

◆多賀・八溝山地 小型タービン水車の研究

一小水力自家発電と茨城県電気事情の調査
鈴木良一著 杓水舎刊 発売：三樹書房(〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-30 TEL03-3295-5398) 2015年3月 A4 320頁 4000円
北関東多賀・八溝山地で自家用電気を生み出し、地域産業の動力源として活躍した小型タービン水車について、茨城・栃木・福島の118箇所の調査をもとに、不足気味な茨城電気事情を実証した地域調査実践レポート。序文(中川浩一)／生きている小型タービン水車と出会う／小型タービン水車導入への歴史的足どり／小型タービン水車の遺構を調べる／巻末資料集

◆もっと知りたい埼玉のひと 尾高惇忠

富岡製糸場の初代場長
荻野勝正著 さきたま出版会(〒336-0022 さいたま市南区白幡3-6-10 TEL048-711-8041) 2015年6月 A5 94頁 1200円
「至誠如神」を掲げ、国家事業としての富岡製糸場のために誠意を尽くした尾高惇忠(天保元年(1830)～明治34年(1901))の人物像をまとめる。幼少年期／養蚕と藍玉／孝行息子／信州道中記／尊皇攘夷運動／高崎城乗っ取り計画／尾高家騒乱／大政奉還／彰義隊の結成／飯能戦争／国敗れて山河あり／備前堀事件／製糸場創設へ向けて／富岡製糸場の建設／父と娘／工女教育／秋蚕の発見／東北へ／晩成を尊ぶ／尾高家、その後／尾高惇忠 ゆかりの地散策／尾高惇忠 略年表／尾高惇忠 著作一覧

◆千葉市石造文化財調査報告書

沖本博編(〒243-0044 千葉市中央区松波2-4-1 TEL043-284-4872) 2015年5月 A4 270頁
房総石造文化財研究会の会長を務める著者が、平成11年3月から17年3月まで行った千葉市内の石造物についての悉皆調査報告書。美浜区を除く千葉市内の神社・寺院、墓地、路傍にあるさまざまな石造物549地点3423点について、形状や造立紀年銘、主銘文などをまとめて収録する。中央区(109ポイント870点)／稲毛区(52ポイント433点)／花見川区(126ポイント841点)／若葉区(157ポイント956点)／緑区(105ポイント323点)

◆足利義政発給文書(1)

戦国史研究会史料集1
木下聡編 戦国史研究会(〒182-0011 東京都調布市深大寺北町6-44-12 丸島方) 2015年2月 A5 135頁 1500円
機関誌『戦国史研究』をはじめとする多様な研究・出版活動をつづける戦国史研究会による史料叢書第1冊。室町幕府8代将軍 足利義政本人の発給・署判文書を、応仁の乱が起きる応仁元年(1467)5月15日まで、470通収録する。なお、それより後の年代の文書や息子の9代将軍義熙(義尚)、弟義視の発給文書などを次巻に収録予定である。

◆北区諸家文書目録3

文化財研究紀要別冊24
東京都北区教育委員会北区飛鳥山博物館事業係編(〒114-0002 東京都北区王子1-1-3 TEL03-3916-1133) 東京都北区教育委員会(〒114-8508 東京都北区王子本町1-15-22 TEL03-3908-1111) 2015年3月 B5 160頁
東京都北区の文化財研究紀要別冊第24集として、『北区諸家文書目録』(2002年)、『北区諸家文書目録2』(2014年)につづき4件の諸家文書を収録する。岩淵本宿 佐野家文書 解説・目録(金澤真嗣)／岩淵本宿町文書 解

説・目録(田中葉子)／赤羽地区 石井(蔵)家文書 解説・目録(保垣孝幸)／十条地区 醍醐家文書 解説・目録(黒川徳男)

◆修験道小事典

宮家準著 法蔵館(〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入 TEL075-343-0030) 2015年1月 B6 229+9頁 1800円
修験道の教義・歴史・儀式がやさしくわかる重要基本項目500を網羅した修験道入門書。修験道とは(修験道の歴史、修験道の儀礼、修験道の思想、修験道の組織)／修験道小事典／便覧編(修験道の基本(宗旨、始祖と中興、崇拜対象、依経、勤行、衣体、峰入、加持・祈祷の基本―護身法と九字、採灯護摩、立螺の作法、祭り・芸能、美術・工芸、遺跡・遺物、文学)、修験霊山と社寺の地図、修験道史年表、修験道関係主要教団・由緒社・機関一覧、参考文献)

◆数字が語る八王子市の現代

新八王子市史近現代統計資料集
八王子市史編集専門部会近現代部会編 八王子市市史編さん室(〒193-0943 東京都八王子市寺田町1455-3 TEL042-666-1511) 2015年3月 A4 147頁
八王子市で刊行している『統計八王子』(1965年～2010年)と歳入歳出決算数値(1955年～2010年)をもとに、「土地、面積、気象」「人口」や、「事業所」「農林水産業」「工業」「衛生・環境」「議会・選挙・行政」「治安・消防」など、現代の八王子における地域社会のあり方を示すさまざまな統計データを収録する。刊行にあたって(新井勝敏)／統計図版／統計表／付録(CD-ROMについて、「時系列表」収録一覧／付録 データCD

◆高尾山いろは俳句カルタ

大山隆玄書 橋本豊治画 菅家秀文句・文
大本山高尾山薬王院(〒193-8686 東京都八王子市高尾山2177 TEL042-661-1115) 平成27

年春彼岸 A4横 53頁

年間を通して数多くの参詣者、登山者の訪れる高尾山の堂塔、歴史、名所などを紹介した『高尾山いろは俳句カルタ』を、既刊の『弘法大師いろは歌留多』『釈尊いろは歌留多』と同じく冊子版として復刻。高尾山の歴史・自然・行事等々を題材として、高尾山の様々な様子をわかりやすく説明する48句。はじめに(大山隆玄)／あとがき(菅家秀文)

◆地域アイデンティティと民俗芸能—移住・移転と無形文化遺産 第9回無形民俗文化財研究協議会報告書

東京文化財研究所無形文化遺産部編・刊 (〒110-8713 東京都台東区上野公園13-43 無形民俗文化財研究室 Tel03-3823-4925) 2015年3月 A4 99頁

2014年12月5日に開催された第9回無形民俗文化財研究協議会の記録。序にかえて(亀井伸雄)／趣旨説明 地域アイデンティティと民俗芸能—移住・移転と無形文化遺産(久保田裕道)／第一部 報告 北海道への移住と民俗芸能(舟山直治)、沖縄の郷友会と民俗芸能(入澤紀)、福島県相双地方が培った真宗移民文化—映画『土徳流離—相双地方復興への悲願』からの報告(青原さとし)、過疎集落の民俗芸能を継承する—山梨県甲州市塩山「一之瀬高橋の春駒」の事例から(丸尾依子)／第二部 総合討議 質疑応答、コメント(星野紘・高倉浩樹)、ディスカッション／参考資料 アンケート集計結果、協議会参加者—

◆日本の地名 由来のウソと真相

楠原佑介著 河出書房新社 (〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷2-32-2 Tel03-3404-1201) 2015年5月 B6 199頁 1400円

地名の「通説」は憶説にすぎない、土地と庶民の歴史に目を向けよ—はじめに／北海道・東北の地名のウソと真相 「歯舞諸島」は、戦後GHQに改称された名前だった！／関東

の地名のウソと真相 「木更津」と、日本武尊神話の「君去らず」がルーツではない／中部地方の地名のウソと真相 「軽井沢」とは「水枯れが起こる地」と伝える名称だった！／近畿地方の地名のウソと真相 「天橋立」という珍地名の謎を解く「沈島伝説」とは／中国・四国地方の地名のウソと真相 本来「松島」と呼ばれた島はなぜ「竹島」と改称されたか／九州・沖縄の地名のウソと真相 「知覧」とは台地の端に形成された凹凸地名が由来だった！

◆新八王子市史 資料編4 近世2

八王子市史編集委員会編 八王子市 (〒193-0943 東京都八王子市寺田町1455-3 八王子市総合政策部市史編さん室 Tel042-666-1511) 2015年3月 A5 1107頁

昭和33年から43年にかけて編纂・刊行された『八王子市史』(上下・附巻)の後をうけて、市制施行100周年を記念して平成19年度から始まった『新八王子市史』(全14冊)の第4回。「資料編3 近世1」(2013年3月)につづき、天正18年(1590)から明治新政府の支配が及ぶまでの現在の八王子市域に関わる史料710点を収録する。第五章 八王子千人同心／第六章 さまざまな生業／第七章 養蚕・生糸・織物／第八章 寺社と文化／第九章 幕末維新と八王子／口絵・写真真出典一覧

◆八王子市西南部地域 浅川の民俗

新八王子市史民俗調査報告書3

八王子市史編集専門部会民俗部会編 八王子市市史編さん室 (同上) 2015年2月 A4 385+10頁

『新八王子市史』民俗編編さんの基礎資料収集のための民俗調査報告書第3集。平成24年度から同26年度の実施した浅川地区の民俗をまとめる。合併以前の市町村、浅川町全図、現在の浅川／浅川地区の変貌と民俗—監修にあたって／浅川地区の概要／社会生活／生

産・生業／住まいと環境／衣食をめぐる暮らし／年中行事／人生儀礼／寺社と民間信仰／民俗芸能／口承文芸

◆八王子市北部地域 加住の民俗

新八王子市史民俗調査報告書4

八王子市史編集専門部会民俗部会編 八王子市市史編さん室 (同上) 2015年3月 A4 435+11頁

『新八王子市史』民俗編編さんの基礎資料収集のための民俗調査報告書第4集。平成26年度・同27年度に実施した浅川地区の民俗をまとめる。合併以前の市町村、南多摩郡加住村図、現在の加住／加住地区の変貌と民俗—監修にあたって／加住地区の概要／社会生活／生産・生業／住まいと環境／衣食をめぐる暮らし／年中行事／人生儀礼／寺社と民間信仰／民俗芸能／口承文芸／多摩川中流域のムラ

◆風刺漫画に見る明治 民権ボックス28

町田市立自由民権資料館編 町田市教育委員会 (〒195-0063 東京都町田市野津田町897 Tel042-734-4508) 2015年3月 B5 81頁

2014年度第1回企画展《風刺漫画に見る明治》の記録 7月19日(土)～9月7日(日)／記念講演Ⅰ 『団団珍聞』『驢尾団子』—その意義と絵解き(湯本豪一)／記念講演Ⅱ 『団団珍聞』『驢尾団子』にみる民権と国権—条約改正とナショナリズム(長沼秀明)／史料紹介 鷲亭金升の『団団珍聞』に関する覚書(松崎稔)

◆名勝地保護関係資料集 科学研究費補助金基盤研究(B) 課題番号: 25292214「東アジアを中心とした名勝地の保護に関する研究」

平澤毅編著 (〒100-8959 東京都千代田区霞が関3-2-2 文化庁文化財部記念物課名勝部門) 2015年3月 A4 383頁

2010年3月刊行の『文化的資産としての名勝地』所収資料等に校訂・追補等を加え、特に台湾(中華民国)に関する知見を追加するなど、

名勝地保護を検討するための資史料を中心に編纂した資料集。文化財保護法等に基づく名勝保護の概況／名勝指定等の一覧／文化財保護法等により指定又は登録された名勝地の説明文等／名勝の保存管理計画等の策定状況／文化財庭園関係団体資料／史料／名勝地保護に関連する諸制度等による資産一覧／東アジアにおける名勝地保護に関する検討、中国における景勝地の施策、韓国・北朝鮮における景勝地の施策、台湾における景勝地の施策

◆大庭御厨に生きる人々

藤沢市史ブックレット6

(続)藤沢市史編さん委員会編 藤沢市文書館 (〒251-0054 神奈川県藤沢市朝日町12-6

Tel0466-24-0171) 2015年3月 A5 92頁

(続)藤沢市史編纂にあたって市史の内容をわかりやすく紹介するブックレットの第6冊。全国各地に存在した伊勢神宮の所領「御厨」のひとつ、大庭御厨を取り上げ、御厨の実像と鎌倉(平)権五郎景正をはじめとする平墳時代後期の人々の姿を、『天養記』などの史料を通じて紹介する。伊勢神宮と御厨のいま／関東各地の御厨と武士団／伊勢神宮の組織とその役割／「天養」の時代と地方国衙／『天養記』の世界／大庭御厨侵入事件／御厨司「伊勢恒吉」とその活躍／大庭御厨の住人たちとその生活／大庭御厨の中心地「鶴沼」をみる／大庭御厨のその後／参考文献

◆寒川町史調査報告書20 寒川神社日記(3)

寒川町史編集委員会編 寒川町 (〒253-0106 神奈川県高座郡寒川町宮山135-1 寒川町文書館 Tel0467-75-3691) 2015年3月 B5

161頁

『寒川町史』資料編などで紹介しきれなかった特色ある貴重な資料を翻刻する調査報告書第20集。第10集(2000年3月)、第11集(2001年3月)に続き、明治6年(1873)から昭和30年(1955)まで寒川神社の神官が日々の出来事な

どを書きつづった社務日記を翻刻。本書には、明治15年から同18年までの四年分を収録する。はじめに(木村俊雄)／解説(室室文雄)／明治十五年 寒川神社日記／明治十六年 寒川神社日記／明治十七年 寒川神社日記／明治十八年 寒川神社日記

◆新横須賀市史 別編 年表

横須賀市編・刊 (〒238-8550 神奈川県横須賀市小川町11 横須賀市総務部総務課 市史編さん担当 TEL046-822-8150) 2015年3月 B5 495頁 3000円

2004年から刊行が開始された新横須賀市史(全15巻)の最終巻。これまでに通史編全3巻・資料編全7巻・別巻全5巻の本編のほか、資料編補遺1巻、写真集1冊、研究誌『市史研究横須賀』14冊、資料所在目録7冊を刊行し、今回の年表刊行をもって市史編さん事業の終了を迎えることとなる。序(大口雄次郎)／原始／古代・中世／近世／近現代(明治・大正・昭和・平成)／出典対照・略号一覧／あとがき(総務部総務課市史編さん係)

◆「高下日記」第六集一昭和18年～昭和21年 大和市史資料叢書14

大和市役所文化スポーツ部文化振興課市史・文化財担当 大和市(〒242-8601 神奈川県大和市下鶴間1-1-1 電話046-260-5336) 2015年3月 B5 211頁

大和市下鶴間在住の高下春美氏の祖父恭介氏が、大正8年(1919)1月1日から昭和35(1960)1月9日まで、約42年間にわたり書き留めた日記「神前録」。本書には、昭和18年(1943)から昭和21年(1946)までを収録する。解題(樋口雄一)／昭和十八年 神前録／昭和十九年 神前録／昭和二十年 神前録／昭和二十一年 神前録／参考文献

◆六日町史 通史編二 近世

南魚沼市教育委員会刊 (〒949-7302 新潟県南魚沼市浦佐1188-2 TEL025-777-3118) 南魚

沼市教育委員会社会教育課郷土史編さん係 (〒949-6680 新潟県南魚沼市六日町456-1 TEL025-773-2197) 2015年2月 A5 478頁
平成13年度に発足した『六日町史』全6巻編さん事業をうけてまとめられた近世通史編。上杉景勝が会津転封になった慶長3年(1598)から慶応3年(1867)までの六日町の近世史を掘り下げる。発刊のことば(井口一郎)／はじめに(今成卓而)／村のすがたと村人のくらし／近世の村と領主支配／村人のなりわい／六日町の交通／さまざまな職業と商い／村の教育・文化・宗教／幕末の六日町／主な参考・引用文献／六日町史(近世)略年表

◆三津の民俗一静岡県沼津市三津

神奈川大学歴史民俗調査報告15
小熊誠編 神奈川大学大学院歴史民俗資料学研究科(〒221-8686 横浜市神奈川区六角橋3-27-1 TEL045-481-5661) 2015年3月 A4 73頁

神奈川大学日本常民文化研究所を創設した渋沢敬三が『豆州内浦漁民史料』を発見した沼津市内浦三津における2012年度民俗文化実習の報告書。まえがき(小熊誠)／第1部 社会関係 社会組織(王新艶)、静岡県沼津市内浦地区における防災の昔と今(黄少博)、三津における結婚の民俗(馬路)／第2部 信仰関係 内浦の信仰一気多神社の例大祭(姚琮)、沼津のお祭り一駒形神社の例大祭(侯莉娜)、船霊信仰(高橋翔菜子)／第3部 衣食関係 衣類(呉胡格吉楽園・黄溶冰)、三津の食物について(英荷何斯日吉冷)

◆愛知県史 資料編22 近世8 領主2

愛知県史編さん委員会編 愛知県(〒460-8501 愛知県名古屋市中区三の丸3-1-2 自治センター8階 総務部法務文書課県史編さん室 TEL052-972-9171) 2015年3月 A5 990頁 5000円＋送料

平成6年度に着手した新『愛知県史』編さん

事業の第17回配本。三河地域における支配関係の史料を中心に収録する。総合解説／非領国地域としての三河／個別支配の構造と特質／領主財政と支配／幕府・朝廷と三河諸領主／身分・格式と由緒／武士の生活・文化／寺社と領主／幕末維新と三河諸領主／解説／藩主一覧／資料群別掲載史料一覧／付録CD-ROM(村一覧、藩・旗本一覧、領主家一覧、人名一覧、分限帳一覧、支配役人一覧)〔愛知県史のしおり〕 A5・8頁

近世初期三河国の城主(松尾美恵子)／「非領国」と広域支配(村田路人)

◆愛知県史 別編 窯業1 古代 猿投窯

愛知県史編さん委員会編 愛知県(同上) 2015年3月 A4 782頁 5000円＋送料
猿投窯とその周辺の高窯跡から出土した須恵器・灰釉陶器・緑釉陶器の各種製品や窯体構造などについて詳しく解説する。総論(愛知県の古代窯研究史、古墳時代の須恵器生産、奈良時代の須恵器生産、平安時代の瓷器生産)／主要窯跡解説(猿投窯 121、尾北窯 27、知多地区 3、三河地区(幸田窯・二川窯 18)／消費遺跡解説(東日本地区、西日本地区、藤原京・平城京、長岡京・平安京)／特論(重要資料解説、特殊製品、窯体構造の変遷、尾張の瓷器、編年論)／編年表／鎌跡一覧表／用語解説／測量成果複製承認の特記事項／付図(遺跡位置図)〔愛知県史のしおり〕 A5・8頁

猿投の古代窯業雑感(菱田哲郎)／「律令制」と土器(古尾谷知浩)

◆愛知県史 別編 文化財4 典籍

愛知県史編さん委員会編 愛知県(同上) 2015年3月 A4 790頁 5000円＋送料
寺社に残された経典や典籍などのほか、河村文庫や岩瀬文庫、蓬左文庫・徳川美術館などの典籍・書籍類を収録する。総論／七寺一切経と愛知の古写経／真福寺大須文庫と寺院の

典籍／熱田神宮と猿投神社／尾張徳川家ゆかりの文庫と典籍／近世知識人の蒐書と文庫／岩瀬文庫と近現代の蒐書／所蔵者索引／愛知県内の指定文化財(典籍)一覧／用語解説／書名索引

〔愛知県史のしおり〕 A5・8頁

愛知県内の諸文庫と私の思い出(島津忠夫)／所在不明の真福寺所蔵「旧記目録」三卷(田島公)

◆経塚考古学論攷

津田守一著(〒258-0017 神奈川県足柄上郡大井町452) 2015年3月 B5 224頁 誌代無料(送料360円)

長年にわたり仏教考古学研究を続けてきた著者の、伊勢小町塚を中心としたこれまでの経塚研究をまとめる。巻頭言(石井昭郎)／発刊に寄せて(今野沙貴子)／巻頭言(竹内秀興)／津田守一著作 経塚考古学論攷目録／菩提山出土の瓦経について、三重県廣永陶苑所蔵の陶製背片、三重県津市廣永陶苑所蔵の小町塚出土の陶製光背・瓦経について、他16編

◆京都府竹野郡 木津村役場文書目録

京丹後市教育委員会編(〒629-2501 京都府京丹後市大宮町口大野226 京丹後市教育委員会文化財保護課 TEL0772-69-0640) 2015年3月 A4 51頁

戦後、木津村役場から木津区(現木津連合区)に引き継がれ、その後網野町に寄贈され平成16年(2004)の合併により京丹後市が引き継ぐことになった京丹後市教育委員会蔵旧木津村役場文書の簿冊目録。元役場職員井上正一氏を中心に昭和35年(1960)に作成された目録をもとにした「木津村役場文書目録」1～846と、その目録に含まれなかった「B目録」1～85を収録する。解題篇(木津村の概要、会議、選挙、兵事、学事、社寺、会計、統計、庶務、組合)／目録編

◆丹後・東海地方のことばと文化一兄弟のよ

うなことを持つ両地方 平成26年度丹後・東海地方の文化方言等調査事業報告書 京都後市教育委員会編・刊(同上)2015年5月 A4 132頁

丹後ことばと尾張・名古屋ことばとの類似性を通して、丹後地方・東海地方のさまざまな交流の歴史の実態明らかにする。丹後・東海地方の方言 概説 丹後方言の特徴(糸井通浩)、愛知県方言(鏡味明克)、〈丹後弁〉と(尾張弁(名古屋弁))の類似性(糸井通浩)、参考資料 尾張弁(名古屋弁)と丹後弁の共通言い回し、丹後方言と名古屋市方言の共通語彙(鏡味明克)、丹後弁と名古屋弁の方言会話(井上正一・鏡味明克)／丹後・東海地方の文化と交流 丹後・東海地方をめぐる土器の交流―弥生時代から古墳時代へ(高野陽子)、青銅器文化から観えてくる北近畿・東海地方の交流(赤塚次郎)、丹後と尾張の赤米(古代米)について(安本義正)、伊勢神宮外宮と豊受大神、丹後国風土記の伝承(荊木美行)、『海部氏系図』の基礎的研究(鈴木正信)

◆**収蔵資料調査報告書17** 京都社寺境内図 宇治市歴史資料館編・刊(〒611-0023 京都府宇治市折居台1-1 TEL0774-39-9260)2015年3月 B5 71頁 昭和59年(1984)の開館以来収集してきた近世～近代の地誌類・古地図・古写真などの数多くの京都関係資料から、宇治をはじめとする京都の名所や社寺を描いた一枚刷りの資料群422点を紹介する。京都社寺境内図コレクション／京都社寺境内図等目録／資料紹介 社寺境内図画像集

◆**和東地域の歴史と文化遺産**

京都府立大学文化遺産叢書9 上田純一・向井佑介編 京都府立大学文学部歴史学科(〒606-8522 京都市左京区下鴨半木町1-5)2015年3月 A4 208頁 京都府立大学文学部歴史学科による地域の歴

史や文化遺産についての調査報告集。2013年度・2014年度に実施された京都府相楽郡和東町における京都府立大学地域貢献型特別研究(ACTR)の研究成果をまとめる。

刊行にあたって／第Ⅰ部 寺社と石造物の調査 鷲峰山金胎寺の測量調査(京都府立大学考古学研究室)、和東の宝篋印塔と弥勒摩崖仏の調査(向井佑介)、和東地域の神社石造物調査(京都府立大学考古学研究室)／第Ⅱ部 和東地域の歴史と景観 和東川流域の古墳(菱田哲郎)、恭仁京東北道の歴史的意義(榎木謙周)、山城国相楽郡湯船村の近世・近代山論絵図群(東昇)／和東茶業史一人々の奮闘とそれを支えた地域の力(藤井孝夫)、景観に刻まれる生活・生業―聞き取り調査より(上杉和央)、和東町湯船区の生業(宮下遥・平野友梨)／第Ⅲ部 集落と家屋攻勢の調査 宇治茶生産集落における集落と家屋構成に関する調査報告―京都府和東町湯船地区(大場修)／第Ⅳ部 古文書の調査と研究 鎌倉時代の倭東柚一石造物とその造立背景(横内裕人)、史料編 和東関係史料(三好英樹・山口魁人・横内裕人)、中世・近世の鷲峰山(三好英樹)、百丈山大智寺考―付載『大智寺所蔵文書目録』(上田純一)、湯船区文書「免定・年貢皆済目録」解説(野邊地亜来)、旧湯船村役場「事務報告」(大正期)(小林啓治)

◆**緒方洪庵の「除痘館記録」を読み解く**

加藤四郎・古西義麿・米田該典・浅井允晶監修 緒方洪庵記念財団除痘館記念資料室編 思文閣出版(〒605-0089 京都市東山区元町355 TEL075-751-1781)2015年6月 A5 205頁 2300円

刊行にあたって(緒方高志)／「除痘館記録」を承継いで(緒方惟之)／「除痘館記録」を読む／天然痘対策と除痘館活動 天然痘対策と緒方洪庵(天然痘との闘い―一種痘法の開発と根絶宣言への道(米田該典)、緒方洪庵と

「除痘館記録」(浅井允典)、コラム①「大阪と江戸・東京―緒方洪庵の二つの墓所―」(緒方高志)、大阪の除痘館の成立と展開(モーニケ苗の伝来と展開(米田該典)、大阪の除痘館の成立(浅井允晶)、コラム②「古手町除痘館記念碑の建立」(川上潤)、大阪の除痘館の活動と官許(古西義麿)、コラム③「除痘館での牛痘種痘接種風景」(川上潤)、尼崎町除痘館の創成と展開(古西魏麿)、コラム④「尼崎町除痘館記念銘板について」(川上潤))、牛痘種痘法の意義と役割(エドワード・ジェンナーによる牛痘種痘法の開発(加藤四郎)、天然痘対策の今日的意義(加藤四郎))／天然痘(疱瘡)と大阪の除痘館 関係年表

◆**仏教の本流を往く**

川口勇著 東方出版(〒543-0062 大阪市天王寺区逢阪2-3-2 TEL06-6779-9571)2015年5月 B6 259頁 1800円

仏教とはなにか、僧侶はどうあるべきか、月刊誌『サットバーみんなぼさつ』の主幹を務める著者が五十年にわたり真摯に問い続けてきた迷いと結論を綴る。はじめに一現代仏教寺院事情／仏教の本流―日本仏教の歴史的展望／私のジクザグ人生／『法華経』の一句にまなぶ／おわりに

◆**『日出新聞』奈良県関係記事Ⅰ**

奈良県同和問題関係史料16 奈良県立同和問題関係史料センター編・刊(〒630-8133 奈良市大安寺1-23-1 TEL0742-64-1488)2015年3月 A5 186頁 現在の『京都新聞』の前身である『京都新報』(明治14年(1881)5月22日創刊)、『京都滋賀新報』(明治15年7月13日改題)、『中外電報』(明治17年10月10日改題、同25年9月30日廃刊)、『日出新聞』(明治18年4月10日創刊、同30年7月1日『京都日出新聞』改題)の各紙から、明治14年5月から同21年3月までの奈良県に関する記事を翻刻・収録する。『京都新報』明治

14年、明治15年／『京都滋賀新報』明治15年、明治16年、明治17年／『中外電報』明治17年、明治18年／『日出新聞』明治18年、明治19年、明治20年／解説

◆**熊野の近世史雑纂**

廣本満著(〒599-0301 大阪府泉南郡岬町淡輪別所の台1694-64 TEL072-474-3539)2015年6月 A5 374頁 2360円

熊野地方の自治体史編纂に長く関わってきた著者の熊野近世史を題材にした論考・講座などをまとめる卒寿記念論集。浅野時代の地方支配(浅野左衛門佐の地方支配、浅野左衛門佐 和歌山山常駐説に対する桑原康宏氏のご質問にお答えします)／講演の記録(玉置縫殿と熊野三山の復興、新宮藩と三山社家に三山と京都警衛の勅令、幕末に熊野地方で流行した疱瘡、幕末動乱期の熊野の村と人、新宮領の山家足輕、熊野地方の年貢と作徳)／史料紹介と解説(上富田町史編纂室所蔵の『無題(朝来組在々の記録)』と解説、朝来村検地帳の断簡、新発見史料四点の紹介、本末制度成立に関する史料)／著書・論文目録

◆**高野文化圏研究会報告書(2014年度)**

高野文化圏研究会編・刊(〒584-0071 大阪府富田林市藤沢台3-10-8-18-209 森本一彦方)2015年3月 A4 52頁

高野山を中心とした経済圏・信仰圏・生活圏・文化圏の総合的な研究活動を進める高野文化圏研究会による第4回シンポジウム(2014年9月4日)、第5回シンポジウム(2014年12月14日)の記録を収録する。第4回シンポジウム「高野山を支えた人々―石塔を建立した戦国大名― 趣旨説明(森本一彦)、高野山奥之院に見る戦国武将の石塔(木下浩良)、高野山子院と東国大名(丸島和洋)、全体討論／第5回シンポジウム「地域・学校・それから―「教育」の可能性を問う― 趣旨説明(森本一彦)、地域に学ぶ芸術学校の挑戦―芸術学校

「りら」の概要(鞍雄介)、学校／非学校の境界から考えるフリースクールの実践からみた「教育」の限界と可能性(森田次朗)、全体討論／寄稿論文 真国川流域の納豆文化(りら創造芸術高等専修学校 坂口悠・小野田円香・柴田華帆・鞍雄介)／研究会記録

◆前畑秀子生誕百周年記念 前畑秀子関係資料総合目録一和歌山県・橋本市・相山女学園・橋本まちかど博物館所蔵品を中心に 付：橋本まちかど博物館館蔵品目録第2巻 橋本まちかど博物館編 橋本市まちの歴史資料保存会（〒648-0064 和歌山県橋本市橋本1-5-15 TEL0736-32-1000）2015年5月 A4 88頁 ベルリンオリンピック(1936年)女子200m平泳ぎの金メダリスト・前畑(兵頭)秀子さん生誕百周年記念としてまとめられた、和歌山県ほか四館所蔵の前畑秀子関係資料の総合目録。併せて、先に刊行した『橋本まちかど博物館館蔵品目録』第1巻(平成19年)続編を付す。はじめに(橋本まちかど博物館)／前畑秀子関係資料総合目録(和歌山県、橋本市役所、相山女学園大学、橋本まちかど博物館)／付・橋本まちかど博物館資料目録第2巻

◆嶋根郡(その1)

妙見山麓遺跡調査会紀要18
神崎勝著 NPO法人妙見山麓遺跡調査会（〒679-1214 兵庫県多可郡多可町加美区的場294 TEL0795-35-0555）2015年4月 A4 21頁 妙見山麓遺跡調査会が隔月に行っている講座「出雲風土記」の記録集。語釈・注釈 嶋根郡の郡・郷／神社／山・川／池／参考資料 嶋根郡・秋鹿郡地図

◆嶋根郡(その2)

妙見山麓遺跡調査会紀要19
神崎勝著 NPO法人妙見山麓遺跡調査会（同上）2015年4月 A4 20頁 講座「出雲風土記」の記録集。語釈・注釈 嶋浜の条／嶋根郡後記

◆秋鹿郡(全) 妙見山麓遺跡調査会紀要20
神崎勝著 NPO法人妙見山麓遺跡調査会（同上）2015年4月 A4 28頁 講座「出雲風土記」の記録集。語釈・注釈 秋鹿郡の郡・郷／神社／山・川／池／嶋浜の条／秋鹿郡後記／付論 嶋根・秋鹿郡の嶋浜の記事について／参考資料 嶋根郡と秋鹿郡の島浜の分布

◆四国遍路と世界の巡礼 公開講演会・研究会 集會 プロシーディングズ

愛媛大学「四国遍路と世界の巡礼」研究会編・刊（〒790-8577 愛媛県松山市文京町3 愛媛大学法文学部胡光研究室気付 TEL089-927-9316）2015年3月 A4 43+21頁 2000年夏に発足以来、活発な活動をつづけている「四国遍路と世界の巡礼」研究会が開催した2014年10月4日・5日の公開講演会・研究会集會の記録。刊行の辞(寺内浩)／2014年度「四国遍路と世界の巡礼」公開講演会・研究会日程／公開講演 現代遍路体験のなかに空海の宗教的世界を弱みとる(星野英紀)／研究会集會 太山寺の書画と工芸一四国霊場開創1200年記念「空海の足音 四国へんろ展」の調査から(長井健・石岡ひとみ)、江戸初期の四国遍路一澄禅の足跡をたどる(染谷宗叔)、中国・台湾の媽祖巡礼一その成立・展開・現状について(矢澤知行)、『四国邊路(徧礼)道指南』諸本の比較(内田九州男)／資料編 愛媛大学「四国遍路と世界の巡礼」研究会刊行物総目次、瀬戸内海歴史民俗資料館蔵本『四國邊路道指南』

◆『郷土史誌 末盧國』総覧

松浦史談会編・刊（〒847-0824 佐賀県唐津市神田2118-1 TEL0955-73-3549）2015年1月 B5 223頁 2500円 佐賀県唐津を中心に、歴史・民俗・文学など多様な分野の研究活動を進める松浦史談会の機関誌『末盧國』200号刊行記念誌。創刊号

(1962年7月)から200号(2014年12月)までの題名・著者・時代区分索引を収録した『末盧國』総索引である。なお、『末盧國』はこれまでに合本第一巻(1983年6月、1号〜78号)、第二巻(1997年10月、79号〜127号)、第三巻(2008年3月、128号〜172号)が刊行されている。総索引『郷土史誌 末盧國』総覧の発刊にあたって(志佐惲彦)／題名索引／著者索引／時代区分索引／付編 創刊号表紙、第200号目次、題簽執筆者一覧、題簽／編集後記(山田洋)

◆見えてきた邪馬臺國の全貌

大宮真人著 2014年12月 A5 437頁 古代国家高天原が都城であると断定、さらに邪馬臺國は都城であると特定する著者の邪馬臺國論集。さらに邪馬臺國をさかのぼる／推測 ついに発見！邪馬台国の所在地と女王卑弥呼の招待！ 大宮古代学への招待藤井宏祐)／我管見のあらすじ／対談 邪馬台国図上探索／邪馬台国を目指す／魏志の船はまず南下している／女王の国は九州の四方から指摘していた。／女王の国より東・南・西・北の国々と一大率を記録していた／姥のテストをうける。／「投馬」の山奥に〈大倭〉の遺跡／こん

◆後記

以前本欄で、田川市と福岡県立大学が共同申請した「山本作兵衛による筑豊炭鉱の記録画」が、我が国初のユネスコ記憶遺産に登録(2011年)されたことを称える一文を記した。2015年は、我が国の「舞鶴への生還 1945-1956シベリア抑留等日本人の本国への引き揚げの記録」と「東寺百合文書」、中国の「南京大虐殺の記録」が登録されたが、「舞鶴への生還」にロシアが、「南京大虐殺の記録」には我が国が異議を唱えた。我が国政府は、ユネスコ分担金拠出の停止をちらつかせ、同本部に文科相を派遣して選考過程の改善を求めるなど政治問題化させた。これについて、前国立公文書館長の高山正也氏が、2015年11月19日付「朝日新聞」で、政府の反論は、それを実証するための資料を揃えて出せる態勢を整えていないと指摘。「日本側こそ資料を集め、市民がいつでも過去の自国の記録にアクセスできる状況」を作っておくべきであり、失敗の記録を含めて文書管理することは、たとえば昨今騒がれている基礎杭のような問題の危機管理にも役立つものであると述べる。中でも、「アーカイブズはだれもが過去の歴史から学び、よりよい未来をつくるためにあり、民主主義の根幹をなすものなんです」との言葉は心に響いた。(飯澤)

な山中まで全国行脚の伊能忠敬が／他
◆明治維新150周年記念事業 明治維新と郷土の人々〔調査〕 中間とりまとめ 鹿児島県知事公室政策調製課（〒890-8577 鹿児島市池新町10-1 TEL099-286-5741）2015年3月 A4 92頁 平成30年に明治維新150周年を迎えるにあたって、平成26年度から27年度にかけて実施されるヒアリングや調査等の中間報告書。武士、市井の人々、女性、子供の4つのテーマに沿って、専門家への聞き取り調査や新たな史料の収集などを行い、薩摩藩の武士とともに、これまであまり知られていなかった人物等にも光を当て、明治維新当時の人々の生き方について探る。なお、この中間報告は県ホームページ上でも閲覧することができる。http://www.pref.kagoshima.jp/aa03/kensei/sesaku/project/meiji150.html 明治維新150周年記念事業～明治維新と郷土の人々～について／明治維新と武士／明治維新と市井の人々／明治維新と女性／明治維新と子ども／資料／本調査において取り上げた主な人物、明治維新年表、参考

